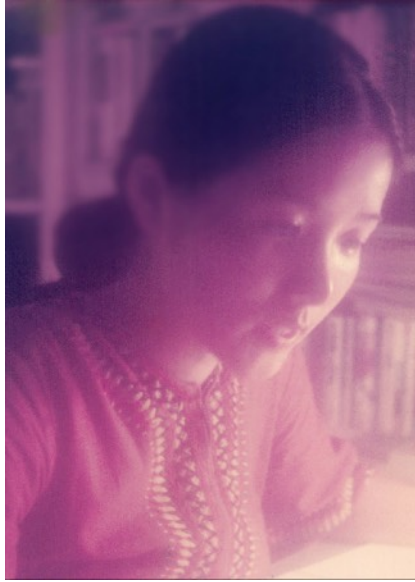


節子の返信

せつこのへんしん



著者：早川節子

制作・発行：早川廣行

2020年10月3日初版発行（早川節子の誕生日に）

発行所：ポレポレハウス

連絡：h-hayakawa@denga.jp

本書について

第1信から第59信まで59通の返信で構成されている。順番は手紙を書いた日付で、受け取った日付ではない。同じ日付項目の中に、いくつかの異なる日付があるのは、異なる日に書いたものを同封して送付されたもの。受取地が前後しているのは、書いた時点の日付優先で掲載している為。タイミング悪く受取損ね、現地の中央郵便局のポストレスランテ、大使館やJALの郵便受けから返送ないし廃棄された便りも少なくない。今回の旅で、パリのポストレスランテは、保存期間経過した便を差出人に返送してくれ、JALのパリ支店は到着した手紙を、受取人の依頼に応じてカイロのJAL支店まで転送してくれた。原則として転送には応じていないのだが

（編集者 記）

目次

一 節子の返信 ー はじめに	5
[第一信] 1971.11.21 エアログラム ストックホルムにて受取 良い旅になるよう応援しています	6
〔第二信〕 1972.1.1 年賀葉書 ローマにて受取 今年はチョコチョコせず幸福を掴みたいと思います	7
[第三信] 1972.2.22 封書 フランクフルトにて受取 熊の湯にスキーに行つて捻挫しました	8
〔第四信〕 1972.3.3 封書 チロルにて受取 これからは素直になり頑張りたと思っています	10
[第五信] 1972.3.11 エアログラム チロルにて受取 三平さんではありませんが“体だけは大切に！”	13
[第六信] 1972.3.20 封書 ルーマニア ブカレストにて受取 泣きたい気持ちになったら私にお手紙ください	15
〔第七信〕 1972.3.22 封書 ブカレストにて受取 最近のお便りはびっくりするような文章が多い	17
[第八信] 1972.3.28 封書 ギリシャ アテネにて受取 今貴方がアルプスで滑っているなんて信じられない	20
〔第九信〕 1972.3.30 封書 アテネにて受取 父の実家の五右衛門風呂へ、入ろうとして足を滑らせた	23
〔第十信〕 1972.4.10 封書 ローマにて受取 上司や先輩が縁談を持ってきてくれるのに気が重い	26
〔第十一信〕 1972.5.9 封書 パリにて受取 とっても楽しいパズルリングをありがとう	28
[第十二信] 1972.5.13 封書 モロッコ タザにて受取 いや！絶対にいや！いやですよ。	32
〔第十三信〕 1972.5.15 封書 マドリッドにて受取 友と二人で木曾路の旅を楽しんだ	35
〔第十四信〕 1972.5.20 封書 モロッコ タザにて受取 あなたの心境にぴったり、吉田拓郎の“ふるさと”の詩	39
〔第十五信〕 1972.5.31 封書 チュニスにて受取 5月は二回もお見合いをさせられ、おかしくなりそう	41
[第十六信] 1972.6.2 封書 エジプト カイロにて受取 今すぐにでも真相をつたえたいのです	45
[第十七信] 1972.6.12 葉書 エジプト カイロにて受取 お茶を喜んでくれてとても嬉しいです	48
[第十八信] 1972.6.15 封書 エジプト カイロにて受取 天秤座の女性も良い奥さんになりますよ。絶対に！	49
[第十九信] 1972.6.21 封書 エジプト カイロにて受取 今すぐにでも貴方の胸の中に飛び込んでいきたい	53
[第二十信] 1972.7.9 封書 エジプト カイロにて受取 貴方から優しいお便りが来れば来るほど苦しいの	56

[第二十一信] 1972.7.12封書 アディスアベバにて受取 私は決心したのです。あなたの良き妻になることを	58
[第二十二信] 1972.7.19封書 アディスアベバにて受取 突然貴方のお父様が我が家を訪ねていらした	60
[第二十三信] 1972.7.28 封書 アディスアベバにて受取 私と貴方のご両親とのお見合いでした	67
[第二十四信] 1972.7.28 封書 アディスアベバにて受取 結納儀式無事完了のおしらせと結納書き	72
[第二十五信] 1972.8.3 封書 アディスアベバにて受取 一度日本へ帰る決心をしてほしい	73
[第二十六信] 1972.8.6 封書 アディスアベバにて受取 7/30 貴方の鎌ヶ谷の自宅を母と訪問しました	76
[第二十七信] 1972.8.11 封書 アディスアベバにて受取 いつまでも待っていますので安心して旅行を続けてね	79
[第二十八信] 1972.8.14 封書 アディスアベバにて受取 貴方の写真を送ってくれてありがとう	81
[第二十九信] 1972.8.14 封書 アディスアベバにて受取 貴方と初めて会った頃の思い出	83
[第三十信] 1972.8.15 封書 アディスアベバにて受取 早川ファミリーズの感想	87
[第三十一信] 1972.8.17 封書 ケニア ナイロビにて受取 週末、鎌ヶ谷のご自宅に一人で訪問2泊しました	89
[第三十二信] 1972.8.20 封書 ナイロビにて受取 尊敬する貴方の呼び名はひろゆきさんが一番	94
[第三十三信] 1972.8.29 封書 ナイロビにて受取 小学生の頃女子相撲大会で優勝	98
[第三十四信] 1972.8.30 封書 ナイロビにて受取 8/22 神田にご両親を訪問して宿泊	103
[第三十五信] 1972.9.2 封書 ナイロビにて受取 8/27 鎌ヶ谷を訪問お母様と浩子姉さんのお手伝い	109
[第三十六信] 1972.9.8 封書 ナイロビにて受取 あなたを一生変わらず愛し続けることを特技にしたい	115
[第三十七信] 1972.9.14 葉書 ダルエスサラムにて受取	118
[第三十八信] 1972.9.16 封書 ダルエスサラムにて受取 あなたの結婚式についての希望、全て同感です	119
[第三十九信] 1972.9.20 封書 ダルエスサラムにて受取 両親にとっても可愛がっていただき、とても幸せです	125
[第四十信] 1972.9.23 封書 ダルエスサラムにて受取	129
[第四十一信] 1972.9.29 封書 ダルエスサラムにて受取 9/24 柴又の川千家で早川家全員集合の慰労会	130

〔第四十二信〕 1972.10.1 封書 ザンビア ルサカにて受取 10月1日、一年前の今日を覚えていますか	134
〔第四十三信〕 1972.10.9 封書 ルサカにて受取 乙女にとってはちょっと恥ずかしい	138
〔第四十四信〕 1972.10.28 封書 ロンドンにて受取 キリマンジャロ登頂おめでとう！	142
〔第四十五信〕 1972.11.14 封書 ロンドンにて受取 私たちの課題は“我々の愛を慈愛にまで高めること”	150
〔第四十六信〕 1972.11.16 封書 ロンドンにて受取 早崎先生ご夫妻が私たちの仲人に	153
〔第四十七信〕 1972.11.19 封書 ニューデリーにて受取 私の第二の故郷はバリです！	155
〔第四十八信〕 1972.11.21 封書 ニューデリーにて受取 あなたの便りはびっくり89通もありました	157
〔第四十九信〕 1972.11.29 封書 イラン テヘランにて受取 母は今日一日あなたの写真を見ていたそうです	161
〔第五十信〕 1972.12.5 封書 ニューデリーにて受取 お母様からまず味噌汁の勉強をしています	165
〔第五十一信〕 1972.12.13 封書 ニューデリーにて受取 友達が気軽に集まってくるような家庭にしたい	169
〔第五十二信〕 1973.1.1&6 封書 ニューデリーにて受取 鎌ヶ谷で元日に家族全員と新年の挨拶を交わしました	172
〔第五十三信〕 1973.1.13~19 封書 カトマンズにて受取 早川廣行氏の1/3生に万歳！	175
〔第五十四信〕 1973.1.25-30 封書 カルカッタにて受取 ベッドの件色々考えた末私はダブルベッドが良いと思う	181
〔第五十五信〕 1973.2.11 エアログラム カルカッタにて受取 2/9に廣行家の建前のお手伝いに行ってきました	189
〔第五十六信〕 1973.2.12 エアログラム カルカッタにて受取 お父様に塀のことで怒られました	191
〔第五十七信〕 1973.2.13 エアログラム カルカッタにて受取 実物を見たらダブルベッドは狭いような気がした	193
〔第五十八信〕 1973.2.21 エアログラム 香港にて受取 間近に迫ったあなたの出迎えについて	195
〔第五十九信〕 1973.2.23 エアログラム 香港にて受取 これが最後の手紙になるでしょう	197

— 節子の返信 — はじめに

1971年10月19日、青年は26歳で3年間は帰らないつもりで日本を出発し、横浜からソ連ナホトカ経由の北回りコースで、荒野を目指した。ヨーロッパ各地を周遊、一部を除いて陸路移動を原則とし、パリ、ロンドンを基点にアフリカに関する情報収集、装備を準備。1972年5月中旬、ロンドンを出発、モロッコから北アフリカを横断、エジプトから、南アフリカ、ケープタウンまで南下を計画するも、スーダン、エチオピア、ケニヤ、タンザニア、ザンビアまで縦断後、ザイルの手前で各国の入国制限や治安状況悪化など諸事情によりアフリカ旅行継続を断念。タンザニアからコペンハーゲン経由でロンドンに帰着した。

その間、出発当初から文を交わしていた、東京在住の乙女との文通が実り、1972年6月中旬頃、お互いの愛を確認、その後エチオピア滞在中に交わした文通で婚約が成立した。

青年は結婚のため東京に戻ることを決意したが、ロンドンから南回り、インド、ネパール、ヒマラヤを回る約3ヶ月の帰国旅行となり、東京で一人、青年の帰国を待ち続ける、健気な乙女的心情が、青年の旅先に送る便りの中に書き綴られた。何の脚色も加えられることのない、その真実の経過記録がこの「節子の返信」である。

この返信録の後日譚としては、1973年3月5日、青年が帰国、3月29日挙式、新婚旅行は予定通り北海道ニセコヒラフへの1週間のスキー旅行。青年は元の職場に戻り広告写真家として活躍、40歳で独立し節子も経理担当役員として力を発揮する。約束の海外旅行も夫とともに、ハワイ、サイパン、アメリカ、スペイン、フランス、ベルギー、ドイツ、韓国など年一度程度のペースで体験。2020年現在、庭いじりを趣味として日々を過ごす幸福な老後生活を楽しんでいる。子供は男3人、嫁3人、孫5人。

[第一信] 1971.11.21 エアログラム スtockホルムにて受取

良い旅になるよう応援しています

晩秋の頃、遠い国から一通の便りが届き、最初誰に来たのか気にしなかった（私に外国から便りがくるはずがないため）私宛に来た便りであることを知り、思わずびっくりし、また嬉しく思いました。

一ヶ月以上の月日が過ぎ、日本の良さがしみじみ分かる頃ではありませんか。住めば都どこへ行っても長く住んでいたところは、良いものですね。でも私たちの行ったことのない、見たことのない国、街、景色、人、食物、全てが珍しいものばかりなので、ただ、びっくりし他国での情緒に浸り、ひとり旅の良さを味わっていることでしょう。

寒い街の通りをコートの際を立て、カメラを持ち歩いている姿、白銀のスケートリンクの上を、白い息を吐きながら、気持ち良さそうに滑る姿が目につかび、どれを考えてみても、私には羨ましく思えるのです。

でもお便りによると、考えているほど甘い毎日ではないようですね。

一人旅（外国へ）女性に出来ない事、男性（早川さん）だからできるのではないのでしょうか。どんなに苦しいことも、今まで体験してきた事を生かして、頑張ってください。

良い旅になるよう応援しています。

遅くなりましたが、写真とネックレスどうもありがとう。大切にしていた物を頂き、大変嬉しく、妹も私もネックレスを愛用しています。

写真の良さはよくわかりませんが、どのように写したのか、写真の色、白い波、女性、見れば見るほど、私には不思議。大切にしたいと思います。

今日(11/21) 東京は青空に恵まれ、午後から石野さんと上野へ“ゴヤ展”を見に行ってきましたが、美術館の前は長い人の列、気の短い私たち

は、待つことができず、上野公園を散策することに決め、落ち葉の上をカサカサ音を立てポップコーンを食べながら、晩秋の良さに浸ってきました。枯葉をみていると、東京にも又寒い冬が近づいて来たのだなあという気持ちにさせられました。風邪をひかないように体に気をつけてね。ではまた
11月21日

[第二信] 1972.1.1 年賀葉書 ローマにて受取

今年はチョロチョロせず幸福を掴みたいと思います

(着物を着たネズミの挿絵つき年賀はがき)

新年おめでとうございます。

東京は暖かい新春を迎え、新たな気持ちで今年の一年の計を立てました。



貴方はどのような事を考えましたか。

今年は私の年！チョロチョロせず幸福を掴みたいと思います。

私の分までお祈りしてくれてありがとう。パリで迎えたお正月、きっと素晴らしい年になるでしょう。

1972.1.1 やぐちせつこ

[第三信] 1972.2.22 封書 フランクフルトにて受取

熊の湯にスキーに行って捻挫しました

相変わらず元気そうで安心しました。

東京は例年になく暖かい冬で早い所では、桜の花も咲き、ひと足早い春を迎えるのでは？と思われる程。

でもまだまだ2月、先日は大きな牡丹雪が降り、街は白一色に包まれ、一晩のうちに別世界に移り変わり、スモッグの空はどこへやら、自然の力は素晴らしいですね。

雪国と違ってそんな日も長くは続かず、午後になると雪も溶け始め、別世界からまた空気の悪い東京に逆戻りで残念です。

一月の中旬、石野、佐藤さんと志賀高原（熊の湯）へスキーに行ってきました。

夜行の疲れも忘れ勇んで滑り出しました。熊の湯の銀光が眩いくらい天気が高く、久しぶりに吸う空気に身も心も洗われていくようで、来て良かったと喜び合いました。白馬以来2回目の二人は、額に汗をかきながら、思うように動かぬ長いスキーを交互させたりしながら、登るのに苦労していたようです。

そんな姿を見ながら、私が初めてスキーをはいて、滑った日のことを思い出しました。

自分が滑れるようになると、このような姿を見ていると、イライラするものですね。

今年こそは上達したいと張り切っていた私、雪質が良くお天気も最高ののに、運動不足と無理が重なって、捻挫をしてしまいました。

スキーへ行って怪我をすること程、つまらないことはないですね。それも

第一日目なので余計残念で、皆が楽しく滑っているのに、ひとりで旅館にいることの苦しいこと。

一番気をつけなくては、いけない時期だったのでしょ。もう少し注意すればよかったのに。

スイスではスキーをしましたか？

とても嬉しいニュースがあります。

何だかわかりますか。

みっちゃんに赤ちゃんができたそうです。私達が結婚するまではつくらないと言っていたのですが、皆のんびりして、なかなかしそうにもないので、待ちきれなくなってしまったのでしょね。

まだみっちゃんには会っていませんが、喜んでいるでしょね、お母さんも。

学生の頃は一番おとなしかったみっちゃん。奥さんになってからしっかりとして落ち着いたようです。今では会うとお説教されることが多くなりました。

札幌オリンピックも無事に終わりました。

日本はジャンプの笠谷、青地、紺野選手が、金、銀、銅のメダルを取り、一度に三本の日の丸の旗が掲げられました。

君が代の音楽が流れると、何とも言えぬ気持ちになり、目頭が熱くなり嬉しかった。

この日のために、全ての時間をジャンプにかけた選手達に、ご苦労様と言いたい気持ちがした。日本はメダルの数が3つで少なかったようですね。そちらの新聞にも載ったかもしれませんね。

またお手紙かきます お元気で

2 / 2 2

節子

[第四信] 1972.3.3 封書 チロルにて受取

これからは素直になり頑張りたいと思っています



今日は3月3日 女の子のお節句

「明かりをつけましょ ぼんぼりに

お花をあげましょ 桃の花

五人囃子の笛太鼓

今日は楽しい ひな祭り」

これは私の部屋に飾ってある紙のお雛様

小さい頃から家にお雛様がなかったので

紙に書いて作ったり、こけしを並べて遊んだものです。

最近はそのようなことも忘れていたのが、今年は会社で紙のお雛様をくれたので、懐かしくなり机の上に飾りました。

なんだか童心に還ったような気持ちになり、思わず上の歌を歌ってしまいました。

いつになっても良いものですね。

ひな祭りで思い出すのが桃の花

この間も生花で桃の花と菜の花をいけました。春らしくとても良く生けられ先生に褒められ、ちょっと上気分になりました。

長い間生花をしていると、季節季節の花が生けられ、私にとって唯一の楽しみです。

生けた花を見るとその人の性質やら、その時の気分がどうであるかわかると、よく先生に言われます。その日の私はきっと楽しそうに生けていたのでしょうね。桃の花は大好き、桜の花と桃の花は似ているけれど、桃の花の方が暖かみがあり、可愛らしい。

桜を女性にたとえるなら、桃は女の子！

意味がわかりますか。

人間て不思議ですね

近くにいるときは会いたいと思えば、電話一つですぐに会えるのに会おうとしないで、お互いに遠く離れてしまうと、会うことができないのに会いたくなる、近くにいると安心できるけど、離れていると心配なのかな？

以前私は長い間悩んだことがあります。あなたも知っているかと思っていました。

それなのになぜ相談しなかったのか、後になって後悔したのですが、相談したくても機会もなく、勇気がなかったのだと思います。

私も貴方と同じように、前から自分の事は自分で解決してきたのです。いくら友達に話しても、苦しいことには変わらないのですものね。他の人に言うことによって気が済む事は分かりますけどね。自分でやることだけはやってみて、駄目だったら諦める。そのように思っていたのですが、あの時は周りの人から相手に伝えられて、私に返事が来たのです。とても残念でした。今まで考えていたことが、全て駄目になってしまって、相手に会って、直接私の方から言いたかったのに。でもどんな伝わり方にして

も、私の気持ちがわかってもらえたのですから、感謝しなければいけないのでしょうね。もう今となっては懐かしい思い出。彼には立派な仕事をしたいと思っています。

この間のお手紙に“素直になることが幸せを掴む第一歩”と書いてありましたね。私には今までこれが欠けていたのに気がつきました。前に聞いた事はありませんけど、その時は感じなかったのです。今になってわかるという事は遅すぎたのかしら。

私は私の心の中を見られたようで、ちょっとびっくりし、また恥ずかしかった。

これからは素直になり頑張りたいと思っています。

いつもお手紙楽しみに読んでいます。貴方の愚痴は私には羨ましく思えます。誰にでも愚痴は出るもの、愚痴が無くなったら人生つまらないと思う。色々な愚痴があるけど、貴方は幸せです。両親、兄姉に見守られ、自分のやりたいことをしている。誰にでもできる事ではない。周りの環境が貴方を幸せにしているのです。外国での生活が貴方にとって無駄にならないよう頑張ってほしい。

そして皆を安心させてね。

私は貴方が思っている程の人ではありません。でも弱音を吐いたり、愚痴を聞くのを楽しみにしています。楽しみにしていると言ったら、怒られちゃうのかな。もし気に障ったら御免なさい。

またお手紙書きます。

おやすみなさい。

追伸

スイスアルプスでスキーなんて最高ですね。

[第五信] 1972.3.11 エアログラム チロルにて受取

三平さんではありませんが“体だけは大切に！”

こんにちは！

風の強い夜は空が澄んで、星が大空いっぱい輝き、お月様も嬉しそう。東京では滅多に見ることのできない今日の夜の空。チロルの空はいかがですか。

チロルでのスキーは最高でしょうね。日光浴をする予定と書いてありましたが焼けましたか？眼鏡猿になったのではないのでしょうか。以前白馬へ行った時も、日光浴をするのだと言って、短いパンツを穿いて張り切って滑りに行ったのに、お天気に恵まれず、がっかりしていた事を思い出し、おもわず笑ってしまいました。

この間のお手紙は失礼しました。ミッチャンの赤ちゃん誕生は10月の予定とのこと。赤ちゃんができたらしいじゃ、どちらだか本当に分からないですね。オッチョコチョイなところがあるのですみません。住所はそのうち引っ越すかもしれないと言っていましたので、決まったらまたお知らせいたします。

最近日本では残酷な事件が相次いで起きており、簡単に人が殺されています。

先日も連合赤軍派のグループ五人が、軽井沢の浅間山荘で人妻を人質にして10日間も立てこもり、警官2人を鉄砲で殺しました。

群馬県の山奥では赤軍派同士の間割れの為、13人もの人々がリンチで殺され、土の中に埋められていたのです。あまりにも残酷すぎて、ニュースを聞く気にもなれません。

このようなニュースは、他の人からの便りで聞いた、いや伝えられたか
もしれませんね。高山病は治りましたか？気をつけて下さいね。私は最近
体の調子が良くないので困ります。きっと運動不足のせいだと思います
が、まだ若いのですからね。でもこれから春になるので調子も良くなる
と思います。

三平さんの言葉ではないですが、“身体だけは大切に！”ですね。

ではまた

3/11 節子

[第六信] 1972.3.20 封書 ルーマニア ブカレストにて受取
泣きたい気持ちになったら私にお手紙ください

長い長いお便りが2日続きで届き、それも色々な種類の変った切手が貼ってあり、何だか楽しくなりました。

どういう心境の変化かしれませんが、最近切手を集めるようになったのです。私の窓口に毎日来店されるタバコ屋のおじさんが、記念切手が出るたびに私に、いらないか？と声をかけてくれるので、去年の暮頃から少しづつ集めるようになったのです。まだ数える位の枚数ですけど、今まで何気なく使っていた切手もよく見ると、図案や印刷が凝っていてとても貴重なものを感じられます。

お手紙を何回も読み返していると、小説でも読んでいるような気持ちになったり、学校で古典、宗教の授業をしている時もあり、人生相談を聞いているような時もあり、お父さんの昔話を聞かされているような時もあります（私の父は昔から体が弱かったせいか叱られたり、お説教を受けたことがありません。それに昔話を聞かされたこともあまりないのです。昔のことは母によく聞いたものです）。そのせいかお父さんに色々なことを、教えてもらっているような感じが、とてもするのです。お父さんにしてしまっては失礼かな？

お兄さんにしておいたほうが良いようですね？

あまりにもたくさんを知っていたり覚えているのには、いつもびっくりさせられ、頭が下がる思いがします。

貴方に比べて私などは何も知らず、学生時代に勉強したことも、今は覚えていないことが多く、遠い国でひとり悩んでいるのに、何もしてあげられない自分が歯がゆくてしかたありません。

近くにいたら飛んで行って、相談に乗ってあげることができるのに。

後輩や師匠の暖かい言葉、誰にだって人情はありますものね。貴方が泣きたいほどの気持ちになっているのが、よくわかります。今帰れば良い仕事がたくさん待っていて、恵まれた生活ができるでしょう。

しかし、一度決めた決心は何にも増して、強く固まっているのですね。これからの道はどのような苦難、良い道が待っているかわからない。お兄さんが言っていた、若い時にしか自由な旅はできない、というのも良くわかりますものね。

私にはどうした方が良いと言えません。

ただ貴方がどうでもいいや、という気持ちにはなって欲しくないのです。

外国の女性と結婚しちゃうかもしれないなんて書いてあったけど、それだけはやめてね。

泣きたい気持ちになったら、私にお手紙ください。必ず私の方も書きますから。

このお手紙が1日でも早く届きますように、祈りながら！

またね

3/20

せつこ

この間お問い合わせの指輪サイズは9、10です。

[第七信] 1972.3.22 封書 ブカレストにて受取

最近のお便りはびっくりするような文章が多い

20日は春分の日でお休み。毎年お彼岸の頃になると暖かくなると言われていますが、今年も“春一番”が吹き、春も後一息というところです。

ちょうど19日が日曜日なので2日間の連休となり、スキー場はどこも若者で満員とのニュースが流れ、事故が起きなければ良いと思っていたのに、富士山宝永山（2,700m静岡県御殿場口）付近で猛吹雪と底雪崩に会い19人死亡、5人が行方不明という自然からなる事故が起きてしまったのです。

それも全員が20代の若者、これからの世代を背負う人々なのです。誰もが遭難するつもりで登ったのではないでしょうが、自分だけは事故などにはあわないと思っていたでしょう。

山の天気、春の天気は変わりやすいと言われますが、本当に自然とは恐ろしいものですね。ニュースに映る家族の姿を見てみると、とても痛ましく感じられ、人間の運命なんて分からないものだなあと、つくづく感じてしまいました。富士山に登っていて、その現場にいなかった人の気持ちも複雑なものでしょう。

連休も良いけれど、このような事故が起きると、かえってない方がとも思っています。

でもそれには関係ないかしらね。最初から嫌なニュースでごめんなさい。

私の連休の過ごし方は？

石野さんが家に遊びに来たので、二人でおしゃべり、女三人寄れば…！のようです。私たちは二人寄っても…！のようです。二人とも年頃なのに休日家で過ごすなんて、つまらないねと言いながら、楽しそうに食べた

り、レコードを聴いたり、おしゃべり、結局、話がいつまでも尽きないので、泊まることになってしまいました。

翌日は朝から洋裁。私が妹のジャンパースカートを作るといって、石野さんは私の方が上手だから作ってあげるというのです。ちょっとやな気がしたけど二人で作れば簡単なので、手伝ってもらうことにしました。デザインや製図をするのに二人の意見が違うので大わらわ、でもひとりで作るよりも良くできたので、二人とも大満足。なんだか自分達が着たくなっていました。

本当はモデル（妹）がいないので私の体型に合わせて作ってしまいました。そしたら妹が私より痩せているのでブーブー文句を言って、こんなブカブカのなんて着れないわとカンカン。結局は私が着るようになってしまったようです。

最近のお便りはちょっと私にはびっくりするような文章が多いようです。別に知らないことではないので、それ程嫌な感じはしませんが、なかには初めて耳にするようなこともあり、ちょっと恥ずかしくなることがあります。今まで友達同士（女性）で話すことがないからでしょうか？男性はいつもそういうセックスとか女性関係の話をしているのでしょうかね。

いつも私の事ばかり書いているので、今度は貴方に対して感じていることを、少し書きます。初めて重衛門さんの所で会った時はまだ学校へ行っている頃だったかな？

スキー着がピンク系なので、ちょっと変わった人だなあと思いました。でもスキーは丁寧に親切に教えてくれたので、良い人なんだなあと思いました。

ところが翌年頃から貴方と私達は住む世界が違う（気に障ったらごめんなさい）と思うようになったのです。毎年スキーへ行ってはいるけれど、話すこともあまりなかったし。

しかし遠くから見ている貴方はとても指導力があって責任感が強くて、
“俺についてこい”というたくましいところがあるのです。

それは仕事の立場からそのようなところがあるのでしょうか。住む世界が
違うから考え方も私たちと違うと思っていたのですが、アイスホッケーの
試合を見に行った時のことです。

試合が終わって応援に来てくれた人々に“ありがとう！ありがとう！”と声
をかけている、本当に心の底から感謝している、その姿を見たとき私は、
貴方に対して今まで感じていたことが、悪かったなあと思ったのです。そ
して本当は初めて会った時と同じように良い人だと思います。

先日、深津さんの家から伊藤さんを通して縁談の話が来たのです。
何だかグループで遊んだりしていたので、その中の人から別の話をされて
も、ちょっとピンときません。

家では会うだけ会って見なさいと言いますが、私の気持ちはとても複雑
です。

なんで深津さんからと思うでしょうね。私も最初思ったのですが、以前冗
談に良い人がいたらお願いしますと言ったのです。それで深津さんがそれ
を覚えていたようです。

ではまた

3月22日

節子

[第八信] 1972.3.28 封書 ギリシャ アテネにて受取

今貴方がアルプスで滑っているなんて信じられない

帰りの地下鉄の電車の中で久しぶりにセーラー服姿の学生四、五人のグループに出会い卒業式の帰りらしく卒業証書片手に、どの学生の顔も嬉しそう。

「誰の祝辞が長かったとか、全然悲しくなかった、何々先生、男のくせに泣いてたわよ」

という会話が聞こえてきて、私も何年か前の卒業式を思い出し、ちょっとセンチな気持ちになりました。

♪ 仰げば尊し 蛍の光 ♪

どの歌も学校生活の思い出が沢山包まれているようで私は好きです。

そのせいかこの歌を唄うと涙が流れてしまうのです。しかし最近の卒業式では学校によってこのような歌は唄わないで、他の現代音楽を流す学校があるそうです。

また式の服装も自由で、ある学校の生徒はジーパンにセーター姿で出席したそうで、いくら時代が変わったとはいえ、あまりにもひどく悲しいことです。

この間のお手紙にちょっと書きましたが、赤軍派の人質、リンチ事件ですが、沢山のグループの中に三人の兄弟が含まれていて、一番上の兄が思想に反する行動をしたので、幹部命令で第二人が兄を殺したのです。普通の人では考えられない恐ろしいことです。

そして第二人は浅間山荘の人質犯グループに入り、悪いことをしたのです。その兄弟三人の親は何と学校の教師だったのです「自分の息子だけは、そんな悪い仲間に入るとは思わなかった。私の教育が間違っていたのでしょうか。教育者として恥ずかしい」

教育者でも自分の息子達には、あまい教育だったから、このような結果になったのだと思う。やはり親の教育がしっかりしなければ、いくら学校で教えても良くならないのだと思う。

最近先生が生徒に振り回されているようで、これからの世の中がどうなるのか心配である

アルプスの地図とサンアントンのパンフレットどうもありがとう。

あまりの雄大きさにびっくりさせられ、写真を見ていて、今貴方がアルプスで滑っているなんて、ちょっと信じられない気がします。

そして私もまさかパンフレットを見ることができるとは、思ってもいませんでした。

日本でも今年はスキーブームでどこのゲレンデも人で満員、週末などはリフト待ちで嫌になる位、滑る人もマナーをわきまえている人が少なく、滑っていても怖い感じで、優雅にスキーを楽しんでいる貴方が羨ましいです。日本でも今年は雪が少なかったのですが、チロルでも関係あるのかな？

本当のことを言うと、久しぶりに見る英語なので辞書を引ながら、読んで書いてあることを理解しております。学生の頃もっと勉強しておけばよかったと、今更ながら後悔しております。

このお手紙が着く頃には、スキーともお別れしているでしょう。顔の黒さも少しは引いているのでは？

男性ですもの黒い方が魅力的！女性だったらちょっと悲しくなっちゃう。

もう私なども海やスキーで焼きたくありません。顔ですけどね。ソバカスが多くなるから。でも外国の女性はソバカス美人というのがあるそうで、可愛らしいわよね。

今正座してこのお手紙を書いています、最近足がすぐ痛くなるので困っております。体重のせいでしょうか、少し太ったのかな。

私の上半身の体重が細い足？にかかるとは、無理もないですね。

だんだん足がしびれてきて、足から火花がパチパチ飛び散り、水の中に
ジューと足を入れたい気持ち。親指を上だったかな？下だったかな？そう
している間に、くすぐったくなり一人でクスクス笑い転げました。

知らない人が見たら気でも狂ったのではと心配するでしょうね。

体重で思い出しましたが、その後少しは太りましたか。そちらの食事は
肉食類が多いので、太ると思いますが、お酒ばかり飲んでいるようでは体
に良くありませんよ。ほどほどに。 今日はこのへんで

お休みなさい

3 / 28

節子

[第九信] 1972.3.30 封書 アテネにて受取

父の実家の五右衛門風呂へ、入ろうとして足を滑らせた

ひろゆきさんへ

またお目にかかりましたね（ちょっとおかしいかな？）。先日ブカレストの大使館宛に送った手紙届きましたか？

ちょっと心配なのです。というのは外務省に住所を電話で聞くと、教えてはくれたのですが、私には何と言っているのか理解できなかったのです。

「すみませんが、ゆっくりとスペルを教えてください」と言っても早口なのです。エンバシーオブジャパン、ボンベのB、ユニオンのU、ローマのL、イングランドのEという具合で、日本で電報を打つ時と同じ（アサヒのア、ノハラのノ）調子だったのですね。

結局三回目にやっと理解することができたのです。ちょっと怖そうな（電話の感じ）おじさんで、私が何度も繰り返し聞いたので、呆れた様子でした。どこでもこのように教えてくれるのでしょうか。ちょっと慣れない人にはまごついてしまい、すぐには理解できないと思いますが、私には良い経験になりました。

ウイーンからの変った絵葉書どうもありがとう。初めて見る絵葉書楽しいですね。ウイーンは音楽の都といわれ、街には有名な作曲家たちの銅像が建てられ、街全体の人々が音楽を愛し、音楽で満たされていると聞いていますが、本当ですか。生活に音楽が密着しているなんて素敵ですね。

お手紙によると連絡がうまくつかず、ウイーンに三日間滞在しているということで、ちょっと元気がないみたい。

日本にも外人がリュックを背に、両手に大きな荷物を持って、髭ぼうぼうに生やし、貧乏旅行している人を見かけますが、あまり格好の良いもの

ではありません。それも皆旅に疲れましたというような感じで、見ていて可哀想になります。

貧乏旅行も良いのですが、あまり見すばらしい姿にはならないでね。

翌日届いた手紙によると、全て連絡がついたので、良かったと書いてありましたので一安心。でも日付を見ると葉書の方が、後に出してあるので、まだ連絡がついていないのでしょうか。くよくよせずに元気を出して。苦勞をすることも、良い経験だと思って行動すれば、きっと楽しくなるでしょう。

この手紙が届く頃には、元気になってアイスホッケーの応援をして楽しんでいることでしょう。日本人の知人に会えるのですもの嬉しいですよ。アイスホッケーの試合を応援していると、自分もやりたくなるのではないですか。昨年応援しに行ったことを、思い出して楽しくなりました。

先日、私の田舎で不幸があり、（父の兄が亡くなったのです）山梨の塩山に行ってきました。山奥にある私の田舎の家は、山の途中にあるので、そこからの景色は素晴らしく、お天気も良かったので無事告別式を終えることができました。

幼かった頃、桑畑で鬼ごっこをしたり、近所の子の家のブドウを取って食べたり、栗拾い、笛吹川で泳いで遊んだものでした。

昔は夜になると裏山でキツネの鳴き声が、コーン、コーンと聞こえ、トイレへ行くのが怖かった（トイレが外にあったため）。

久しぶりに行く田舎はとても懐かしく、幼かった頃の楽しい思い出が一つ一つ浮かび、もう一度昔に戻ったら良いのになあと思いながら、東京ではもう吸うことのできない澄んだ空気を思う存分吸ってきました。

ちょっと愉快なお話をしますね。お風呂の話。田舎なのでタイルにはなっているのですが、湯船には板が浮いていて、入るときに板の上に乗って、静かに沈めるようにして入るのです。慣れない私は足を滑らせてしま

い、もう少しで御釜に足をつけそうになってしまったのです。弥次喜多の弥次さんが、五右衛門風呂に入ろうとして、湯の中に板が浮いていたので不思議に思い、板を取り除き直に足を入れたのです。そしたら下は御釜、飛び上がって出てきたそうな。そして近くにあった下駄を履いて入ったという話を思い出しました。ちょっと愉快的話ですね。一人で思わず笑ってしまいました。

そのような風呂に入ったことがありますか（ちょっと変な話）。お風呂といえば九州へ修学旅行に行った時、確か指宿でジャングル風呂に入ったのです。大きな原始林のような風呂で、たくさんの木が茂っている間に、小さな風呂がいくつもあるのです。胃に効く風呂、皮膚、腸、リュウマチ、と色々書いてあり、ときには中に椅子があったり、楽しいものでした。その温泉は普段は混浴なのですが、私たち修学旅行の人々が入る時は時間制で、男女が別れて入ったのです。そして絶対に10時以降は入浴禁止と先生に言われ、皆その時間までに入るのですが、皆で10時以降風呂の前を通ると、男の先生、女の先生がそれぞれ入って行くのを見ました。面白いですね

変な話になりましたね。

ではまた

おやすみなさい

3月30日

節子

[第十信] 1972.4.10 封書 ローマにて受取

上司や先輩が縁談を持ってきてくれるのに気が重い

ひろゆきさんへ

久しぶりにお手紙書きます。

先週一週間は同期会、テラー会、お花見とお酒交じりの毎日で、帰宅時間が遅かったためちょっと疲れ気味で、目が腫れぼったい（お岩さん程ではないけれども）。

四日の夜は神田明神で夜桜見物となり、物好きな男女が十五人集まり、お酒を飲んで歌ったり踊ったり大騒ぎで、楽しい夕べを過ごしました。物好きなのは私達だけかと思ったら、他のグループも一組来ていて、そのグループは私達より年上らしく、男女共色気があり変な雰囲気でした。

雨上がりだったため、地面が濡れていたのので、ゴザを敷いて新聞紙をその上に敷いたのですが、長く座っていたので身体中が冷え、足など全然感覚がなくなってしまいました。

お酒を飲んで体を温めようとしたのですが、お酒を飲むと眠くなる私は、上下のまぶたが仲良くなってしまい、すぐ隣りにある桜の花も雪化粧をしているように見えたりで、いい気持ち、でもお酒はあまり好きではなく、せいぜいビールをコップに半分くらいしか飲めません。そんなわけで体はなかなか暖まらない。

お酒といえば程々に飲むお酒は身体に良いですが、それが過ぎると身体に毒ですから気をつけてね。

深津さんのことですが違うのです。深津さんのお母さんからの話で、知っている人に良い人がいるので、私にもし付き合っている人がいないならどうですか？という話なのです。どうして私に言ってくるのか、最初理解できなかったのですが、昨年九月頃、私の会社の近くに深津さんが来たので

会ったのです。その時「まだ結婚しないのか？早くしたほうがいいよ！」
「だって相手がいらないんですもの。もし良い人がいたらお願いします」と
言ったことを思い出したのです。きっと深津さんが、それを憶えていて、
私に声をかけてくれたのだと思います。とても嬉しいことです。私の手紙
の書き方が曖昧なため、いつも勘違いさせてしまったり、意味が理解しに
くくて済みません。これからはこのような事が無いように、気をつけます
ので許してね。こんな調子では、ラブレターなど書けませんね。
だって私の気持ちが率直に、相手に伝わらないでしょうから。間違っ
て伝わってしまったら、大変なことになりますものね。

あなたのお手紙にも書いてありましたが、「周りの人々の暖かい好意に
恵まれていて、つくづく幸福者だと感謝しております」。
私も違った意味で幸福だと思うのです。上司や先輩、友達が私に気を使っ
てくれて、縁談を持ってきてくれるのです。嬉しいような悲しいような、
それでいてとても気が重く、複雑な気持ちでちょっとノイローゼ気味で
す。「矢口さんは理想が高いのでは無いか？」と言われますが、自分
ではそのようには思っていません。でも私の夢、理想の人が無いわけでは
ありません。私が良いと思っても、周りで相性が悪いから良く無いとか、
色々言われると自分の気持ちがはっきりせず、グズグズしてしまう私。

今年の私の目標は、“積極的に一つの幸福を掴みたい”ですが、これでは
自分の目標に反していますね。そんな自分が切なくなり、嫌になってしまう
のです。私もどこか遠い国を旅行したくなりました。五月の連休には友
達とまだ白い雪の残っている信州へ行こうと思っています。

貴方は相性などをどう思いますか？

4月10日

せつこ

(*この手紙は切手を貼らずに出してしまい戻ってきてしまったのでまた出
しました。)

【第十一信】 1972.5.9 封書 パリにて受取

とっても楽しいパズルリングをありがとう

今日はびっくりしました。なぜってお手紙が4通も届いていたからです。どれから読もうかと思うのもつかの間、三通の絵葉書に目を通し、次は長い心温まるお手紙を二十四時間もかかって読んだような気分です。

長い間一緒にいられてとても嬉しいわ。

私のために一日中付き合ってくれてありがとう。このようなお手紙は、どこを探しても見つからないでしょうね。とても貴重なもの、節子宝にしたいぐらい。私の宝は綺麗な箱に詰められだんだん増えていくのよ。その宝は私の知らない街から、赤い大きな風船に乗って、雨の日も風の日も変わらず、私の元に届くのです。

それなのに私はいけない娘、長い間、貴方が心配しているのも知らずに、お礼のお手紙を書かず、許してくださいね。これからは気をつけます。

パズルリング楽しいですね。我が家では皆で楽しんでます。特に母などは老眼鏡をかけ必死。最近指が太ったのかしら、ちょっときつい感じ、ところが不思議、今では指が細くなったのかな、リングが大きくなったのか、ゆるくなったのよ。でも節が高いので簡単には抜けませんが、愛用しております。

会社の友達で最近ヨーロッパ旅行をして、帰ってきた人がいます。その人が私のリングを見て、“パズルリングでしょ、どうしたの”

と聞くのです。私がイスタンブールで買って来たのよと、冗談を言うと“私もヨーロッパへ行った時、皆がはめているので欲しかったのよ”でもサイズが大きくて自分に合うのがなくて買えなかったそうです。その人のサイズは12くらいだそうですが、とても残念がっていました。“よく小さいの

があったわね。もっとよく探せばよかった”と言っていました次回は必ず買うそうです。

パズルリングはこんなにも難しいものだとは思ってもいなかったの、組み合わせるのに苦労しました。

何も見ないでできたら「僕のお嫁さんにしてあげる」とのこと、解説書を見ないで一生懸命頑張ったのですが、三時間かかっても、魔法の鍵は解けないのです。鼻の脂をちょちょいつけてエイ！さあ出来上がりといきたいところですが、残念。仕方なく解説書を開き、まずすみからすみまで読み、次に読みながら組み合わせ開始。いい線までいくのですが、最後の後一步がまとまらず、また元どおりバラバラになってしまうの。

このリングは最初からおかしかったのではと疑ってみたり、長い間考えていると、頭がおかしくなりそう。今日こそはとじっくり腰を据えて、取り組み始め十分もしないうちに、なんとなく形らしくなり、完成大成功バンザイ！思わず大声を張り上げてしまいました。

結局、一日三十分から一時間半繰り返し、正味四時間くらいもかかって出来上がったことになります。

相性の問題、相性とはお互いを感じる何かがあり、お互いに必要とする何か、そんな姿なのでしょうね。現代でいうフィーリングとでも言うのかな。私は相性を、かたいものと考えていましたが、もっと身近にたくさんあるものなのね。

異性だけではなく、同性間にも相性は関係してくるのですね。

私の友達（会社）で女性に嫌われている人がいるのです。その人は何事もはっきり、悪いことも、良いことも喋ってしまうのです。だから皆が集まって話している時でも、その人がいるために、楽しくなくなるのです。しかし、私とは気があうのです。私と彼女とは性格が反対だからでしょうか。反対でもないけど、このような場合も相性がいいからでしょう。

私は十月三日生まれで天秤座です。

貴方が思っていた通りなので、またまたびっくり、永遠に自分の理想の伴侶を求め続ける性格だそうで、ちょっと心配です（ミスおばあちゃんにはなりたくない）生まれた月、星座によって、その人の性格が分かるなんて不思議ですね。でも必ずしもそれに該当するとは、限らないでしょうけどね。

でも星占いとか、手相にとっても興味があります。ある雑誌によると五月、天秤座の運勢は苦しみながらもなんとかなる月、悩むよりも尻尾を触れ、人への親切と奉仕も、一徳を掴む動機となります。“与えよ、さらば与えられん”この奇妙な言葉が当たる月と書いてありました。貴方は何月何日生まれですか？

確か私の記憶だと五月生まれだと思っていたのですが、私と同じ天秤座だとは思ってもいなかったのがびっくりしました。

乙女座、カニ座の女性は良い主婦になるとのことですが、天秤座の女性も良い主婦になると思いますよ。ぜったいに（この言葉強調）誰だって悪い奥さんにはなりたくないですものね。好きな人のためなら、何がなんでも尽くしてしまうのですが、夫婦になるとお互いに良き主婦、最高の夫になるのでしょうか。

この間の旅行でびっくりしたのですが、若い夫婦で旅行している人が多いのです。同じシャツを着て、手を繋ぎ嬉しそうでした。結婚しても二人で旅行できるなんて楽しいでしょうね。歳をとってからも、若い時の気持ちを忘れず、昔、歩いた道、土地へ行きたいですね。

私の理想の男性像は

- ①健康な人
- ②ユーモアのある人（私は自分で言うのもおかしいけど、おとなしいからフッフ）

③責任感の強い人

④気の大きい人（多い人ではない）

貴方と同じように欲張ったらきりが無いと思います。全て条件を備えていれば理想ですが、そんな人はいない、いたとしたら逆に嫌になってしまうのでは、ないでしょうか。

先日のお手紙に書いてありましたね。

“男は度胸、女は愛嬌”最近の世の中は反対の傾向がありますが、やはり男は度胸、頼れる人がいいですね。

お互いに話し合える人がいいわ。ただそばにいただけでいいと言う人もいるけど、話し合いのない夫婦なんて味気ないと思うから。

すると私と同じか、少し私より頭のいい人、頭がいいと言うのはおかしいけど、常識のわかっている人。

お互いに何かがあれば、私も結婚しちゃうかも。今午前一時、全然眠くないけど、明日いつもより早く（一時間、会議があるため）いかなければならないので、この辺で。また書きます。

おやすみなさい ひろゆきさん

5 / 9

東京より愛を込めて

せつこ

[第十二信] 1972.5.13 封書 モロッコ タザにて受取

いや！絶対にいや！ いやですよ。

外国語をマスターするために、日本語を忘れようと思っている男性へ。日本よりも外国の方が、綺麗な女性や親切な人が多いし、ごみごみしている東京よりも広々とした国で、澄んだ空気を思う存分吸って生活した方が、人間長生きするし、26年間の日本での生活にも飽きたので、パリにでも永住しようというのですか？

貴方のためには、その方が良いかも知れませんね。私も貴方の考えに協力するため、お手紙を書くのをやめます。その方が外国語の上達も早いし、勉強にもなるわね。これは貴方に届く最後の便りになるでしょう。

いや！絶対にいや！ いやですよ。

言葉なんて上達しなくてもいい、日本を忘れないでほしい。そして貴方を心配している、一人の女の子がいることも。お手紙だって毎日待っているのよ。何も来ない時はどうしたのかな？と心配になります。

貴方も私のこと心配してくれてありがとう。

私は元気よ！

私は行動がスローなので何をするにも時間がかかるのです。やることは早い（ちょっと理解できないですね）

やりだすと早いのですが、手をつけるまでが時間がかかるのです。夜7時頃帰宅して、夕食を食べてお風呂に入ると、あっという間に10時11時。そのためお手紙を書き損ねてしまったのです。ごめんなさい。言い訳は無用ですね。横になるとすぐ眠ってしまう私、毎日現金を扱っているので、神経を使っているのでしょう。

それとも私って図々しいのかな。眠ってしまうと朝まで目が覚めないのです。きっと泥棒が入ったり、火事が起きても知らないで、ぐうぐう眠っているでしょう。ちょっとゾッとしますね。

貴方へのお手紙書きながら、眠ってしまったこともあります。ごめんなさい。心を込めて書いているつもりですので、悪しからず。寝る子は育つと言われますが本当ですね（私などは背が伸びなかったけど）。朝食がとても美味しく食べられるのです。時間がギリギリなので、ゆっくり食べられないのが残念ですが（朝起きるのが遅いため）、私も勤めてから今年で6年目になります。

経ってみれば短いけれども、まる5年という月日は長いですね。5年経てば何事にも一人前ですからね。

一人前になるのが怖い。もう前から一人前として仕事をしてきましたが、会社になくってはならない存在になってしまうと、なかなかやめられなくなる。またお給料がだんだん良くなっていくので、住み心地が良いため辞める気が、しなくなってしまうのです。

最近ではそんな自分が怖くなってきたのです。これから先ずっと会社に勤めようか、なんて考えることもあるのよ。でも女性には結婚するのが一番幸福ですよ。銀行にも40歳過ぎた女性が二人います。ひとりの人はとてもやり手で、男性的で役がついているのです。「一生私は結婚なんてしたくはない」と言っています。もうひとりの人は「できたら結婚したい」良い人がいたらということなのでしょう。この人には、よく「女性は結婚した方がいいわよ」と言い聞かされます。女性が一人で生きていくのは、よほどの決心がない限り、寂しくてできないでしょう。私などは特に。

5年間色々ありました。苦しいことも 楽しいことも、でも今となれば楽しい思い出になってしまいました。

会社勤めしてよかった。上司、同僚、先輩後輩、色々な人と知り合うことができただけでも。

仕事上のコミュニケーションの問題、人間関係の問題、苦勞したこともたくさんありました。女性が多いため、上司に対する不満をぶつけられたことも。例えば、「誰々さんは矢口さんばかりに仕事を頼んで、私には持ってこない」とか「誰々さんは誰かさんとはよく話すけれども、私とは話してくれない」という問題です。

男性から見ればどうということもないのですが、女性にとっては重大なことなのですね。

辞めたいと思ったことが何度もありました。しかし私には辞めて他の会社に勤める勇気、決心がなかったのでしょうか。毎日こんな生活でいいのかしら、何か身につけて、勉強しなくてはいけないのではないだろうか。

平凡な生活が嫌になってきたのです。サラリーマンに限らず何の職業の人であっても、同じかもしれませんが、自分から変化を求め、作っていかねばいけないのですね。

社会に出て経験したものは、自分にとってよかったと思っています。

ひろゆきさん！一つだけ心配なことがあります。六ヶ月間の観光旅行をしたら、仕事をするとおっしゃっていましたが、あなたのお手紙には、そのようなことは書いてないので、どうしているのか疑問なのです。それにお金だって続かないと思いますが？余計な心配だったらごめんなさい。

またね　　いつもやさしいひろゆきさんへ

5/13

せつこ

[第十三信] 1972.5.15 封書 マドリッドにて受取

友と二人で木曽路の旅を楽しんだ

いつもお母さん思いのひろゆきさんへ

お母さん子だったのかしら、それとも遠く離れてお母さんの暖かさを、懐かしんでいるのでしょうか。お母さん！いいものですね。末っ子が一番可愛がられて得ですね。私の家でも、長男、末娘は可愛がられています。私だけは無関心で自由に、やらせていただいております。小さい頃お菓子の量が一番少なく泣いたことがありました（お兄さんは体が大きいから、妹は小さいのだからという理由で、多くあげる）。

私の母は50歳、歳は若いけど昔から（子供の頃から）苦労してきたので、年より老けて見える。背は私より低く太っているが、身体だけは丈夫で病気をしたことがない。私も年をとるとあのような姿になるのかと思うと嫌になる。でも誰よりも一番好きなのはお母さん。あなたもそのようですね。

母親に比べたら父親は寂しいわね。存在価値が薄くて、一家の生計を営むのは父親なのに、母の日は覚えていても、父の日はそれほど気にしないですものね。

“たはむれに母を背負いてそのあまり軽きに泣きて三歩歩まず”は啄木の短歌、いつまでもお母さんは大切にしたいものですね。お父さんも。

木曽路への旅（2日～7日）は私の重い心を和らげてくれました。新宿0：30発松本行、連休のため新宿駅にはリュックを背に、キャラバン姿の若者でいっぱい、初めて胸にワッペンをつけて並びました。塩尻から木曽路の旅始まり。これより南木曽路（桜沢）という石碑が建てられている。友達と二人旅、計画も立てず、宿の予約もせず、思いつくまま自由に行動しようと意見が合い、バスに乗れるところも歩き、峠を越え谷を歩き、橋

を渡り、とにかく歩き続けました。おかげで食欲のあること、1kgは太ったようね。

食事も食堂には入らず、パンと生野菜を買い、峠の途中で景色を見ながら食べるといった具合で、楽しいものでした。

妻籠では困ってしまいました。1軒くらい空いていると思って行っただですが、どこの宿もいっぱいなのです。妻籠は昔の宿場で有名なところで、皆が利用しているようです。

夕暮れ迫り、どこの宿も電気が明々と光っているのに、私たち二人、心細く駅の案内所へ行き宿を頼みました。そして駅から車で20分ほど離れた民宿を紹介してくれたのですが、行けども行けども山の中、滝が流れて川の音は聞こえるのですが、辺りは真っ暗、やっと辿り着いた家は大きな広い家で、玄関に入ると昔の郷土品がたくさん並べてあり、何百年前の刀や鎧が黒光りしていて、異様な感じでした。

しかし家の人はとても良い人で安心。昔からの囲炉裏が座敷の真ん中にあり、何とも良い情緒を味わうことができ、かえってよかったと喜び合いました。

木曽はやはり御岳山、どこへ行っても真っ白に雪化粧した姿が見られ、民謡でも唄いたい気分。バスで7合目まで登れるので、夏には登山者が多いそうです。5合目あたりから雪が深くなり、7合目につくと1mもの雪がまだ積もっていて、スキーを楽しむ若者が何人かいました。

6年位前、白馬の大雪渓に登った時も夏スキーをしている人がいて、不思議に思ったものでした。ここからの眺めは素晴らしく、御岳と並んで乗鞍岳、反対側には木曽駒ヶ岳、やはりそれぞれ雪化粧をしていて、最高の景色です。私の吐く息が白くなり、いかに温度が低いかを思わせる。薄着で登ったので（バス利用）、ゆっくりできず残念でした。

夏になると御岳高原と言われ植物園があり、野原で昼寝することができるそうです。昼寝をする予定だったのですが、まさか雪があるとは知らなかった。

生まれて初めて川釣りをしました（確か木曾川だと思ったけど）。ヒッチハイクで乗せてもらった、その土地の男性二人と私たち女性二人、ちょっといい組み合わせでしょう。

鉄橋の下、大きな石がたくさんあり、川の谷あいにはつつじの花が真っ赤に咲き、若葉が茂り、とても良い所でした。お天気が良かったので少し顔が黒くなりましたよ。

まず水にジュースとリンゴを冷やしてから、小さな石で川のへりに囲いを作り、釣れた魚を入れるのです。あまり釣れないだろうと思っていたら、面白いように15～20cmくらいの魚が次から次と釣れるのです。何という名前か聞いたのですが忘れしました。

一人四匹づつ釣れたので、串に刺して丸焼きにして食べましたが、塩をかけすぎたのでちょっと辛すぎたようでした。でも美味しかった。あなたにも食べさせてあげたかった。

釣りは気の短い人に向いているというけどどうしてかしらね。

旅行中絵葉書を送りましたが、多分エジプトに送ったので、そちらへ行ってから受け取れると思います。旅行はいいですね。でも私は2～3日するとホームシックにかかり困ります。そんな歳でもないのにね。貴方はもう通り過ぎちゃったようですね。

このお手紙を読んでいるのは何時頃かな。お日様の見える所かな、それともお星様の見える所かな、私の方は今、

AM1:10 これから眠ります。 おやすみなさい

せつこ

5 / 15 同封したのは紙人形のしおりです。できているのを見ながら作ったのですが如何ですか。初めてなので形が良くないけど。

[第十四信] 1972.5.20 封書 モロッコ タザにて受取

あなたの心境にぴったり、吉田拓郎の“ふるさと”の詩

My dear Hiroyuki

ただいま！今会社からから帰ってきたところです。そしてすぐ机の前に座りこのお手紙を書き始めました。

しかしお手紙は書きたいのですが、何を書こうか迷ってしまうのです。ペンの思うように進まず困ります。こんな時が一番嫌ですね。また後で書くことにして、部屋の掃除をすることにしました。ごめんなさい。

今、レコードを聴きながら、貴方の心境にぴったりの曲が、いや詩がありましたので書きます。

“おやじを愛し、オフクロを愛し

兄貴を姉貴を愛し、そして自分を愛し

ふるさとが好き、生まれたところが好き
育ててくれた町が好き、そして自分が好きさ

日本に生まれ、日本で育ち、

日本を愛している筈さ、そして自分を信じて

青い海があり、緑の山があり

川が流れている筈さ、そしてそこに僕がいて

恋人を信じ、友達を信じ、人の心を信じて

そして笑顔を見せて、ここは日本だ

僕のふるさとだ、信じて愛していたい

ここは僕のふるさとだ。ララララ．．．”

“ふるさと”という詩ですがいかがですか？

もう日本なんて忘れちゃったかな。

今こちらで人気のあるフォーク歌手（よしだたくろう）の作詞作曲のものです。そして自分で歌っているのですよ。

可愛い猫の切手と民族衣装の切手どうもありがとう。切手にも変わった種類のものであり楽しくなりました。私は大きな口を開いて鳴いている猫が一番好き、でもその下の雑種の猫（日本でいう三毛猫かな）も好き。というのは昔我家で飼っていたチコちゃんに似ているから。“雪やコンコン霰やコンコン降っても降ってもまだ降り止まぬ、犬は喜び庭駆け回り、猫はこたつで丸くなる”という童謡がありましたが、本当に猫は寒がりですね。私が寝ている布団の中に入り込んで一緒に寝たり、狭いコタツの中で大の字になって寝たり、そのうち急に外に飛び出てきてのびてしまうのです。きっと長く入りすぎてのぼせちゃったのでしょうか。その時の姿って面白いですよ。

動物を飼うのはいいですが、死んだりいなくなってしまうことを考えると嫌ですね。情が移ってしまうからでしょうか。

貴方はネコ歳ということですが、外国にも十二支なんてあるのかな？
確か日本ではトリ歳だと思いますが、貴方の家族にはネズミの方が多そうですね。我家では母と兄がトリ歳で貴方と同じですね。
十二支によってもその人の性質がわかるそうで、ネズミ年の人はちゃっかりしていて、コツコツと貯めるところがあるそうです（私はその割には貯まらない）。トリ歳の人は何だったかな？

この間のお手紙に日本料理には未練残していないということが書いてあり、ちょっと迷ったのですが、やはり送ることにしました。
お茶とお菓子です。どうぞ召し上がってください。

5/20 元気でね またお手紙で会いましょう。

せつこ

[第十五信] 1972.5.31 封書 チュニスにて受取

5月は二回もお見合いをさせられ、おかしくなりそう

遠く離れた街でひとり、もしかしたら私への便りを書いているひろゆきさんへ

長い間お便りが来ないので
心配しているせつこより

どうしたかな…？

毎日いらいらしながら待っている気持ちわかってもらえるかしら。この間の貴方からのお手紙にも同じようなことが書いてあったから、きっとわかっていただけなのでしょう。

お手紙が届いている日は、とても嬉しいの。でも届いていないと私の心に穴が空いたようでつまらない。こんな日が続くと穴がだんだん大きくなるようで淋しいです。

私のつまらない時の顔って想像つくかな。口をとんがらかし眉をハの字にするのよ。どう見ても娘らしい顔ではないですね。

そんな顔するとしわが増えるからやめよう。いつも笑顔を忘れず頑張っています。

何に頑張っているのでしょうかね。あまり笑いすぎると今度は目尻にシワができちゃう。どうしたらいいのかな。顔のマッサージでもして、皮膚を強くたくましくしなければ、そのうちおかめみたいにふくよかな顔になるかも。そしたらシワなんてできないでしょうね

ごめんなさい。最初からグチをこぼしてしまって。楽しいお話しをしましょうね。何か良いことや変わったこと、ありましたか。そちらでは毎日

の生活が冒険で変化があり、楽しいでしょうね。それは苦しい事もたくさんあるでしょうが。

この間、会社でボーリング大会があり、私も賞品を獲得しようと、張り切って投げたのですが、惜しくも百四十人中第？位、後ろから数えた方が早いくらいでした。こんなことになるならブービー賞でも狙う方が良かったのかもしれないね。

私は手に癖があるのかな、まっすぐ投げているつもりでも、右へ左へその時の気分によって、曲がってしまうのです。なんだか私の性格を表しているようで、投げるのが嫌になる時があります。

素直な人だったら、ボールもまっすぐに伸びるでしょうから。私の今までの最高点は百四十くらい、今回は二ゲームで百九十と低い点ですね。貴方はいくつ位だったかな、私が初めてボーリングをしたのがスキーと同じで、貴方達と後楽園でしたのが初めて。ボールの持ち方、歩き方、投げ方まで丁寧に教えていただいたのを覚えています。

その時も確か同じくらいの点だったと思いますが、それからだいぶ回数をしたけれども、上達していないようでがっかり。

女性の最高は三百二十、男性が三百七十、私の倍ですね。頑張らなくっちゃ～。

五月は私にとって色々な事がありました。周りの人は今年中に、私を結婚させようと必死なのです。二回もお見合いをさせられました。お見合いというよりも、会社の上司の友人、親類のおじさんの友達の息子を、紹介されたのです。どちらもとても良い人です。しかし私は全然その気になれないのです。いつも第三者的な立場でしか、考えることができない私。自分の事なのに、ひと、他人のここのように思えるのです。まだ私には素直

さが足りないのでしょうか。私は義理で二人の人に会ったような気がするのです。だから自分から、この人ならばと決められないのです。

こんなお手紙を出したら、また貴方に叱られるでしょうね。わたしの書くことは本当に理解するのに、むづかしいですね。自分で書いていてもわからなくなってしまうのです。

自分でもわからないなんて卑怯ですね。つまり感じる何かがないのだと思います。“何か”なんて簡単なものだと思いますが、その簡単なものがないのですから、やはり駄目なのですね。貴方からのお便りにも、お見合いをしたり、積極的に見つけなさいという言葉が、多く書いてありますが、そう簡単にはいかないものですよ。

毎日こういう事ばかり考えていると、本当に頭がおかしくなりそう、いやおかしくなります。

わたしは自分では内向的だとは思っていません。積極的にならなければならない時は、自然に行動しているようです。

でも相手の気持ちが分かってからでないと、進んでいけないようです。相手が私の事をよく思っていないという事がわかっている時に私は積極的になれないのです。

いくら私の事が嫌いであっても、相手を私に仕向けるようにしなければいけないのかな。

そこまでは私にはできません。やはり私は内向的なのもかもしれませんね。私はよく人に、貴方はずるいと言われます。もし自分が好きだったら突進しなさいと、

“相手の様子を伺ってから行動するのはずるい、自分の本当の気持ちをすぐぶつけなければいけない”と分かっているのです。

分かっているけど、その時になると考えてしまう。もう考えるのはやめます。

今日で五月も終わり、一番爽やかな季節ですね。六月は私の嫌いな季節。梅雨はゆうつ

でも雨に濡れた紫陽花の花は好きなのよ。

紫陽花の花は色が変わるので、移り気なんですって、それを聞いたらちょっと嫌になったけど、紫陽花の葉にカタツムリが来ている風景はいいですね。

また書きます。 お手紙でお会いしましょう。

5 / 3 1

せつこ

[第十六信] 1972.6.2 封書 エジプト カイロにて受取

今すぐにでも真相をつたえたいのです

久しぶりにお便りが届き嬉しかった。でも私からの便りが届いていないという事で、とても残念です。確かパリのJAL宛に二通、モロッコ宛に三通送ったはずなのですが、もしかしたらパリのJALの方へ送った分は、貴方が発ってしまった後に届いたのかもしれませんがね。私がいけなかったのです。貴方のお便りには、五月十日まで日本を出す分と書いてありましたね。1日遅れて十一日の日に速達で出したのですが、入れ違いになってしまったのでしょうか。ごめんなさい。届いていると思い、日数を計算し、ひろゆきさんからのお便りを待っていたのです。

その便りにパズルリングのことや、私の理想の男性像、妹から貴方へパズルリングのお礼の手紙を、同封してあるはずなのです。

そして貴方からのお手紙もだんだん増えてきて、今では綺麗な箱に詰められ“節子宝”になっているということも、この間の木曾路への旅の思い出も書きました。

貴方のお便りを読み、もうどうして良いかわかりません。今すぐにでも真相を伝えたいのです。そして今までのお互いの、行き違いを分かってもらいたいのです。今、すぐに伝える事ができたら、私のイライラする気持ちも治るでしょうが、とても残念です。

早くこの手紙が届きますように、1分でも早く送りたい。でも書きたい事がたくさんあるので、書いてからポストに入れることにします。離れていての文通はむづかしいですね。

もしかしてモロッコ宛に送った手紙がお手許に届いていたとしたら、これから書くことは重複するかもしれませんが、お許してください。

遅くなりました。パズルリングどうもありがとう。変わったリングで楽しいですね。友達がめづらしがり外しては、はめさせてとよく言われます。でも、一度指に入れたリングはなかなか抜けないのです。

石鹸をつけて外すと簡単に抜くことはできます。私は外したくないのです（ちょっと意地悪ですね）そのためにもいいのかも。きついではありません。私の指にも妹の指にも丁度良く、私たちの節が高いために抜きづらようです。中にはめている分にはピッタリ、二人とも愛用しております。

最初きつかったので、もし入らなかったらどうしようと心配しましたが、どういうわけか慣れてしまうと指に馴染んでしまって、最初に比べたら緩くなったようです。

リングの組み合わせが、こんなにむづかしいものだとは思わなかったので、組み合わせるのに苦労しました。4本のリングを見れば見るほど、目が寄ってしまって、同じように見えたり、模様が組み合ったと思うと、細かい部分がバラバラだったり、細かい部分を最初に合わせると、模様部分が合わなかったり、私の頭よりもリングの方がおかしいのではと疑ってみました。

解説書を見ないでできたら”僕のお嫁さんにしてあげる”という事で、一生懸命頑張ったのですが残念ながらできなかったのです。

解説書を開き時間をかけて奮闘した結果、やっとできあがったのです。何時間ぐらいかかったのかな、とても嬉しかった。何だか学生時代に数学の方程式を頭をひねって考え、解いた時のような気持ちでした。いやそれ以上の喜びで嬉しかった。本当に楽しいものをありがとう。それなのに貴方へのお礼が、一ヶ月以上も遅れてすみません。

身体の調子が良くないという事ですが、心配です。知らない国で病気になってしまうと大変ですから、くれぐれも気をつけてね。

それに一人なので、無理をしてはいけません。人間一番大切なのは身体ですよ。

いくら良い景色を見る事ができても、身体が良くなければ、その美しさは半減するでしょう。

貴方も定まったところに落ち着きたいと、書いてありましたが、私もそうしてほしいわ。だってそうすれば、お手紙は必ず貴方の手に届くでしょうから。

少し余裕を持って送らなければいけないですね。このお手紙が無事届くように祈りながら

おやすみなさい。

早く元気になって楽しいお便り

6/12

待っています

せつこ

[第十七信] 1972.6.12 葉書 エジプト カイロにて受取
お茶を喜んでくれてとても嬉しいです

手書きの紫陽花とかたつむりの絵葉書

かたつむりさん こんにちは！
身体の調子は如何ですか
精神的に疲れているようですが
気候の差が激しいせいでしょうね。
いつも背中に大きな荷物を積んで
のっそりのっそり歩いている
かたつむりさん！
雨が降ると貴方の姿は
いつもより輝いて見える。雨が好きなのね！
かたつむりさんは、美しいものを見るといつもその場所を離れられないのね。
紫陽花の花が羨ましい。
かたつむりさん。時にはいつものやりを引っ込めて静養しなさい。酒井宅
では親切にしてくださいよかったですね。
お茶を喜んでくれてとても嬉しいです。

6 / 1 2

せつこ

[第十八信] 1972.6.15 封書 エジプト カイロにて受取

天秤座の女性も良い奥さんになりますよ。絶対に！

いつになく暇な一日でした。

それなのに今日は、現金が一万円不足で、気分がすっきりしません。私の窓口は、株式、配当金、税金、電話債権、宝くじ、その他証券と種類が多く、よく間違えるのです。でも現金は合うのが当然で、合わないのはおかしいのです。それに何年もやっているのですからプロのはず。私は他のテラーに比べて間違える回数が多いのです。プロがミスをしては恥ずかしく、いけない事なのですが…。

今日はある会社の社長さんが、株の申し込みに24万円の小切手と21万円の現金を出されたのです。私が勘違いで20万円しかないのに21万円と計算（数え違い）してしまい、最後に合わせる段階で一万円足りない事がわかり、早速社長さんにTELしたのですが“貴女、銀行員がそのようではいけないよ。その場で合ったと言ったのだから、今更違うと言っても私は困る”こう言われてしまい、私は謝るより仕方ありませんでした。

“第一勧銀の窓口嬢がこのようなミスをしては困るではないですか”私はもう涙が止まらずただ下を向くばかり。上司には人間だから間違えることはあるのだから、気にしないようにと慰められるのですが、自分で自分が情けなくなり、余計涙がこぼれてしまい、うさぎさんのように目が真っ赤になり恥ずかしかった。これからは気をつけなくては。二度とこんな思いをしたくない。忙しい日よりも暇な日の方が油断してしまうので良くないのである。帰り、上司の人が気を使ってくれてビールを飲み連れて行ってくれた。その時は忘れるが、家に帰ってきて独りになると、また思い出してしまう。嫌なものです。そして貴方へお手紙書いています。

今日の出来事を知って欲しかったから。

やっとお互いに意思が通じたようで嬉しい。だって最近はお互いに行き違いが多かったんですもの。私の便りが届いていなかったりして、貴女の手が届かなかった手紙には、何が書いてあるのか、私も良く覚えていませんが、確か長い長い手紙だったと思います。相性のことで貴方に相談した事がありましたね。そして貴方から“お互いに惹きつける何かがあれば、相性がいいのだよ！暦はどうあっても、星座がどうあれ、変えようがない真実だ”と、私もそう思います。暦での相性が良くても、お互いに側にいるのが嫌な人だったらどうしようもないですものね。

今までむづかしく考えていた私。相性とはもっともっと身近にある何かなのね。私の家でも両親は相性が良くないのです（暦の上では）。でも長い間私たち兄妹を育ててくれたのですもの、相性が悪いはずがないですね。夫婦で相性が悪かったら、とっくに別れているでしょう。

貴方は天秤座だそうでびっくりしました。私の星座と同じだからです。貴方のお手紙にも書いてありましたが、私がかもししたら天秤座ではないか？と、その通りなのです。

私も占いが好きで、本などに出ていると、まず占いを先に見るのです。やはり当たっている点が多いように思えます。

しかし“永遠に自分の理想の伴侶を、求め続ける性格“だそうで心配です。カニ座の人は良い主婦になるそうですが、天秤座の女性も良い奥さんになりますよ。絶対に！

いつまでも理想の男性を求め続けたら、貴方のお手紙ではないですが、ミスおばあちゃんになってしまいますね。気をつけます。

天秤座でも九月の終わりから十月の中旬までの人のことを指しますが何月何日生れですか。まさか十月三日生まれでは無いですよ。私は十月三日生れだからです。もし同じだったら面白いですね。いつか教えてね。私は今まで貴方の誕生日は五月だと思っていたのです。それは昔聞いたよ

うな気がしたから。でも違っていたのね。でも嬉しいの、貴方と同じ頃に歳をとるのですもの。いや、今年からひとつづつ若くなるんだっけ。

そちらの食事を書いてくれてありがとう。読んでいるとよだれが落ちそうで、お腹がすいてきてどうしようもありません。

パンが主食で羨ましい。私はご飯（米）よりパンの方が好きなの。一日中パンでも飽きないくらい。でもやはり日本人、一日パンだとお米が食べたくなる。

フランスパン、クロワッサン、バター付きのトースト、それだけ食べていれば他の食べ物はいらないくらいなのですが、パンはカロリーがあるから太るそうなので、あまり量は食べられませんが、しかし私は気にしないの太っても。

日本人は食事中に話すことは嫌いますが、そちらの人は楽しく食事をす、そしてお料理もとても豪勢で、時間をかけて食べる。いいことですね。日本人みたいにムツリしながら食べると、お料理の味が悪くなる。でも最近では外国並みになってきましたが、いろいろな国のお料理が、食べられていいですね。職業を変えてコックさんにでもなったらいかがですか。きっと変わったコックさんになると思いますよ。タザの酒井宅ではお寿司を作ったそうですが、良い腕前のようにですね。なんだか私まで食べたような気になりました。ごちそうさま、とても美味しかった。

“料理は真心である。心のこもった料理には、美味しさが秘められている”と書いてありましたね。

私はお料理が下手なのです。何を食べても美味しいのです。味がわからない。自分が作ったものは全て美味しい。他の人が食べて、これはまずい、味が変わだというものでも、私には感じないのです。私の夫になる人は、味のわからぬ人でないと、いつも喧嘩が絶えないだろうと思います。フッフ

でも一回の料理で、その人の料理の技術を決めてしまっは失礼、女性にとっては一生の仕事ですもの、いかにして美味しい、芸術的にも綺麗な料理を作るかを研究することによって、料理の腕が上がるのでしょう。

何事も努力ですよ。努力すれば、きっといつかは実りますよ。

何を食べても美味しいなんて、舌がどうかしているようですが、努力していない証拠みたいで恥ずかしい。みたいではない、努力していないのです。

今まで書いたことは、もしかしたら重複するかもしれませんが失礼。

この間伊藤さんに会ったら、“どこにいるのかわからないので、手紙が出せない”と言っていましたよ。アフリカに行くと言っていたが、ライオンにでも食べられたのではないかと、心配していました。住所（宛先）を教えましたので着くでしょう。又ね 身体に気をつけて

(1枚目に比べて字が汚くなってごめんね)

6 / 15

せつこより

[第十九信] 1972.6.21 封書 エジプト カイロにて受取

今すぐにでも貴方の胸の中に飛び込んでいきたい

My dear Hiroyuki

6/13付のお手紙十九日に受け取りました。

かわいいネズミちゃんのバースデーカードありがとうございます。

ちょっと早すぎたようですが、私には最高の喜びになりました。私のことを本当に思ってくれて嬉しい。

今すぐにでも貴方の胸の中に、飛び込んでいきたい。そして赤い夕日が沈むまで、いやいやいつまでもそうしていきたい。離れたくない。

私は貴方が好きです。貴方のために何かをしてあげたい。でも好きになればなるほど、私はつらくなるの。だって何年も帰ってこないから。でも今の気持ちを大切にしたい。

先日行き違いになったお手紙に、貴方のお誕生日のことを尋ねましたしたが、13日付けのお手紙で9月23日ということが、わかりました。秋分の日ですね。おめでたが重なっていいですね。

千葉の清澄山を教えてくれてありがとう。今度の日曜日にでも行ってみようと思います。先週の日曜日は、鎌倉にある明月院の紫陽花を見てきました。しかし人が多く、紫陽花よりも人を見に行ったようなもので、残念。季節的にもやむを得ないのでしょうかね。

私の履歴書

矢口節子 昭和23年10月3日生

父・正行52歳 母・トシ子50歳の長女

長兄・正長27歳 兄嫁・早苗21歳

宝石小売業 高島屋大宮店勤務

次女・修代 20歳 三井銀行本店勤務

父は20年間黒板製造業をしていたが、五年前から身体が悪くなる。兄が家業を継いでいたが、本人が向いていないため、昨年6月で商売をやめ、7月から現在の職業に変わる。家では部屋数は少ないがアパートを経営している。私が生まれた時停電になり困ったそうだ。豊島区池袋第一小学校卒、豊島区立池袋中学卒、淑徳学園高校卒、42年日本勧業銀行に入社。現在第一勧業銀行の行員である。身長は154cm、体重47kgと小柄。あと5cmくらい高くなりたいが、もう伸びそうにないので諦めている。B、W、Hはご想像に任せます。髪は昨年11月に短く切る。髪は人一倍多く毛深い。私の悩みの一つ。でも毛深い人は情が熱いということで我慢している。

ごめんね。貴方が気にしていることを書いて、中学では体育の先生が好きになり、体育の先生になりたかった。バレーボール部に入り部長を務める。高校は宗教の学校とは知っていたが、毎朝お経を唱えるとは知らずびっくり（浄土宗）。

バレー部に入ったが回転レシーブでお尻に大きな痣を作り、二ヶ月でやめる。その後茶道部に入る。しかしあまり真面目にやらなかったので、作法は覚えていない。

好きなものは山登り（ハイキング程度）旅行、スポーツならなんでも（あまり上手ではないが）汗をかくことが好き。スポーツ後のビールが最

高（ただし一口だけ）。個人プレーよりも団体競技の方が好きだが、一人で動く傾向があり、よく注意される。生花（もう五年以上も習っているがなかなか上達しない）手芸（やりだすと夜中の2・3時でも眠くならない）。甘いもの、あんみつ、北海道のアイスクリーム、私もしゃもともずくは最近食べて好きになったもの。水銀灯に降る雪。夏の風鈴の音。今も鳴っています。川の流れる音。好きなものはたくさんあります。

両親、兄妹、ひろゆきさんも好き。性格は気が小さいが楽天的なところもある。手相によると神経質だと言われたが、本人は全然反対で少し神経質になりたいと思う。私の履歴書は以上です。

6 / 21 AM1 : 00

せつこより

[第二十信] 1972.7.9 封書 エジプト カイロにて受取

貴方から優しいお便りが来れば来るほど苦しいの

廣行さんへ

6 / 30 付けのお手紙を今日7 / 8 受け取りました。久しぶりにお手紙書く私を許してください。お手紙が届いていないということで心配していました。でも、今日のお便りで読んでいただけたようなので安心しました。今までお手紙書けなかったのは悩んでいたのです。考えていたのです。考えることはない終わったと言っていますが、月日が過ぎれば過ぎるほど考えてしまい、自分の気持ちがわからなく不安になってしまったのです。貴方から優しいお便りが来れば来るほど苦しいの。素直になればなるほど怖くなってしまふ。私も貴方が好き！

でも好きになればなるほど、貴方を苦しめているようで私は辛い。近くにいればお互いにその気持ちを、膚で感じ理解することができるのに、私達にはできないの。私はそれが不安なのです。近くにいるときは感じなかったお互いが、遠く離れた今、何か感じつつある、本当に私は貴方が好きなのだろうか。貴方も私のことを好きなのだろうか？

ごめんね。こんなことを書いたら貴方は怒っているでしょうね。でもこれは本当の私の気持ち。悩んでいることなのです。

私が今まで悩んでいたことを、素直に貴方に伝えたいの。そして少しでも私という女の子をわかってほしいの。

今までお手紙書けなかったのは、考えすぎてしまったから。毎日毎日変化する、私の気持ちを伝えることが必要なのね。

そのためには、毎日便りを出さなければね。

貴方からバースデーカードが届いたとき、私は廣行さんのお嫁さんになり、外国へ行くんだと決めたのです。

しかし先輩や友達に相談すると、“貴方は行ってはいけない。本当にお互いに好きならば、彼が日本に帰ってきてお互いの気持ちを確かめてから、結婚すべきである”と言われたの。

妹には“人の意見によって自分の気持ちが左右するようでは、お姉さんは早川さんのこと本当に好きではないんでしょ！”と言われてしまいました。皆は私の気持ちも知らないで、言いたいことばかり言っています。でも友達や先輩の言うこともよくわかります。とても良い友達や先輩なのです。私には貴方に帰ってきてとは言えません。男性が一度決心したものを、変えさせる勇気も自信も私にはないのです。

貴方が“帰ってもいい”と言う言葉、本当に本当に嬉しいの。でも私のために日本に帰ってくるなんて、もったいないですよ。

今まで私が悩んでいたことを書きましたが、今日のお手紙を読んで、胸がすっきりしたような感じです。そして、私たちにはお互いに信じ合うことしかないのだと、思いました。お互いに知らないことの方が多いだろう、それも努力次第でどうにでもなるだろう（この間の貴方のお手紙に書いてありましたね）。お互いを理解するための努力は苦にならない。かえって楽しいのではと思う。そしてお互いのためにも飾った言葉はいらない。私が今まで悩んでいたように、貴方も悩んだことでしょう。私はそれが知りたいのです。私はもう悩むことはない。ただ貴方を信じてついていだけです。

[第二十一信] 1972.7.12封書 アディスアベバにて受取

私は決心したのです。あなたの良き妻になることを

“夕陽のむこうにあるものは…”というタイトルのついた、夕日の海に向かって並んで立つ後ろ姿のアベックの写真が表紙のA5サイズのカード。開いたカードの見開き右ページに

“ふたりの未来 ふたりの幸せ…”の言葉

その下に雪だるまとスキー板、二人の顔写真とイラストに以下のキャプション。



“表の写真とこの絵はあわないけれどもゆるしてね。貴方の写真を切ってしまうてすみません。写真がなかったので古いのを使いました。私の写真は最近のもので、絵が下手なので不恰好で失礼。本当は海の絵を描こうと思ったのですが、水着姿は自信がないのでやめました”

左ページに以下の本文

“ひろゆきさんありがとう”

私は人を信じることが
私は人を愛することが
こんなにも素晴らしいことだとは知らなかった。

私には知らないことが
私にはわからないことが
たくさんあるだろう。でも努力することによって
あなたの教えによって理解できるものなら苦にならない。

私はもう悩まない
私は決心したのです
あなたの良き妻になることを。

私はひとりじゃない
私にはあなたがいる
これからの長い人生、お互いに励まし合い
助けあい、ともに歩むことを誓います。

いつまでも今の気持ちを忘れず大切にしたい
そして1日も早くあなたのそばに行きたい
幸せになろうね！

7 / 12

せつこより

[第二十二信] 1972.7.19封書 アディスアベバにて受取

突然貴方のお父様が我が家を訪ねていらした

7/11 今日、あなたのお父様が我家を訪ねていらっしゃいました。突然のことなので両親も私もびっくり、私がびっくりするのはおかしいけれども、本当に驚きました。

だって昨日、貴方から“親父に君と会ってくれるよう手紙書いたので、会社の方へ電話するかもしれないけど、会ってやってくれ”というお手紙を頂いたばかりだったんですもの。心の準備ができていないし、両親にも詳しいことは話してなかったのです。昨日母に話しておけばよかった思いましたが、それももう遅い。母は貴方から続けてお便りがくるし、私の態度が最近おかしいので気にしていたようです。それに最初の頃はお手紙に書いてあることを話して聞かせていたのですが、最近は恥ずかしくて話せなかったのも、余計感じていたのでしょう。妹に“節子は早川さんのことを好きみたいだね。3年も帰ってこないらしいがそれまで待っている気かね？”と話していたようです。

妹が“お姉ちゃんは早川さんのところへ会いにいくかもしれないよ”と言うと、母はびっくりして“節子にはそんな度胸はないよ”と言っていたようです。

でも内心は好きな人だったら、どんな遠くでも会いに言って欲しいと思っていたでしょう

突然だったので、私は会うことができませんでしたが、両親は貴方のお父様を大変気に入ってしまったようで、私の気持ちがどうあれ良いお話なので、結婚させようと決めてしまったようです。私がどういう話だったかドキドキしながら会社から帰ってくると、両親は私の気持ちを聞くよりも、早川さんのお父さんはとても立派で良い方でしたよ。そして貴方の性格やら、旅行の目的、これからの予定、もし結婚するようになったら、貴

方をこちらに帰らせて、こちらで結婚式をさせるとか、お兄さんたちは“勝手だ、我儘だ”ということで反対している。ご両親は本人が結婚したいというのだから仕方がない、などいろいろ話したようです。

私も自分自身決心した後だったので、とても嬉しくすぐ返事するように頼みました。

私には平凡なサラリーマンの奥さんが向いていると言っていた両親に“カメラマンの人と結婚したいから外国へ行きます”と言ったならきっと反対するだろうと心配していたのに、どういうわけか一番喜んでくれているようです。それが本当によかったと思います。

私は最高に幸せ！今日はきっと貴方の夢を見ますように。

おやすみなさい

せつこより

7/12 ブック型の素敵なキーホルダー無事手元に届きましたので安心を。それに幸運のお守りもありがとう。蓋を開くとエジプトの空気がぎゅっ詰まっていたらしく、砂の匂いが辺り一面に漂い、エジプトのピラミッドの景色を想像させてくれました。エジプトは暑そうですね。キーホルダーをペンダントにして、いつも胸に下げたいと思ったのですが、常に下げているわけにもいかないので、私もキーホルダーとして、愛用しております。これなら常にスカートのポケット、手に持っていることができるのよ。

私の机のキー4つを、貴方と私の写真の入っている銀細工のホルダーは見守ってくれています（現金を扱っているので、離席するときは必ず鍵をかけなければいけないため。4つの引きだしがあるので4つもキーがある）。二人の写真は初めて白馬で会った時に、スキーを楽しんでいる写真ですので、二人ともだいぶ若いですが、満足しております。

写真といえばだいぶ前のお手紙に、私の写真を送るように書いてありましたね。ごめんなさい。忘れたわけではありませんので許してね。あまり気に入った写真がないので、送りそびれてしまっていたの。私の写真は、写真の顔と実物と全然違って写るのが、多いのですがどうしてかしら。自分が気にするほど他人はそのように思っていないらしい。でも本人としては、よく写っていた方が嬉しいですよ。妹に言わせると“実物と変わらない。実物以上に写っている。自分の顔を見てから言った方がいいよ”なんて言われます。

同封の写真は本人が見て、実物と変わらないのでは、と思ったので送ります。貴方の髭面の写真も早く見たいものです。

ひろゆきさん！今何をしているの。私のお手紙を読んでいるのね。ベッドの上？丘の上？駅のベンチ？

でも私がこの手紙を書いている時は、見物中かな。汽車の中で居眠りかな。トイレの中かな。暑い中をリュックを背に歩いているのかな？地図を広げて日本はどちらの方角かなんて、考えているのではないのでしょうか。

ひろゆきさん早く会いたい、1日でも早く貴方のそばへ行きたい。そしてたくさんたくさん話したい。今まで話せなかったことを、貴方のことを考えると、何も手につかないの、夢の中だけでも会いたいと、思うのです



が、夢の中には全然現れてくれないの。とても寂しい。いつも寝る時、神様お願い、今日こそはひろゆきさんの、夢を見せてください、とお祈りしているのにつまらない。でもきっと夢の中には出てきているのに、私が覚えていないのかもしれない。

ひろゆきさん必ず会いに行きますから、待っていてね。身体に気をつけてね。私も体力をつけるよう努力しています。

7/13 11:30PM

先日お父様がいらした時“ 廣行は末子のわりにはしっかりしていて親思いです。髪の毛が薄いのでいずれ私のようになるでしょう”と話していたそうで、髪が薄い人は頭が良く、頭を使う人に多いようで、悪人はいないと言いますね。

貴方はお父さん似のようですが、お母さんはどんな人かな。私は母に似て背が低い。顔も性格も似ているようです。母は幼い頃に両親を亡くしているので、苦労してきた。そのせいかしっかりしている。

父は内臓の方は丈夫であるが、神経性の病気で病名はわからない。神経質（昔から）なので余計いけないのだろう。他の家族は病気らしい病気をしないで健康なのに、父は皆の分まで背負っているようで、可哀想である。早く良くなってほしい。少しぐらい顔がまずくても背が低くても、頭が悪くても、健康第一ですね。

貴方の両親は健康でうらやましい（変にとらないでね）。親孝行をなさいね。親に心配させるのも孝行の一つとか、親に心配させないのも、親にとっては寂しいのでしょうか。

今日貴方のお父様に電話で、私の方の気持ちを伝えますと（母が電話したので、なんと行ったのかわからない）、大変喜んでいただいたようなので、私も嬉しくなりました。

早速23日の日曜日、神田の家（会社）を訪問することになりましたが、皆さん初対面なので、今から胸がドキドキして落ち着かず困っております。貴方のお手紙には皆良い人なので、心配しないようにと書いてありましたが、最初はやはり不安なものですよ。早く会ってこの落ち着かない気持ちを、すっきりさせたい。

そしてご両親とお話しして、貴方のことをもっともっと、知りたいのです。貴方も私のことをたくさん、知りたいでしょうね。

なんだか眠くなってきたので、また明日ね。おやすみ

あっそうそうエジプトのカイロ宛送った手紙7/10出はきっと貴方のお手元には届かなかったでしょうね。

私が悩んでいたことを書いたものですが、以前悩んだことなのですが、出すのをやめようと思ったのですが、私の素直な気持ちを書いたままでですを出しました。もう私の悩みは解決したので読まなくてもいいです。なんだか文章がおかしいようですがごめんね。

今度は本当にお休みなさい。

7/16 毎年やってくる台風。今年も断続的に雨が降り続き、九州、四国、愛知、岐阜と相次いで豪雨にみまわれ、山崩れで土砂に埋もれた家、洪水で流された家が多く300人も越す死者が出たそうです。

反対に東京ではお天気が続いたため、断水状態になり、水の制限をしていましたが、台風の影響で雨が降り断水から逃れたようです。台風によって被害を受けるところもあれば、かえって感謝する地方もあるのですから、皮肉ですね。

15日（土曜日）も6号台風が接近するなかを、妹と一緒に山梨へおじさんの新盆のため、お墓参りに行ってきました。

夜には風と雨が強くなり、静まりかえった山奥が（いつもなら）鬼でも現れたように、ドタバタ、ガサガサ、ジャージャーものすごい音。ところが台風の去った翌朝は嵐の後の静けさで、鳥の声が大空に響き、雨に濡れた木々が目にまぶしいぐらいに輝いて最高の気分。

朝早く、山路へ行き、大きな木に登り、すもも狩りを楽しみました。木に登るなんておてんばでしょう。こんな姿は貴方には見せられないですね。でも木の上からの景色は素晴らしく、緑が一面に広がり、すぐ下には葡萄畑、桑畑、桃の木、梅の木。桃の木には赤く売れた桃がかわいい。なんとも言えぬ香が漂う。木の枝に腰をかけ新鮮なすももをズボンで拭き、口の中に入れると熟した桃の汁が口いっぱいになり、思わず美味しいと叫んでしまいました。ちとオーバーかな。

あまり熟しすぎて赤いよりも、青い方が歯ごたえがあって甘いよ。地方によっては、牡丹杏（ぼたんきょう）とも言うのだそうですが、貴方は知っていますか。さくらんぼよりも大きくてそうゴルフの球ぐらいの大きさかな。貴方にも食べさせてあげたかった。木の上があまりにも楽しいので、降りるのを忘れてしまいました。木の上で昼寝なんていいでしょうね。そして貴方の夢でも見られたら…

私のことだからきっと、木から落ちちゃうでしょう。そしたら夢どころではないわね。お尻に大きな痣を作ったりしたらみっともない。でも誰にも言わなければ痣なんて見えないもの。お尻の痣といえば、初めてスキーをした時、大きな痣（本当に大きい）を作り、お風呂の入ってびっくりしたことがある。スキーでは毎度同じ場所を打つのですもの、大きくなりますね。変な話になりましたすみません。

おやすみなさい

いつも貴方を思っている節子より

10日以降こちらから出す手紙は、8月初めまで受け取れないということなので、まとめて出すようにしました。もし早くエチオピアに着いてしまったら、私の手紙が一通も届いていないのがっかりするようなことになったら大変なので、この分、今までの分だけ出すことにしました。

予定通りに着けば、このお手紙は10日間位エチオピアの日本大使館の郵便箱に入ったまま、貴方の到着を待っていることでしょう。首を長くして。

お疲れ様、長い旅はいかがでしたか。移動が多いと精神的にも疲れるでしょうね。でもエチオピアには長い間滞在するそうなので、疲れも取れてのんびりできるでしょう。私もその方が嬉しい。

ひろゆきさん、貴方の送別会をした日を思い出しました。確か原宿のお店へ行った時“もう会えないかもしれないから、二度と会うことはなくなるかもしれないから、まだ帰らないでくれ。もう少し話そうよ！”あの時の貴方、とても寂しそうだった。嬉しさの中に友達と別れる寂しさがあった。私だってもっと長く話していたかったの。でも時間ばかりが立ってしまって…

また会う日を楽しみに

7/19

愛するひろゆきさんへ せつこより

[第二十三信] 1972.7.28 封書 アディスアベバにて受取

私と貴方のご両親とのお見合いでした

おはよう！

今日は23日（日曜日）

貴方のご両親に会いに行く日。

朝早くから目が覚めたので、このお手紙を書いています。

外は、昨日からの雨がまだ少し降っているの、薄暗いが牛乳屋さんの自転車の音が聞こえてきて、静まりかえった朝にも楽しい1日が始まりそうだ。

昨夜は心配で眠れず嫌なことばかり考えてしまった私。“兄弟皆が反対しているので、このお話はなかったことにしてください”と言われてたり、ご両親に気に入ってもらえなかったら、どうしよう… 心配、心配、心配。

早く今日1日が過ぎてほしい。そして貴方に嬉しい良い知らせをすることができたら幸せ。帰ってきたらまたお手紙書きますので待っていてね（貴方も心配しているかな？）。

私たちが出かけるのは10時過ぎだから、それまでには雨よ止んでおくれ。

6:05 AM

せつこ

7/23 貴方のご両親は、私達（伯父と母）が予定よりも少し遅れたので、首を長くして待っていられたようで、私たちが着くと大変喜ばれ、心よく迎えてくれました。

貴方が言っていたように、本当に理解のある良いご両親で、私達も初めてあった方とは思えないぐらい、和やかに話することができ、きうれしく思いました。

お父様は貴方からのお手紙に書いてあることを、すべて話して下さり、私のこともよく知っているの、ちょっと恥ずかしくなり、穴があったら

入りたかった。でも内心はとても嬉しかったの。

なんだか、貴方にあって話しているような感じがして、変な気持。お父様と貴方は外見も似ているが、心の中まで通じているようで、びっくりしちゃった。

貴方はすべてお父様似なのですね。

お母様はとても美しいかたで、優しく理想的な女性、妻です。お二人を見ているととても若く、仲が良く、理想的な夫婦なのでうらやましい。そしてそのお二人に育てられた貴方は、もっともっとうらやましい。

私もお母様のように、旦那様に尽くすような妻になりたい。すぐにはできないだろうが、貴方の教えをいただき、努力したいと思います。

今日は私と貴方のご両親とのお見合い。

相手のいないお見合いなんて、どこを探してもないでしょうね。きっと後世に残るのでは？でも本人同士はもうすでに知っているのですから、こういうケースも、世の中にはあるのでしょうか。

「30歳までは結婚しない」といって出ていった廣行が「結婚したい人がいます」と手紙に書いてきたときは、びっくりしました。まさか青い目の女性では？…？と心配しましたが、日本女性ということで安心したのです。

「廣行はとても親思いで、外国へ行ってからも、1週間に一通の手紙は必ず届きます。親に心配かけないためでしょう。私はそれが立派だと思います」。とお父様が言っていました。お母様は怖い熱いアフリカなどには、長く滞在しないで、早く帰ってきて欲しいようです。

ご両親は今までの貴方の行動を見て、信頼しているようです。そして貴方もご両親を尊敬している。お互いに素晴らしいことですね。これは最近できたものではないのです。昔からのお互いの話し合いによって、理解できるものではないでしょうか。貴方のことを話す時のお父様は、とても嬉しそうでしたよ。

貴方からの一方通行のお手紙しか、受け取れないので寂しい。

早く良い嬉しい知らせを知って、喜びのお便りを欲しい。1日も早くお願いいたします。

お便りが受けてとれるのは来月の10日頃かな…？

ひろゆきさん、私を貴方のお嫁さんに選んでくれて、ありがとう。きっと貴方の期待に応えられるような妻になりますので、何もわからぬ私をよろしく願います。

私は本当に幸福もの。貴方にも貴方のご両親にも、感謝しております。そして外国へ行くこと、ひろゆきさんと結婚することを許してくれた、私の両親にも感謝しております。

この次の日曜日（30日）には鎌ヶ谷の自宅の方へ、お邪魔することになりました。

皆様にお会いするのを楽しみにしています。でも本当は胸がドキドキ、最近胸がドキドキすること多し、心臓の強い私も心臓の大きさを疑う。

今日一日無事終わりました。

毎日暑いでしょうが身体に気をつけて、早くエチオピアへ行ってください。

愛するひろゆきさん せつこ

7/25 貴方のいない日本では、今色々な事が次から次へと、短い間に進められています。私は自分のことなのに、人ごとのように感じられ、なんだか実感が湧かず、不思議に思えます。今まで結婚に対する悩みが多かったのに、今の私はなんだか、雲の上に乗っているような気分。

貴方もびっくりするでしょうが、28日（金曜日）結納に決まりました。

30日の日に貴方のご兄弟に私を婚約者として紹介するために、結納を早

くするようになったのです。今まで考えてもいなかった事、私はこんなに幸福で良いのだろうか。五年も前からの友達が夫婦になるなんて思ってもいなかった。

そして昨年(2010年)の10月の送別会、アイスホッケーの試合の応援の時も感じなかったのに。不思議ですね。

皆も(キーホップクラブの人たち)びっくりして信じてもらえないかもしれませんね。

日本はここ2、3日涼しい日が続き凌ぎやすいですが、アフリカは暑いでしょうね。五十度の暑さなんて想像できません。

またね

身体に気をつけて

せつこ

7/26 7/17付のお手紙を25日に受け取りました。湿気のない砂漠での生活は毎日暑いようですね。天火の中のごとき心地なんて、まるで鳥の丸焼きみたい。貴方の膚の色はこんがりきつね色で、ツヤがあり美味しそうですね。まず太ももからいただくかしら?そんなに暑いと体の水分は皆蒸発してしまって、骨と皮がレーズンのようにしなぶれてきちゃう。水分を多くとって身体に補給することが必要。暑いと食欲がなくなるもの無理ありませんが栄養を与えないと、ますます骨と皮のレーズンちゃんになってしまう。

毎日冷房の中で仕事をしている私には、考えられないことですね。一日中冷房した部屋にいと、外に出た時はなんとも言えぬ不快感を味わい、身体にはよくないですが、仕方がない。

最近は冷房している場所が多くなったので、汗をかくことも少なくなり、夏痩せなんて考えられない。学生の頃は1~2kgは痩せたのに、やはり暑

い中で運動したり、外にいる時間が多かったため、食欲もなくなったのでしょう。

私は自然の温度が好き。

しかし50°もあったら頭がボケっとしてしまうでしょう。アフリカは暑いし危険ですから気をつけて。

死ぬなんてことは嫌ですよ。考えるだけでもゾッとしてしまいます。早くアフリカを脱出してほしい。

船の切符を入手するのに一日がかりとのこと。とても羨ましい。今年になって感じるのは、時間に追われているようで、自分の行動がついていけない。

あれもやりたい、これもやりたい、やりたいことは多いのに、時だけが過ぎてしまう。今の私は早く時が経ってほしい。それは貴方からの便りが早くほしいから。それがなければ時間よ止まっておくれ。もし止まることができないなら、一日48時間与えてほしい。そうすれば、考えることも、行動することも、時に追われることはないだろう。

短い時間をいかに有意義に過ごすか、使うかはその人のやり方次第でどうにでもなる。

私は時間の使い方が下手なのである。一日を48時間にすることはできない話なのであるから、時間との戦いが必要である。

まだ結果を知らぬひろさん

せつこ

[第二十四信] 1972.7.28 封書 アディスアベバにて受取

結納儀式無事完了のおしらせと結納書き

7/28 無事終わりましたので、ご安心ください。お仲人さんは貴方の長兄さんです。筆は慣れないので下手なのですが、本人が希望するので書いてみました。

貴方も気分だけでも味わってみてね。

この封筒は中学の修学旅行の時京都で購入。

舞妓の絵姿封筒に毛筆和紙の結納書きを同封

結納

この度は両家のご婚約がめでたく整いまして、誠におめでとうございます。本日はお日柄もよろしゅうございますので、御結納品を持参いたしました。幾久しく御受納くださいませ。

本日は誠に結構な御結納の品々を下さしまして、幾久しく御受納いたします。何卒よろしくお伝えくださいませ。

昭和四十七年七月二十八日

早川廣行
矢口節子

【第二十五信】 1972.8.3 封書 アディスアベバにて受取

一度日本へ帰る決心をしてほしい

8/3

スーダン、カルツームからのお便り8月3日受け取りました。7月30日にエチオピア、アディスアベバに到着予定とのことで、安心しました。8月10日ごろになると思っていましたが、早くなったのですね。きっとたくさんのお手紙が貴方を待っていて、読むのに時間がかかり眠くなるのでは。今日は3日だからもうお手紙を読んで、喜んでいただいている頃でしょうね。それよりも結納まで済ませてしまったことでびっくりされ、ただ呆然としていらっしゃるのではないのでしょうか。日本にいる私でさえも、あっけにとられてしまっているのですもの。外地でひとり旅をしている貴方には信じがたいことでしょう。

でもお父様をよく理解なさっている貴方には、当然のこととっていらっしゃるかもしれませんね。

貴方のお父様、いやもう私にとってもお父様ですね。お父様はとても立派な方、信念があり、筋道が通ったお話は聞いていて気持ちが良い。それに若い人の気持ちもよく理解していらっしゃいますね。しかし曲がったこと、悪いことをすれば厳しい父になるでしょう。まだ3回しかお会いしていませんが、とても楽しい方で、一日中一緒にお話ししても飽きないでしょう。飽きないというのは失礼かもしれませんが、離れがたい方です。きっと遠く離れた貴方よりも近くのお父様の方がよくなってしまわないのでしょうか。私の方は楽しくても、お父様は私と話すのは飽きちゃうかな。今はまだお父様が私に気を使ってくれているのでしょう。これから何回か会ううちに、私の行動、仕草に物足りなさを感じられ、忠告を受けることがあると思いますが、私のためにと覚悟しております。早く忠告される仲になりたいと思っています。家では作法など、注意されず叱られる

ことの少なかつた私には。忠告してくれる人は必要なのです。

でも若いうちならまだ恥ずかしくないが、23歳にもなると笑われるのは嫌だなあ。

ひろゆきさん、お父様は貴方にどのようなお手紙を書きましたか。私のことを知りたくもあるし、知りたくもない。結納まで進めてくださったことですから、私のこと気にしてくれたのでしょうかけれども、息子が好きになった人なのだからしかたないと思っていらっしゃるのかな？

どちらにしても私はお父様が好き。でも貴方の方がもっともっと好き。愛してます。

せつこ

8/6 おはよう！

今日は朝から嬉しいの。

だって初めて貴方の夢を見たの……………

***青く澄んだ広い空に浮かぶ白い雲

そこはおとぎの国

私と貴方の小さなお城があるの

白い花が一面に広がる庭でダンスを
している二人。とつてもたのしそう

しあわせいっぱい***

……………こんな夢だったら最高ね。

でも今日の夢は全然違うの。

貴方のお母様から電話があり「廣行が9月始めに帰ってきます」という知らせ。私は一瞬びっくり、どうしよう、今は8月、あと一ヶ月たつとひろゆきさんが帰ってくる。準備することもあるし、会社も辞めなければ、私は

どうすればいいの。落ち着かずどうしよう、どうしようと言っている夢なのです。

初めて貴方に関する夢を見ることができたのに、本人が現れないのでつまらない。

私と貴方は夢の中でも一緒になれないのね。

1日も早く帰ってきてほしい。

でも貴方は一度日本に帰ったら、二度と外国へ行く気にならないかもしれない、と言っていたので、帰ろうかどうしようか迷っているのではないですか。

貴方のご両親、兄姉は絶対帰ってきて式をあげさせてから、また外国へ行くように貴方へお手紙を書いたと思います。

お父様は私に「節子さんは廣行に帰ってこなくてもいい、私がそちらに行きますと書いたのではないですか？」と聞かれました。なんだか見抜かれたようですね。

若い人同士はそれでも良いだろうが、世間がそれでは許ませぬよと言われました。

本当にそうですね。二人が幸福になれても、周りから祝福されない結婚なんて嫌ですものね。

貴方を見守っている人はたくさんいます。その人たちのためにも一度日本へ帰る決心をしてほしい。たとえ何年先になってもいい。私は待っています。でも1~2年なんて嫌ですよ。もし2年も先になるようだったら、私は会いに言ってしまうかもしれない。2年も待ってられない。1年だって半年だって、明日にでも会いたい気持ちです。

私のひろゆきさん

せつこ

【第二十六信】 1972.8.6 封書 アディスアベバにて受取

7/30 貴方の鎌ヶ谷の自宅を母と訪問しました

私の」旅人さん。お元気ですか

旅人さんは今どこを歩いているの？

広大に続く砂漠の中かな。それとも木陰で昼寝？のどが乾いて旅人さんは少し疲れ気味ではないですか。おいしい水をいっぱいあげましょう。あれ飲むのが早いね。毎日旅人さんのことばかり考えている私は、少し寝不足。だって寝てしまうとすぐ翌朝になってしまって、旅人さんのことを考えたり、想ったりすることができないんですもの。身体の方は丈夫ですから心配しないでね。

今の私達は、誰にも遠慮せず、肩を並べて歩くことができるのに、これからの人生の計画を立てる喜びがいっぱいあるのに、それができないのが淋しい。

それでも近い将来には会うことができるのですもの我儘は言えないのね。旅人さんと私は離れていても心はひとつ。永遠に離れることができぬ固い絆で結ばれているのですもの幸福です。

最近旅人さんによく似ている人を見ると、ハッとすることが多いのよ。そしてその人をジロジロ見ちゃうの。するとその人は不思議そうに私の顔を見ているわ。道の真ん中では危ないので気をつけなくちゃ。

7/30 月の最終日曜日

鎌ヶ谷の自宅を母と訪れました。お庭にはたくさんの木が植えられ、バラの花がとても綺麗。私の家の方では聞くことのできない、蝉の声や、鳥たちがさえずる声がお庭に響き渡り、どこか地方の旅館に静養にきたような感じがして、心が休まりました。

夢の中に出てくるお城みたいで、とても良いお家ですね。この家で貴方が生まれ育ったということで、なんだか貴方の一部に触れたような気持ちで嬉しく、心が胸が締め付けられるような気がしました。

貴方がいないのに失礼かとは思いましたが、お部屋を見させていただきました。

たくさんのお本をお読みになったのですね。棚に並べられたたくさんのお本、貴方の命の次に大切なものが入っている部屋は宝の部屋。

いつか貴方のお手紙を読んでいると、小説でも読んでいるような気がするなんて書いたことがありましたね。本当にそうなのです。

本を読んでいる人でなければ、貴方のようなお手紙（文章）は書けないでしょう。

私がいつも表現をつけて、楽しいお手紙を書こうとしても、文章がとぎれとぎれで続かず自分でも嫌になることがあるのです。それは今まで本を読まなかった証拠なのです。

人間はいくら表面的には努力していても、内面的に強みのある人には勝てないですね。

貴方は私の尊敬する人です。

私がいただいた写真と同じものがあり、嬉しくなりました。私の部屋にある写真はいつも見て貴方のことを想っているのよ。

夕方お寺さんがいらっしゃり、皆でお経をあげられ、その後で1時間位お説法を聞きました。“人間は迷信や、占いに頼るのではなく自分の力で歩むことによって道が開る”というお話でした。

長い間座りなれない私は、足がしびれちゃった。でも一ヶ月に一度このような集まりがあって、お説法を聞くのは良いことですね。

心が休まる気持ちでした。

貴方のご兄弟・ご兄弟夫婦、皆良い方ですね おなたのお手紙にも書いてありましたが、本当に皆、気持ちの良い方々で、私は嬉しくなりました。私に貴方の良き妻として勤める事が、できるのだろうかという不安ができてしまいました。

お兄さんたちのお嫁さんのように、立派にできるだろうか、皆に見られている私はとても緊張してしまい、話すこともできなかった。

貴方がいればもう少し緊張度がすくなかったでしょうが。

皆気軽に話してくださったので、緊張することはないのですが、やはり初対面ではドキドキします。

俊とお兄さんが「廣行は理想が高いですからその理想にあった女性ですから、貴方は最高の人なのでしょう」と言っておりました。困ります。お手紙で書いてください。理想の女性としては程遠い、これから教育して理想の女性にするのだと。お願いします。

兄弟が多いということはいいいですね。いざという時はお互いに助け合い、励ましあうことができる。私は三人兄妹ですが、あと三人いたら楽しいだろうと思う。

8/1

貴方が無事に旅行できるよう祈っている

せつこ

[第二十七信] 1972.8.11 封書 アディスアベバにて受取

いつまでも待っていますので安心して旅行を続けてね

8/7 無事エチオピアに到着との便り受け取りました。平原越え、丘陵越え、船に乗りはるばるたどり着いたご感想は？

マラソンでゴールのテープを切った心境で、足が棒のようになりがっくりきたのではないのでしょうか。まだ途中だけれどもアフリカの旅は二度とできぬ経験をすることができたしお手紙は待っているしで感無量というところかな……………

小学校の頃、校庭を10周して（狭い庭なので距離はないが、その頃は地球の周りを回ったような気分）最終ゴールに到着した時、足が棒のようになり止まろうとしても止まらず、曲げようとしても曲がらず、顔は汗でぐっしょり、大きなブルマースのポッケからハンカチを出し拭う手までが、他人の手を借りているようで、生きた心地がしなかった。でも時間が経つにつれ、走ったのだという実感が湧いてきて、涙が出るほど嬉しかった。（小学校の頃は体が軽かったのかなあ。走るのが好きで速かった。でも足の長さには勝てず、背の高い人には負けて悔しかった）。

……………そんな感じと違うかな。

今までと違って、エチオピアに到着するまでが一番永く感じられたのではないですか。

私だって以前に比べ、決まってからなので気分はスッキリしていましたが、貴方からの喜んだお便りが待ち遠しかったのです。一日一日近づくにつれて手に汗を握るような思いで永く感じました。

喜んでくれて嬉しい。いくらこちらで話が進められても一方的。貴方との意思の疎通ができて実感が湧いてきた感じで、本当に嬉しく幸福です。でもこの喜びを誰にどこにぶつけて良いものやら、一人でニヤニヤする

わけにもいかないし。

私が悩んだような意味では悩まなかった貴方、私の悩みは女性の悩み、貴方の悩んだことは？言わなくてもわかるような気がする。男性の貴方の悩みは、私流にわかっているみたい。お互いの悩みはこれからのお互いの努力によって、きっと良い方面に進むと思う。

そして二人で築き上げた何かを、他人に認めてもらうことによって、悩みは解消されるよな気がする。

今まで悩ませちゃってごめんね。

私のはっきりしない手紙も貴方をイライラさせたみたい。

“アフリカ旅行だけは乗り掛かった船。最後までやり通すつもり”とのこと。嬉しいやら悲しいやら。

ご両親から早く帰るようにとお手紙が行っていることでしょうか。私たちのことを思ってそのように書いたのだと思いますが、とても感謝しております。しかし私は心配なのです。アフリカ旅行の途中で帰ってしまったら、必ず後悔するだろうから。そしたら私の責任になってしまうもの。どんなに先になっても今やりかけたことは済ませて、心残りのないように帰ってきてほしい。お互いのために。

来年春には帰れるとのこと。まだ先のことだけれども、待っていますので安心して旅行を続けてね。その間勉強をして、有意義に過ごそうと思っています。遊びも勉強の中に入りますよね。

すぐに帰ってこないでもいいなんて、私って冷たい人間なのかしら。時々自分の気持ちがあまりにも冷静なので、不思議になることがあります。それはお手紙に書いているからでしょうか。

眠くなりましたのでこの辺で おやすみなさい。 またね

誰よりも貴方を愛す 節子より

1:00AM

【第二十八信】 1972.8.14 封書 アディスアベバにて受取

貴方の写真を送ってくれてありがとう

7/31、8/3、8/4のお便り8/11に受取りました。同封の写真ありがとう。珍しいものでも見るような目で鑑賞させていただき、家族にも現在の貴方の姿を見てもらうことができ喜んでおります。

父はアラブ風の頭巾、ヒゲのハエ具合からして、現地人のようで日本人には見えない、もしかしたら日本人ではないのでは、なんて冗談を言っておりました。

母は私がさかんにお父様にそっくりであると言っていたので、大体想像していた貴方の姿と変わらなかったようで、良い感じじゃないのですって。兄は変わった人だね。写真では心が伝わらないからよくわからないが、芸術家らしいね。兄は髭を生やしたくてもできないので、さかんにヒゲのことを言っていた。

妹は、早川さんはもっと優しくそうな顔だったよね。髭を生やしているせいか老けて見える。前よりも男らしくなったみたい。老けて見えるということは、大人になったということであろう。と、皆それぞれ言いたいことを話したが、一致した意見は“節子を選んだ人だから立派な人だろうし、男らしい、優しい人に違いない。外見ではよくわからないけど、人間は心が一番大切。節子を大切にしてくれる男性であれば文句なし。節子おめでとう”家族にも喜んでもらえて私は幸福。兄嫁（私よりも年は下だがお姉さん）は九月出産のため実家（浜松）に帰っているので、今日の会議には欠席。私の感想は、修代が言うように、前よりも男らしくひとまわり大きくなったような感じがした。それに頭の上から足の先まで活力に溢れ、今までの旅行の経験がぎっしり詰め込まれていて、たくましく感じられちょっと堅物的、でもメガネの奥の貴方の目は“節子よ、俺は君を愛しているよ。来

年の春になったら帰るから待っていておくれ。そして私が無事旅行ができるよう、見守っていてほしい”と言っているようで嬉しい。今までのお便りはただ目で見て貴方の書いてきたことを、私なりに考え想像してきたが、これからは写真とお話ししながら、読んだり書いたりすることができるのですもの。

実際にあっているのとは違うが嬉しい。

貴方の目、手、指、足は私の宝。だって私と貴方を結ぶ大切な糸、一つでもなくなったら糸は切れてしまう。今では糸の太さはとてつもなく太くなって、ハサミで切っても離れることはないが、宝は宝。大切にしようね。写真、とてもよく撮れていますよ。今までちょっと変なこと書いたかな。日差しがとても強そうで、50℃の暑さが想像できます。

また腰に下げた貴重品は愉快ですね。貴方が縫った水筒のカバーよくできていますよ。日本を出る前に撮ってもらった写真は、真剣な顔で旅行の写真とは違った感じで面白い。面白いとは失礼だが別人のようである。貴方のお手紙にも書いてありましたが、この写真が私の記憶に残っている貴方に、一番近いでしょう。

写真の感想についてはこの辺にして次に進みます。

私をいかにして愛するようになったか、妻に娶る決心をしたかについての長いお便り、嬉しくまた楽しく拝読させていただきました。その感想と私が貴方を愛するようになったかについては、別便で送りますのでよろしく。

貴方の計画では二月いっぱいかかるとのことですが、心配しないで計画通り旅行してください。お父様のこと気にしているようですが、貴方を理解しているお父様ですもの、貴方の決心をやめさせて、帰って来いなんて言わないと思います。

またね

8/14

せつこ

[第二十九信] 1972.8.14 封書 アディスアベバにて受取

貴方と初めて会った頃の思い出

8/14 私をいかにして愛するようになったか、妻に娶る決心をしたかについてのお手紙を読んでいると、貴方がとても悩み、悩んだあげく決心したと思われます。

30歳まで結婚しない前提条件で飛び出しきた貴方に、結婚について悩ましてしまった私は罪な女。

早く私が結婚すれば考えることも、悩むこともなくなると思った貴方の気持ちは、痛いほど私にはよくわかっていました。でも好きになってしまった私には、貴方のことを忘れようと思っても、忘れることができなかつたのです。ある時は兄のように、ある時は父のように、先生のように私に忠告してくれた貴方。続けてくるお便りは私にとってなくてはならぬ、大切なものになっていったのです。

もし私の年が三つ若かったなら、貴方の考えも変わっていたでしょう。悩むこともなかったかもしれない。そして目標に向かって常に前進することができたのではないのでしょうか。

でもこのような結果になった今は心の底から喜び、二人は結ばれるべくして生まれてきたのであると思いたい。

昔から私のことが好きで、気になる人であったが、自分ではそんなふりをしなかったと書いてありましたが、本当に貴方の態度からは全然感じられませんでした。きっと高校生だった私を女性ではなく、女の子として感じ接していたのでしょね。

そして私が貴方を面白いものでも見るような目付きでしか、見ていなかったというのは、事実かもしれない。外見から受ける貴方は、職業のせいか変わっていた。それは住む世界が違う人と思っていたことにつながり、敬

遠してしまっていたのかもしれない。貴方は君と僕は住む世界は同じだよ、と書いてきたとき半分は喜び、半分は素直にそうおもわず、やはり違うのだと思ったものです。

それは外見から感じるものですけど。

初めて二人が会ったのは、昭和41年12月か42年1月高校三年の冬、白馬の重右衛門さんの家、雪ではなく雨が降る中をびっしょりにぬれ帰ってきた貴方。ピンクの帽子、セーター、スラックス、すべてピンクで統一されたスタイルは、どう見ても女性的で普通の人には見えず、変わった人だなあと思ったのですが、話を聞いていると、変わっているのは服装だけで、心の中は普通の人と変わらぬ男性だったので、安心したものです。

グループの旅行は楽しい。男性同士の会話を聞いているのも面白く、時には高度な難しい言葉に首を傾げ、私達が口を挟む余裕すらなく、私達って何も知らぬ駄目な女ねと話したこともあった。男性と同じ部屋で寝ることも話すことも初めてだった私達は恥ずかしく、着替えるときは廊下に出て着替えたのを覚えています。今だったら図々しく着替えますので外に出てくださいなんて言うでしょうね。昔のようなはじらい、可愛らしさは失いたくないものですね。

毎年スキーに行きましたが、一番楽しく思い出に残っているのはやはり一回目のスキーでしょうね。それは他の女性に貴方達を取られることがなく、私達だけのものだったから。焼き餅焼きだったのかな。貴方が他の女性と肩を組んでいる姿を見ると、とても嫌な気分になりつまらなかったの。何も感じていない人だったら、そんなやきもち妬かないでしょうが、貴方がわざと肩を組んで見せつけられているような気がしたのよ。そんな時貴方はどんな気分だったのかな。何も感じないでしていたのでしょうか。きっと。

いつだったかな……………？大広間に私たちが泊まり、その隣の部屋に貴方の友達グループが泊まった時、貴方は一度も私達の方へは来なかったの。それで私が”早川さん、どうして私達の方へ来ないの？”“早川さん久しぶりね。いらっしやってたのですか？” どう言ったのかよく覚えていないが、このようなことを言った気がする。

すると貴方は皮肉に聞こえたのか、変な顔ををしましたね。

私は知っていたのです。貴方が向こうのグループの人たちに気を使っていることを。でもいつも一緒にいる貴方が、他の人にとられたようで寂しく、皮肉っぽいことを言ってしまったのです。

貴方は覚えていないだろうが、私はあの時の貴方の顔を覚えています。あのときはごめんね。

ミッチャンや佐藤さんが集まると、貴方の噂をよくしたものです。“早川さんはグループの男性の中で一番良い人で頼れる人、奥さんになる人は、きっと可愛らしいモデルさんか、芸術家。おなじ職業の女性でしょうね。どんな人か見たいわね”と言うと、ミッチャンが“早川さんは逆に平凡な女性を選ぶのではないかな”と言ったとき、とても嬉しく、平凡な女性と結婚して幸福になってほしいと思ったものです。

ミッチャンの情報は私にとって楽しみのひとつ “今、ハワイへ行ってるのよ。髪の毛切って丸坊主になっちゃった。両親が結婚しろと言うのでお見合いするかもしれないわよ”。等々。気にしていたのは貴方だけではなく、私も以前から貴方のことを気にかけていたようですね。でもいつも面白いものでも見るような目付きしていたのかな。

車に乗った時（八方からの帰り）貴方の膝に私の大きなお尻が座ったのを覚えていますか。

ヘルシンキからの便りを初めて受け取ったときは嬉しかった。“昔からの私の癖で、さびしくならないと手紙を書く気にならないのでまだ他の連中に

は出していませんのでよろしくお伝えください”といことで、すぐにでも皆に知らせようと思ったのですが、なんだか大切なことを皆に知らせてしまうと、なくなってしまうような気がして、言えなかった。意地悪なのかな私は。このころはまさか二人が結婚するようになるとは夢にも思っていなかったし、貴方から続けて便りが来るとも思わなかった。人間の結びつきって不思議ね。

ある時 “素直になりなさい。素直になることが幸福になる第一歩”と言った貴方。”相性など関係ない。二人が一緒にいて、楽しければそれでいい。お互いに惹かれるなにかがあれば” “もし好きな人がいるなら具体的に書きなさい。どこで何をしている人が、それでなければ相談に乗ってあげたくてもわからない”と言った時もあった。そんな忠告、言葉から私は察していたのです。それなのに遠回しに書く私の手紙。

貴方だけでなく、自分でさえも己の手紙がじれったくなり書くのをやめようとなんども思ったのです。

そんな私の手紙の中から、私の気持ち、心の中まで読み取ってくれて嬉しい。別に試したわけではありません。私の方から好きですと言えなかったのです。

でも今はとっても幸福。貴方のお手紙にも書いてありましたね。ここまで来るのに長かったけど、今になってみれば全て楽しい良い“おもいで”としてのみに残っていると。私も同感です。これからもおもいでをたくさん作っていきましょうね。

天秤に座っている二人の絵、楽しくて可愛いですね。私の方が重いのはおかしい。貴方の方も私の愛情がかかっているので私以上に重いはずです。

身体に気をつけてね せつこ

[第三十信] 1972.8.15 封書 アディスアベバにて受取

早川ファミリーズの感想

<早川ファミリーズの感想>

両親の感想はすでに書いてあるので省きます

俊一兄さん＝人間的に豊かな心の持ち主で優しい夫であり父である。お兄さんに愛されている浩子姉さんは最高に幸福な人。私の母の兄（今は亡くならない）にととても似ているそうである。

浩子姉さん＝長兄のお嫁さんらしく、しっかりとして、何事もテキパキと判断し、行動し、子供のしつけも厳しいのでは？それでなければ6人もの子供の教育はできないと思う。目と耳でしか挨拶していないのでわからないが、良い人と感じた。

和好兄さん＝あまり話さなかったのでよくわからないが、目と目の挨拶で良い人と思った。次回会った時に感想を書きます。

洋子姉さん＝あまり話さなかったのでよくわからないが、目と目の挨拶で良い人と思った。次回会った時に感想を書きます。

武田家は欠席のため次回までお待ちください

秀雄兄さん＝中学校の体育の先生みたい。色も黒いし誰とでもすぐ仲良く、親しくなれる人であるような気がする。

英子姉さん＝とてもはっきりしているお姉さんで、貴方にとっては良き相談相手だったのかな。お寺さんが私となんとなく似ているなんて言っていました。ある時には優しく、時には厳しいお姉さんだったのではないですか。

俊和兄さん＝貴方と声が似ていたのでびっくり。顔は似ていないが、なんとなく目付きが似ているみたい。“廣行とは一番気が合いまして私のただ一人の弟ですから、彼がいなくなってからは寂しかった”と言っていました。“彼のことは僕が一番知っているでしょう”

寛子姉さん＝洋子姉さんと同じなので次回書きます。

★兄姉が多いというのはいいですね。いざという時は頼もしい。また一ヶ月に一度集合するというのも、世間では少ないでしょうね。一回の対面で感じたことなので詳しく書けません。徐々に感想書きます。

せつこ

[第三十一信] 1972.8.17 封書 ケニア ナイロビにて受取

週末、鎌ヶ谷のご自宅に一人で訪問2泊しました

俊一兄さん家族が8/10～8/18まで伊奈の方へ旅行のため、ご両親と末娘のめぐみちゃんがお留守番。

ご両親のご好意により、私も一緒に留守番をさせていただくことになり、8/12～8/14お邪魔しました。

留守の間中休暇を取り泊りにいらっしゃいということでしたが、ちょうどお盆のため帰省する人が多く、休暇が取れないため、土、日曜日の二日間だけになってしまったのです。

ひとりで鎌ヶ谷へ行くのは、心細かったのですが、貴方をよりいっそう理解し、幼い頃の思い出がぎっしり詰まっている部屋に触れるため、またご両親に慣れるためにも、勇気を出して訪問することにしました。

その甲斐があり、とても親しくなり、良い経験をすることができ喜んでおります。

お見合いをした時の感想にも書きましたが、ご両親と話していると、昔からの知り合いのような気がするのです。それは貴方と私の心が繋がっているように、お父様とお母様にも繋がっているからでしょうね。

ご両親も私と接していると五年も前からの友達のような気がするとおっしゃっていただき私も嬉しいです。これで貴方がそばにいたら、もっともっと幸福でしょうけどね。

でも貴方の分まで可愛がっていただけるので嬉しい。貴方がいたら半分になってしまいますものね。

貴方からのお便りで、旅行の予定は二月いっぱいかかるので、三月の挙式が望ましいがいかがでしょうかという希望は、あんのじょう理解された

お父様。節子はそれでも良いかと聞かれましたので、“わたしはひろゆきさんの希望通り、三月まで待っております”と答えましたので、ご安心を。

早速、お母様にお料理を教えていただき、勉強になりました。塩加減が一番難しいようですね。

8/12 夕飯の献立は、天ぷら（エビ、イカ、ピーマン、ナス）。アジを酢につけておいたお刺身、インゲンの和え物と野菜。とても賑やかで美味しいご馳走になりました。

お庭（池の前）に設けられた縁台で、星を眺めながらの夕食は、なんとも言えぬ風情があり、どこからか聞こえてくる盆踊りのお囃子も、一層心を和やかにしてくれ、私にとっては初めての経験でとても感激しました。

ビールの美味しかったこと。食事はやはり雰囲気でしょうね。あと場所。いくら美味しいご馳走であっても、薄暗い場所でひとりで食べるなんて味が半減してしまいますものね。

今日の食事は、雰囲気、場所、お料理の味全てが最高で、貴方にも味あわせてあげたいわ。お父様は、お酒が好きで強いようですね。美味しそうに飲まれるので、お酌しても気持ちがいい。

今日は、貴方のことを思いながら、貴方が愛用していたベッドで眠ることにします。

どこでも寝付きのいい私なのに、今日はちょっと興奮気味でなかなか眠れない。だって貴方の匂いが染み付いた、たくさんの本が興味深そうに私を見ているようで、私の小さな身体では支えきれず、呼吸が荒くなってしまっているの。貴方がそばで子守唄でも歌ってくれたら、きっとスヤスヤと安心して眠ることができるでしょうに。眠れないのでこんなことを思いました。

私は早川廣行さんと結婚するんだ。そしてこれからの人生、どんなに苦しいことがあっても、廣行さんに頼り、どこまでもついていくのだ。もし

二人の心が離れることがあったら、お互いの努力で築き上げた、素晴らしい愛することの、人を信じることの、素晴らしさを思い出し、努力すればどんなに、辛くても乗り越えることができると確信しました。廣行さん、私の行動、仕草が気に入らなかったり、悪いことであつたら、忠告してくださいね。自分では良いとってしていることが、本当はいけないことだったなんていう事がきっとあるでしょうから。

貴方のことだから、きっと適切な判断を下し、私のために忠告をしてくれると思っております。そして私も貴方のために常に愛を注ぐでしょう。心の底から。決して忘れません。時にはそれが負担になることもあるでしょうねそんな時、貴方はどうするのか？（負担になるのは私が愛しすぎで）。

もしお互いに愛することに、疲れたら、二人仲良く休憩、昼寝することも必要。さあ明日から又愛しましょう。

8/13

朝五時三十分起床。とてもよく眠れたので気分は爽快。窓を開くと朝の空気がお部屋いっぱいになり、風がとても気持ちいい。今日も真夏の太陽がジリジリと照りつけ暑くなりそうだ。両親ともめぐみちゃんも起きていて、私が一番遅いようである。おはようございます。朝一番のトマトレモンジュースはとても美味しかった。薪でご飯を炊くことを知りびっくり。ご飯が美味しいわけである。私は空気が良いからきっと食欲があり、ご飯が美味しいのだと思っていたのです。お母様は焦がさずとても上手に炊いていた。私の家でも電気釜は使わず、ガスでご飯を炊いているが、それとは違って一段と美味しい。

広い家なのでお掃除のし甲斐がありますね。まだ涼しいうちに終えたので、済ました後はなんとも言えぬ気持ちで、汗がスーッとひき爽快。でも

今日は風が強いので、三十分もすると廊下は埃っぽくなってしまっがっかり。私の家は狭いので、二度してもそう時間はかかりませんが、こんなに広がったら、二度したらとても時間がかかってしまって大変ですね。

午後からは、部屋でひとり本に親しみました。写真、医学、、合気道、スキー、外国旅行に関する本が多く、まだ他にも種類はありますが、あなたはどのようなものに興味を持ちまた好きであるかが、本を見ただけでもわかるような気がします。

外国旅行に関する本だけでもたくさんあり、外国へ行く前に経験した人のことを読み、参考にしている貴方。昔から外国旅行へいく決心をし計画を立てていたということが、よくわかります。そして幼い頃からの夢だったのでしょね。

皆、誰でも夢を持っています。私も幼い頃は、看護婦さん、スチュワーデス、幼稚園の先生、努力すれば夢はかなえられると思います。私の夢は夢ではないかもしれない。自分がやる気になれば、きつとなれたものでしょうが、意志が弱く、積極的に勉強もしなかったのでしょうか。看護婦さん、幼稚園の先生にはなれるかもしれないけど、スチュワーデスには、背丈、スタイル、顔、容姿の点から無理ですね。

貴方は夢をかなえられたのですもの立派ですね。貴方にとっては、外国旅行は夢ではなく偉大な写真家になることが夢かもしれませんね。

今日の夕食はエビフライ、ナスの生姜和え、キュウリとミョウガの酢の物、カニのマヨネーズ和え、貴方にも食べさせてあげたいけど無理ですね。気分だけでも味わっていただきましょう。前文でも同じことを書いたようですね。それだけ貴方のこと思っているのですよ。話しながらの食事は楽しく三時間はあっという間に過ぎ、もう九時、なんだか帰りたくなくなってしまったので、お父様、お母様にお願いして今晚も泊めていただくことにしました。

そして翌朝、神田の銀行へ出勤しました。

二日間は私にとって、とても良い勉強になり両親に感謝しております。話は全て貴方の話ばかり。

日本より愛を込めて　せつこ

[第三十二信] 1972.8.20 封書 ナイロビにて受取

尊敬する貴方の呼び名はひろゆきさんが一番

8/20

こんにちわ、せつこです。通称せっちゃん、おせつさんですよ。

私はいつも貴方のことを、ひろゆきさんと呼んでいますが、貴方は不満のようですね。私もなんて呼ぼうかと考えたことがあるのです

ひろ、ひろちゃん、ひろ坊、ひろさん、ひろゆきさん、どの名前が一番呼びやすいかという、尊敬する貴方には、ひろゆきさんが一番いい感じなのです。でも親しみやすさから行くとひろ、ひろちゃんが良いのですが、ひろゆきちゃん、ひろ坊と言うのは、坊やでも呼ぶような感じで呼べないし、ひろさんというのは別の人を呼ぶような気がして、ピンとこないのです。今までひろゆきさんと、呼んでいるせいもあるのかもしれませんがね。結婚したらひろゆきさんとか、あなたになるのではないのでしょうか。貴方はなんて呼んで欲しいのですか。今なら別の呼び名に変えられると思うのです。年を取ってからひろゆきちゃんと、呼んでくれと言われても、無理な話ですからね。

俊一兄さんはひろって呼んでいるようですね。他の兄姉さんはなんて呼んでいるのかな。

今度鎌ヶ谷に行った時、聞いてみましょう。私の父は母のことを、名前でも呼んだことがないのです。新婚時代から恥ずかしくて呼べないまま、今日に至ってしまったようですが、母は呼んで欲しかったらしく、何度も父に行ったそうです。しかし最初が肝心で、途中から名前を読んでくださいと言っても無理、恥ずかしいでしょうから。

私はせつこかせつと呼んで欲しい。お前とか、おいなんて嫌ですよ。年を取ってからも、せつこ、せつならおかしくないですね。年をとることなんて考えないで、お互いにいつまでも若くありたいですね。

この間のお手紙によると、節子の節は色々な解釈があるのですね。昔から自分の名前が好きでなく、もっと変わった可愛い名前をつけて欲しかったので、名前についてはあまり考えてことがなかったのです。

節子というのは平凡な名で、よくメロドラマの娘の名に使われたり、水商売の女性の名に多いと聞きますが、嫌ですね。

でも平凡ではありますが、23年間も親しんできますと、離れがたい名前
で、節ちゃんなんて呼ばれると嬉しくニコッと微笑んでしまいます。

節は区切りの節、竹の一節に例えると、私は今、一番大切な節に来ている
のですね。第二の人生が始まろうとしている。そして子供だった私も、
やっと竹の一節を越えることができるのです。

子供の名前、おかしく、楽しく読ませていただきました。

貴方はアイディマンですね。だって、長男に長女なんて普通の人では考え
ないような名前ではないでしょうか。貴方はおかしいかな？と言いました
が、ながおちゃんにおさめちゃんなんて、ありふれた名前ではなく可愛
いのではないのでしょうか。でももう少し考えた名前をつけてあげたほう
が、大きくなってから喜ぶかもしれませんね。

スワヒリ語やアラビア語も、訳を聞かなければ楽しい名前ですけど、訳を
聞いてしまうと、吹き出してしまいますね。キボコちゃんも夢があってい
いのですが、カバじゃ可哀想。

名前をつけるのは簡単なようで、いざ自分の子供が生まれて、つける時に
は迷うものでしょうね。これだけ名前が用意されていると、いざという時
は安心ですね。今から子供の名前を考えているひろゆきさんは、子煩悩な
父親になるのではないのでしょうか。考えている顔を想像するとおかしい。

ひろゆきさんは子供の頃は、厳しく躱けられたそうですが、覚えていますか。先日ご両親が言ってましたよ。甘やかされて育てられるよりも、厳しく育てられたほうが、心にな残っているかもしれませんね。

私の身近には子供がいないので、あやし方もあまり上手ではないし、一緒に遊んであげることも下手のようです。でも子供が嫌いだからではありません。むしろ好きな方ではないでしょうか。最近は赤ちゃんを見ると、自分の子が欲しいと思うようになりました。多ければ多いほうが賑やかで楽しいし、大人になってからは頼もしく、育てた甲斐があったなんて、満足するのもいいものですね。あなたの両親のように。でも浩子姉さんのように（6人の子持ち）になったら、私にできるかどうか自信がない。でも昔から4人は欲しいと思っているので頑張らなくっちゃ（女2、男2）。あなたは優しい父親で、私は厳しい母親になるのではないかな。二人とも面白いですね。まだ先のことなのに子供の話なんかして。お手紙ではこんなこと書いても、会ったら恥ずかしくて子供の話なんてできないで、モジモジしているのではないのでしょうか。

寝相のよいひろゆきさん、今日のお目覚めはいかがでしたか。ベッドの中での美味しいティは格別そうですね。パッチリ目が開き、気分も爽快といったとこですね。

寝言も言わないし、寝相も良いあなたに比べたら、私は正反対。

自分では分からないの。寝るときはちゃんと掛けておいた布団が、朝になるとどこかにいってしまうの。まっすぐに寝たはずなのに逆になったり、斜めになったり、私の隣に寝る時は、1m位離れないと危ないのでは。あなたのお腹の上に私の足が乗ることがあるかもしれない。時には“ひろゆきさん愛しています”なんて寝言を言うかもしれませんよ。もし変なことを言ったらどうしよう。夫婦喧嘩の原因になることも、世にはあるそうですからね。毎晩愛しています。愛していますと言うのも変ですね。時には

歯ぎしりすることもあるようです。寝ているのオナラはしないのではないかと思う。でも自分では分からない。普段はしたことがある。特に緊張しているときにしそうになり困る時がある。人前では恥ずかしいし、失礼になるので我慢するよう努力しますが、その時の気持ちはなんとも言えませんね。我慢する事は身体には良くないですが、これだけは、我慢我慢。オネショも幼い頃にはした覚えがありますが、最近はしませんよ。

※寝相のイラスト3点

こんな姿、誰にも見せられません。でも貴方は知ってしまうのね。もし貴方が夜中に目が覚めれば、また私より遅く起きてくれれば、見られないで済むのだけれど、でもねぼすけの私のこと無理でしょうね。昔の人は夫に寝顔を見せてはいけなかつたようですね。私も貴方に寝顔を見せないようにします。……………??

次はおへそ話に変わります。これもじっくり見たことないので分からなかったけど、初めて鏡を使って調べた結果、私のおへそは貴方と同じようです。大きさも変わらないみたい。おへそにも色々な形があって、面白いですね。水着姿のモデルさんのおへそは、縦長の人が多いように思えますが、縦長の方はラッキーだそうでいいですね。

おへそのゴマはとってはいけないと、よく言われますが、どうして？私のおへそにもゴマがありますが、先日テレビに山本リンダがおへその出た洋服を着ていて、司会者がリンダちゃんのおへそはとても綺麗で、ゴマが全然ないねなんて、冗談を言ってましたけど、綺麗にお掃除したのかな？ 今日のお手紙は変な話になりました。貴方のお手紙の返事を書いたつもりがこんな話。今日はお互いにおへその夢を見ましょう。

おやすみ

愛する人はただひとり あなただけ せつこ

[第三十三信] 1972.8.29 封書 ナイロビにて受取

小学生の頃女子相撲大会で優勝

早川廣行の½生（現実の歴史）と矢口節子の½生（想像図）はとても楽しく、面白く拝見させていただきました。“私はひろゆきさんと結ばれるべくしてこの世に生まれてきたの。そしてひろゆきさんは、私よりも3年10日早くこの世に生まれ、二人の住む世界が、二人の生きる世界がどんなところなのか観測してしてくれたのです。そして二人は結ばれる日に向かって、それぞれの人生を歩み、色々な経験をし、悩み、やっと二人でつくった世界が、とても素晴らしい世界であることを知り、長い間求め続けてきた幸福を、つかむことができたのです。

私の生まれた時から学生に至るまでを、知っているひろゆきさんだから、そのように思えるのです。

節子の昔の想像図とありましたが、これは現実の私の歴史ということができます。

だって全て似ているのですもの。母に言わせると、生まれた時の私の姿にそっくりということで、母は楽しそうに、私の絵とひろゆきさんの歴史を見て笑っていました。

体操着姿の私は、はち巻の結び方といい、ブルマースの穿き方といい、とてもよく特徴を捉えていて、私にそっくり、小学校の1、2年の時に写した写真がありますが、それを見るとひろゆきさんもびっくりするでしょう。プリーツスカートの寝押しなんてよく知っていますね。毎晩するので折れているところだけ薄くなり、明るいところで広げると、透き通って見えてしまうのです。その位熱心に寝押ししたものでした。

私は幼い頃から背が低く太っていたようで、どの写真を見ても丸々とした顔と体で、スマートに写っているのがありません。太っていると言っても、骨太のようで、お肉がブヨブヨしているのではありませんからね。顔が丸いせいもあるかもしれませんが、卵型の人が羨ましい。

肩と腰の骨が発達しているせいか、小学校の頃、体育の時間に女子だけで相撲大会をした時、私は恥ずかしくも、次々と皆を倒し横綱になったのです。男子だったら自慢できますが、女性の私には自慢できることはありませんね。

私が強いのではなく、きっと皆が弱かったのでしょう。ひろゆきさん心配しないでね。

小学生の頃はおてんば娘でしたが、今は愛らしい女性ですからね。でもこの間のお手紙にもちょっと、お転婆娘らしいことを書いてしまいましたね（木に登ってすももをとったこと）。

相撲に勝ったのは、肩と腰の骨には関係ないかな？肩といえば、なで肩の女性は着物が似合いますね。私はいかり肩となで方の間で、ちょっと幅が広いので、着物が似合わないのです。でも着物を着ることが好きなので、肩幅は気にせず着てしまいます。

着物を着ると気分がとても落ちつき、歩き方も自然に内股に歩くようになるのですもの不思議ですね。ひろゆきさんは着物は好きですか。男性の場合は着る機会があまりないようですから、どうかな。

今、今年のお正月に写した着物姿の写真を探したのですが、見当たりません。もしあったら送ろうかなと思ったのですが残念！友達が写してくれたのですが “馬子にも衣装”とはよく言ったもので、その通りの私の姿です。

生まれた時毛1本だったヒロちゃん。

虚弱気味で坊ちゃん刈りだったヒロちゃん。

浮き袋にしがみついているヒロちゃん。

とても可愛かったのですね。棒を持ったヒロちゃん。通せんぼのヒロちゃんは人見知り屋さんだったのかな。初めて着た柔道着も、とてもお似合いだけど震えているのかな。小学生の頃は物知り博士、ラジオを組み立てているヒロちゃんの顔はとても楽しそう。

中学時代は真面目な優等生だったようですね。そして高校時代は九段の靖国神社の桜の散る下を、裸足で練習に励んだヒロさん。きっと足の裏の皮は、人一倍厚くてコチコチでしょうね。

この絵は、私の知らないひろゆきさんを知るととても良い資料です。そして今まで以上にひろゆきさんを理解できたような気がして嬉しい。たとえ会えなくても、お互いを知る努力をすれば、近くにいるよりも以上に理解できるのですね。

私の絵も実物以上に可愛く、楽しく描いていただき感激いたしました。

久しぶりにお手紙書くことを許してくださいね。ちょっと無理をしたため風邪をひいてしまいました。風邪ひくからやめたほうがいいよと皆に言われたのに、寒い日にプールへ行ったのですから、無理ありません。

いくら丈夫な人でも温度の低い、秋風の吹いている夜に、遅くまでプールで泳いでいたら風邪ひきますよね。

今年は海へ行かなかったので、どうしても泳ぎたかったの。泳ぐと言ってもひろゆきさんのような距離は無理ですけど、50mを平泳ぎがやっとというところで、学生の頃は疲れても体力があったせいか、もっと泳いだような気がします。今は50mですね。今度泳ぎを教えてね。私は水は怖くないの。でも毎年、海で溺れたり、高波に吞まれた事故が起きると、水ほど怖いものはないなと思うのです。

3年前の夏、伊豆7島の一つ“新島”へ行った時もこんなことがありました。

羽伏海岸は真夏だというのに人が少なく、どこまでも続く広い砂浜は、まるでハワイにでも来たようで気持ちいい（ハワイへ行ったことがないのによくわかるわね。と言われましたが、写真ポスターなどでハワイの海岸を見たことがあるからですね）。

砂は、ガラスを細かく砕いたように透き通って白く、キラキラ眩しいぐらい。膝下くらいの波打ち際で遊んでいたら、急に高波が来て私をさらって行ってしまったの。びっくりした私は、手や足をバタバタさせもがくのですが、水は飲むし、苦しく、もうどうなることかと思いましたが、少し経つと水面に顔が出てきたのです。そして今までつかなかった足が下につけたのです。もう嬉しくて嬉しくて、死ぬかと思った。砂浜にぐったり身体を横たえて、つくづく思いました。水って怖いなあ。

眺めるには波があって、白いしぶきが砕けるのは素晴らしい芸術ですが、泳ぐには波がなく、静かな海の方が安心ですね。

泳いでなくても事故は起きるのですもの、水には気をつけなくてはなりません。

砂浜に寝ているのが一番いいですね。

“夕日が赤く空を染める頃、白いヨットに乗って愛の語らいなんてロマンチックですね。

愛の語らいが終わったら、二人で広々とした海を、思う存分泳ぐの。そして疲れた私はヨットに戻って休憩。ひろゆきさんは沖の方までいって、夕日が沈む頃、ヨットに帰ってきて、また二人で楽しいお話。

今日は星が綺麗、まるで宝石でもちりばめたように私たちを見守っています。

あっ流星！消えないうちに願いをいうと、叶えてくれるって本当かしら。
もっとゆっくり流れてほしい。そしたら、たくさんの願い事をする事が
できるのに。

でも今の私たちは幸福、これ以上の願いなんて我儘ですね。泳ぎ疲れたの
かな、眠そうなひろゆきさん。

今日はゆっくりお休みなさい”。

手紙の書き方、出し方の忠告ありがとう。

気がつかずごめんなさい。ひろゆきさんが常に持ち歩くことを考えたら、
同型で、少しでも軽く薄い方が良いですね。そして長いお手紙。あな
たと同じ四角い封筒を探して歩いたのですが、どこにもないのです。こち
らには前回まで使っていました長方形しかないのです。長方形だと二つ折
りでは入らないので、やはり四角い方が良いですね。また他のところで探
してみますので、それまで我慢してください。

これからもどしどし忠告してね。

着物の写真がありましたので送ります。

銀行の前で、今年の1月4日に写していただいたものです。八ヶ月も過ぎた
ので、今とは違っているかもしれませんね。

専門家からの批評を待っています。

あなたのお手紙に対する返事を書くことがたくさんありますので、また
明日書きます。

おやすみなさい。

愛するひろゆきさん 8/29 1:10AM

心の底から愛しています！ せつこ

風邪は治りましたから心配なく

[第三十四信] 1972.8.30 封書 ナイロビにて受取

8/22 神田にご両親を訪問して宿泊

8/30

今日8/10 付の便りを読み返していて気がついたのですが、午前4：15と終わりに書いてあってびっくりし、いくら私のことを想って眠れないと言っても、あなたは旅をして疲れている体なのですから、せめて早く寝て1日の疲れをとり、翌日の旅に備えなくてはなりませんよ。

私のことを想って眠れないなんて、とても嬉しいけど私は心配なの。私だって、あなたに負けない位想い続けていますから、安心しておやすみなさい。この日はあなたと私の昔の歴史を書いていて、遅くなったと思われまます。遅くまで楽しく、面白く、綺麗に書いてくれてありがとう。あれ！私のことを想って眠れないのではなく、眠れないので私のことを想っているようでした。

どちらでもいい、あなたが私のことを深く愛してくれていることは、もう心の奥まで痛いほど感じられています。そして私に会いたいと思っていることも、私には本当によくわかります。

ひろゆきさんに会いたい、会いたい

会ったら何も話せないかもしれないけど。

それでいい、会いたい、会いたい

でも今は会うことができないから、写真を見て我慢しています。眼鏡の奥のあなたの目はそっと私を見て微笑んでいます。

乗り物に酔いますかという質問に対しての返事は、私もあなたと同じく乗り物には弱く大嫌いなの。そしてすぐ酔ってしまうので、なるべく避けているのですが、どうしても乗らなくてはいけない時などは、なるべく気分よく乗るよう努力しています。乗り物でも、電車や汽車は平気で、船や

タクシーが一番嫌い。でも体の調子の良い時は船に乗ってどんなに揺れても、全然平気な時もあるのです。船、タクシーとも大きくゆったりしているものであれば、それほど嫌な気分にならないで済むのですけど。

酔うということは経験した人にしかわからないもので、酔ったことのない人には想像もつかないでしょう。本当に酔った時の気分は嫌ですよ。あなたのことを考えるとかわいそう。酔いながらの仕事なんて、私には考えられません。だって、酔った時は立っていることができず、すぐ横になってしまい、また横にならずにはいられないくらい辛いものですよ。そして二度とこんな経験はしたくないと思うのです。しかしこれからの二人の人生はそんなこと言われてられませんので、お互いに酔わないよう努力しましょうね。できたら私は歩いたほうがいいのです。歩くのでしたら何時間でも何日でも遠い国まで歩く自信があります。私にはドライブよりもリュックを背にキャラバンシューズを履いた姿でハイキングの方が向いているようです。

2年前の夏、北海道の知床半島をウトロから羅臼まで船（小船）で一周した時は、オフォーツク海の荒波によって、私は死ぬか生きるかの戦いをし、船に酔うことの恐ろしさを知りました。あなたのお手紙にも書いてありましたが、胃の中のものは全て吐き出され、胃袋が踊り狂っていても、もうどうしようもない。この船は小さいのでいつも揺れるらしく、乗船するとき一人一人新聞紙の入ったビニール袋と酔わないための薬をくれるのです。私はこれをもらった時から嫌な予感がし青ざめたのです。

案の定、船は出港と同時に大揺れに揺れ、甲板に立って景色を眺めることができず、すぐ船底で寝てしまいました。船底で寝るよりも甲板に出て澄んだ空気を吸い、冷たい風に吹かれ、遠くを見ている方が良いらしいのですが、一旦酔ってしまうともう甲板まで上る気力がないのです。知床半島の周りの景色がいいというので、船に乗る計画を立てたのですが全然景

色を見るどころではなく、残念でした。陸に上がった時の感激は、今でもよく覚えています。上がってからも身体はまだ揺れているようで、目がぐるぐる回って止まらず、嫌な気分でした。

私が乗り物に弱いのは、胃が弱いせいがあるようなのです。弱いといっても別に悪いわけではなく、胃の中のものが消化されていない時や、胃にも入っていないときは酔いやすいのです。胃を強く、たくましく、しておかなくては。そうすれば酔うこともなくなるのではないのでしょうか。

みっちゃんには、あなたと結婚するようになったと知らせました。この間書きましたがみっちゃんは、あなたをととても良く思っているので、私のことを喜んでくれて「早川さんならきっと幸福にしてくれるのではないかなと思う」と言っていました。

お兄さんに知らせるとびっくりしていたそうで、いつからそのようになったのか、全然知らなかったといていたようです。

そして伊藤さんには、私が結婚すると知らせました。でも、あなたとするとは言えなかったのが、多分、平井の浩ちゃんが知っているのを聞いてねと言ったので、もうわかったことでしょうね。皆びっくりするでしょうね。

みっちゃんの身体の方は順調のようで早く二世が見たいものですね。

ちょっと悪い知らせなのですが、みっちゃんのお母さんが旅行で腰の骨を折ってしまったのです（8/3）。

1ヶ月たったら手術をすると言いましたがまだどうなるかわからないそうです、半年間は入院しなければならいそうで大変です。

手や足の骨と違って身体全体の柱で、支えているところですから、少しでも体を動かすと痛いそうで、かわいそう。1日も早く痛みが取れるよう、共に祈りましょう。

私の字は大きいので少ししか書いていないのに1枚が終わってしまいます。たくさん書くには小さな字で書くようにしなければ。

8/31

四季いつも新しい花が咲いているエチオピアの首都アディスアベバでは、雨が多いようですね。私は雨が好きで、雨の音を聴いているとなんとなく心が休まり、日曜日など家の中で静かに手紙を書くのもいいものです。でもそれはたまにのことで、毎日降り続いたら、気分がいらいらして、心が休まるどころではありません。

“新しき 花をかかげて 我いかん

妻のきまりし この時からは”

私はこの歌が気に入りました。どの歌もあなたの気持ちがよく感じられ良いものです。

先日(8/22) 神田へ両親に会いに行きましたら、お母様が「廣行から初めて私に歌を送ってくれました。とても嬉しいものですね」と言っておられ、本当に喜んでいました私もそうですが、あなたからの便りは両親にとって最大の喜びで、お手紙の一言一言が心に響き、今のあなたにとって、お手紙を書くことが親孝行になっているようですね。わたしの孝行は、一日でも多く両親に会い、あなたの話をし、楽しい時を過ごすことのように。でもそれは親孝行ではなく、自分の喜びのためかな？いやお互いの喜びが自然にできているのですから、こんなに幸福なことはないですね。両親と私はいつも話が尽きず、時が経つのが早く感じられます。きっとあなたが今頃くしゃみしているのではないかなと思うぐらいです。お父様がお風呂に入っている時、私とお母様は女同士の話。あなたの小さい頃だとか、兄弟さん達のことを話してくれます。兄弟さんが多いので、全て聞くには時間がかかるようなので、徐々に聞くようになるでしょう。

今晚は、三人で俊とお兄さんのレストランで食事をご馳走になりました。海老フライに、海老グラタンでとても美味しかった。海老フライは揚げたて、海老グラタンは天火から出てきたばかりで、フウフウ言いながら味わいました。胃の小さな私には二つはちと無理なようで、海老フライには野菜がたくさんついているので量が多いし、ビールを飲んだ、いやお酒を飲みながらなので、余計お腹がいっぱいになってしまったのでしょう。両親の考えで料理を上手に作るには、いろいろな料理を実際に食べて、舌で味を覚えなければいけないということで、今日は実習なのです。作る実習ではなく、味わう実習ですね

今晚は泊まって翌日は8:30AM出勤。

銀行までは歩いて十分ですので近いですね。

私の家からは四十分かかり、それも満員電車に乗っての出勤は重労働で、1日の体力を全て消耗してしまう感じで、皆必死なのです。

今日の体力は充分残っているので、両手に大きな荷物を持って一階から三階まで、何回も往復できますね。考えただけで脂汗が出そうですが。

話は変わりますが、あなたが浄土真宗の信者であることは3月14日チロルからの便りで知っていました。“ヨーロッパの生活を理解するにはキリスト教への理解が必要。もし私を本当に理解しようとしたら、浄土真宗を理解しなければ無理でしょう”。

このお手紙を読んだ時、あなたがとても立派な方に感じられたのです。だって自分を理解するには宗教を理解しなければいけないなんて、普通では考えられず、またそのように言える人は、本当に本当の宗教信者だと思ったからです。

今まであなたが浄土真宗の信者であることは知らなかったのですが、びっくりしましたが、あなたが書いてくる親鸞聖人の歎異抄の一節一節は私の胸を打ち、とても良い言葉でいつも考えさせられています。宗教に親しむこと

によって人間の価値がわかるような気がするし、人間にとって宗教は必要なものですね。

唱えていることは難しいことはないと思うのです。ごくあたり前のこと、そのあたり前、人間として当然なすべきことが、人間にはわかっていないような気がするのです。

だからこそ宗教に親しんで、人間の価値を大切にしたいものですね。

私は無宗教なのです。家では昔から日蓮宗を信行しております。本当のことを言って私はあまり宗教には、興味がなかったようです。でもあなたと結ばれることによって、私はスムーズに浄土真宗の信者になれるような気がします。そして勉強してあなたと共に親鸞聖人の教えを語れるようになりたいと思います。あなたの良き妻になるには大変なようです。私にできるかどうか心配です。こんなこと書いたら、また叱られますね。でも本当にあまり良いことばかり考えて、良い面だけを見ていいのでしょうか。後で期待ほどでもなて思われたら嫌だし、今から悪い面も理解しておく方が良いと思います。

想いはつきねど 精いっぱい愛しています。

12:50AM

せつこ

[第三十五信] 1972.9.2 封書 ナイロビにて受取

8/27 鎌ヶ谷を訪問お母様と浩子姉さんのお手伝い

9/2

私が月の最終日曜日、鎌ヶ谷へ行って皆と親しくなるようにと気を配ってくれて有難う。Don't worry! (あなたのお手紙に書いてあった言葉)。
8/27も午後1:30頃に鎌ヶ谷に行き、お母様と浩子姉さんのお手伝いをさせていただきました。お母様とはもう何回も会っているので、親しくなりましたが、浩子姉さんとは二回め、私が初めて会った時に感じたのとそれほど変わっていないけど、明るくしっかりしたお姉さんですね。あなたのことも教えていただきましたよ。自分の得意な話になると、いつまでも話が尽きず、色々なことを知っていると。これは私もよく知っていることです。それにあなたが写真学校に行っている時、写した写真も見せていただきました。私が子供に厳しいのではと書きましたが、あなたの言う通り、全員に同じように愛情を注いでいるのがよくわかるし、優しく注意しているようですね。

一番手がかかるのがパパだと言っていました

あなたの家族の感想を読むと、本当にその人それぞれの性格がよくわかり、また私も其のような感じを受けました。洋子姉と寛子姉さんの感想は書きませんでした。あなたの感想でよくわかりました。英子姉さんはとても楽しいですね。私には欠けている良いところを持っているので羨ましい。はっきりしていること、行動派であること、明るいこと、私に似ているところがある。それはちゃっかりしていて、お姉さんなのにお姉さんらしくないということ。それは私の妹がよくいう言葉。

賀恵子姉さんは浅ハカなのが玉に瑕ということであるが、私もそうである。

おっちょこちょい、そう私は多分におっちょこちょいのところがあるのですよ。一緒になったらあなたも気づくでしょう。

あなたは積極的に鎌ヶ谷に行って欲しいと言ってますが、私は行くことが当然だと思っているし、あなたのいない今は、私があなただけの分まで話を聞き、皆と仲良くすることが何よりですものね。

そしてあなたの部屋でひとりじっくり考え、あなたの思い出に耽るのが楽しみなのです。

私の部屋であなただけの長いお便りを読むのも楽しいですが、あなたの部屋でぼんやりしているのも楽しい。この間はお手紙を持って行って読んだくらいなのです。それがあなたのことを思うのに一番良い方法のようです。

部屋に一人していると、ドアからあなたが入ってきて節子よ！と呼びかけ優しく私を抱いてくれるようなことばかり考えてしまいます

あなたが日本に帰る時、羽田で二人はどうするかという想像のお手紙おかしくなりましたが、私も以前考えたことがありましたよ。

もし私があなただけのいる外国へひとりで会いに行ったら、自然にあなただけの胸に飛び込んでいき、大きな声をあげて泣くでしょう。

でも日本で皆がいる前では笑う事すら、泣くこともできないような気がする。ただ嬉しくて、嬉しくて、顔の皮が突っ張ってしまい、無表情の私になってしまうのではないのでしょうか。

どちらにしても早く会いたいなあ。

文通をしている間は、私だけのあなたですけど、日本に帰ってきたら皆にあなただけを取られてしまって、私一人ぼっちになってしまいそう。きっと引っ張りだこで、二人になれる機会が少ないかもしれないですね。

そんなことを考えていると、寂しいなあ、寂しいなあ寂しいなあ、寂しいなあ。でもいいの、あなたの心はいつも私と一緒にだから。私のものだから。

お手伝いさんのきみえちゃんが8月末で辞めることになり（10月1日結婚）、送別会を兼ねて簡単なパーティが開かれ、皆が送別の挨拶をし、章央ちゃん、淳ちゃんのウルトラマンの歌、裕子、喜子、けい子ちゃんのチューリップの歌、俊一兄さんの黒田節、浩子姉さんの波浮の港、和好兄さんの借別の歌・詩吟とともに賑やかで、和やかな時を過ごし、良い雰囲気になりました。

このような家族は私の夢であり理想だったのです。その家族の一員になれた私は幸せです

どこを探しても早川ファミリーのように仲の良い人の良い人々はいないのではないのでしょうか。毎月会うのが楽しみになりました。

きみえちゃんと会うのは二回目ですが、とても感じの良い、人懐っこく、常に微笑みを忘れず、しっかりした可愛い人で、すぐ私と仲良くなりました。きっと良い奥さんになるでしょう。私よりも年が上かと思っていましたが、だいぶ下のようですね。しっかりしているので分からなかった。

またね

わたしだけのひろゆきさん

8/2

あなただけの せつこより

9/3

ひろゆきさん

今日は私もアムハリック語の勉強をしました。一字一字が日本語のイロハ…のように思っていたのですが、そうでもないようで難しいし、書くのにもちょっと覚えられないですね。

周りが全てアムハリック語で書かれていたら頭がおかしくなりそうで、永く滞在できないわね。

上に書いてある言葉はピンとこないけどあっていますか。もしあっていたらそのままあなたにお返しします。

いつも長いお便りを楽しみに読んでいますが、8/22,8/23,8/25,付のお便りは長くて長くて読むのに時間がかかり、他の事ができない位、一度で満足できず何度も何度も読み返すので、余計時を必要とします。

よく次から次へと書くことがありますね。おなたのお手紙にも書いてありましたが、本当にびっくりしているのですよ。だって私にはとてもできないことですし、考えつかないのですもの。

もしあなたがカメラマンにならなかったとしたら、何の職業になっていたのかなあ。あなたは何でもできるので、きっとスキーのコーチ、漫画家、映画の評論家、料理人、電気関係の技術者、医師、僧侶、小説家、登山家、まだまだ色々ありますが、アフリカ探検隊として密林にこもり、象の鼻はなぜ長い？なんて研究したりしているのかもしれないね。

そのうち節子の鼻はなぜ丸い？なんて研究されるのではないかな。整形手術しなくても鼻を高くスマートにできる方法を、研究してほしいな。親にももらった私の身体ですから、文句は言えませんが、もう少し…であってほしいことがたくさんあるの。

あなたも言ってたけど、私のつくりは丸く小太りなの。小さい頃からの写真を見てもよくわかるし、スマートになったことは一度もなく、スタイルの良い人を見ると、羨ましくコンプレックスを感じることはしばしば。

私の身体を想像しているあなた、あまり期待はしない方がいいですよ。だってあなたはモデルさんを相手に仕事をしていたのですから、私を見たらガッカリするだろうから。

ガッカリされたら嫌だから、前もって言うておきます。

皮膚もキメが荒く毛深いし、色は黒く、顔にはソバカスがあるし、胸、腕は太いし、足も大根足。私が緑色のワンピースを着ると、妹がやめなと言

うの。それは、大根に葉っぱがついたようでおかしいようなのです。いつもそんなことを言われています。

あなたはこの間のお手紙に、ピラミッドを見物するまでに、資料を集め研究し勉強したと言うことで、ピラミッドを見た時にはとても感激したと。あなたの性格がとてもよくわかりますね。そのような考え方は私も同感です。そして今の私たちは、悪い面を知るよりも良い面だけを見たほうがいいのかと言うことですが、私は良い面よりも悪い面を、多く知ったほうが良いと思うのです。お手紙だけだと、悪いことも良く書けてしまうし、よく理解されることがあると思うのです。

そしてお互いの悪い面を理解していれば、会った時もしそれが、思っていたよりもよければ感激するでしょうし、たとえ思っていたよりも悪くても、ガッカリとすることが少ないと思います。でも私が心の底から愛していることは変わりませんから念のため。

あなたの手紙は私の胸に響き渡りいつも感激で、私だけ喜んでいて良いのかしら？と思うのです。他の人にもこの幸福を分けてあげたい。人間が幸福に思えることは幸福ですね。私はあなたによって、幸福になれたのですもの感謝感激…

想像力の豊かなひろゆきさん。私とあなたの赤ちゃんの姿かわいいですね。こんなにかわいい赤ちゃんだったらいいのですが、心配です。でも二人の子だから丈夫でおとなしいかわいい子には違いありません。

ひろゆきさん、もし外国で住むようになって子供ができたら大変ですね。外国での出産費用は高いと聞いてますし、子供連れで旅行していたら、あなたの勉強の邪魔になるのではと思いますがどうなのでしょう。こんな心配は早すぎますね。

ひろゆきさん、一度日本に帰ってきてたら、二度と外国へ出る気がしなくなるのではと言っていましたので、どうなるかわかりませんがもしまた外

国へ行くようになったら、二人の生活費はどうなるのですか。両親は私たちが外国へ行くことを許してくれていますが、その好意に甘えて良いのでしょうか。

永遠の恋人さん おやすみなさい

12 : 30AM

今日、本を送りました。間に挟んだ物が落ちなければよいが。お茶は別便で送ります。待っていてね。

せつこ

[第三十六信] 1972.9.8 封書 ナイロビにて受取

あなたを一生変わらず愛し続けることを特技にしたい

9/8

正義の味方のスーパーマンさんこんにちは！

スーパーマンはどうして婦人用トイレを使うのかな。女性に見つかったら大変ですよ。いくら強いスーパーマンでも女性の力には勝てず、マントやタイツはボロボロで、顔には爪の跡がいっぱいで情けない姿になるでしょう。私はスーパーマンの子供で節子と申します。

ところが不思議なことに、来年になると私は正義の味方スーパーマンの奥さんになり、ペアーのマントを着て事件があるたびに飛び立つのです。そしてある時はスーパーマンの助手となり機敏な行動をし、ある時はスーパーマンの行動している姿をみ守り成功を祈るのです。

スーパーマンは、今までひとりだったから自由にどこへでも飛び立つことができたけれど、これからは高いビルディングも、ひとつ飛びというわけにはいきませんね。

でも理解のあるスーパーマンの奥さんは、今まで以上に自由にさせてくれるかも知れませんよ。

スーパーマンの特技は何ですか。もちろん写真を撮ることでしょうね。

絵、電気関係の修理、組み立て、話術、たくさんありますね。それに比べて私の特技は何もありません。平凡な女性のものでして、何の取り柄もないわけです。一つぐらいあっても良いのですが、先日(9/6)神田へ泊まりに行った時、お父様から聞かれたのですが、答えることができず恥ずかしかったです。

23年間何をしてきたのだ、と言われても仕方がありませんが、私には特技らしきものはないようです。

お父様はアイデアを出すことが特技のようで、お母様は子供を産み立派に育てることが特技だそうです。

私には今それらしきものはないけれども、これから私の夫が安心して立派な仕事ができるよう、影の力となって働くことが特技になるよう努力したい。お母様のように子供を産み立派に育てることも、そして私のスーパーマンを一生変わらず愛し続けることを特技にしたい。こういうことは関係ないことかな。

スーパーマンの写真はひろゆきさんの写真に付け加えて絵にしたのですか。ちょっとわからないのです。とても楽しい絵で、丁寧に細かく書かれていますね。

話は変わりますが、この前のお手紙にみっちゃんのお母さんが、腰の骨を折ったと知らせましたが、腰ではなく大腿骨の股関節を折ったようです。足の付け根の骨というので、本を見ましたら大腿骨の股関節のようなのです。折った時は痛くてどこが折れているのかわからなかったのでしょうか。私が聞いたのは丁度折った日だったので、腰の骨と知らされたのです。2、3日前に手術をしたそうです。痛いでしょうね。今日もまた、二人で早く良くなるようにと祈りましょう。

また話は変わりますが、お手紙を読んでいると、あなたがとても迷っているように感じられるのです。一度に日本に帰ると二度と外国へ出る気がしなくなり、日本に落ち着くようになるのではないかと、自分の最初の目的を通しぬくには勇気がいるし。

あなたの気持ちが痛いほどわかります。でもわかっている私にはどうしても欲しいとは言えません。言えないというよりも、わからないのです。あなたの気持ちが理解できても、自分の気持ちが理解できないなんて嫌ですね。本当にあなたを悩ましてしまって御免なさいごめんね。

今、あなたが悩んでいるのかと思うと、私まで考えてしまうの。あなたは後悔という言葉は嫌いだと言っていましたが、心の底ではそれらしきものを感じていると思うのです。

あなたが迷わなくするには、どうしたら一番良いのかな。“外国に出ないで日本で生活しましょう”“もう一度外国へ出て一緒に勉強しましょう”とどちらの言葉を送るべきなのでしょう。いや私はあなたが決めた道を一緒に歩みたいのです。そしていつまでも離れず、あなたに尽くしたいのです。だからどちらにして欲しいとは言えません。ただあなたにとって最良の人生を送って欲しい。“あなたの悩みは私の悩み”とは、あなたも以前言っていました。ひとりで考えないで一緒に考えれば、悩みも半減するでしょう。あなたにとって良いアドバイスをすることができずに済みません。

何しろ、二人で歩む人生ですから、少しぐらいの苦勞は苦ではなく楽しみに変わり、良い経験として残るでしょう。

お茶を送りました。湿気が入らないよう、缶ごと送りましたが、持って歩くのに荷物になるようでしたら、ビニールの袋にお茶を入れて、缶は捨ててください。

先日、お母様に相談しましたら、頂戴物のお茶があるのでそれを送ってください、ということでその缶を頂きました。

“愛は弾よりも早く、機関車よりも強く

広い世界をひとつ飛び、そしてアフリカにいるあなたと

結ばれている せつこより”

[第三十七信] 1972.9.14 葉書 ダルエスサラムにて受取

詩仙堂の入り口を写した絵葉書

九月の京都を訪れています。今が一番人の訪れが少ない京は、どこを歩いても静けさが漂い、お香の香りが私の心にやすらぎを与えてくれます。 私が好きになった詩仙堂。

座敷が畳ではなく藤が敷かれ、冷たい感触の藤に座り庭を眺めていると、心が落ち着き、私一人の世界に身を置いているようで、鳥の鳴き声も水の音も、私のためにしか聞こえてきません。

どこを見てもあなたと一緒に…

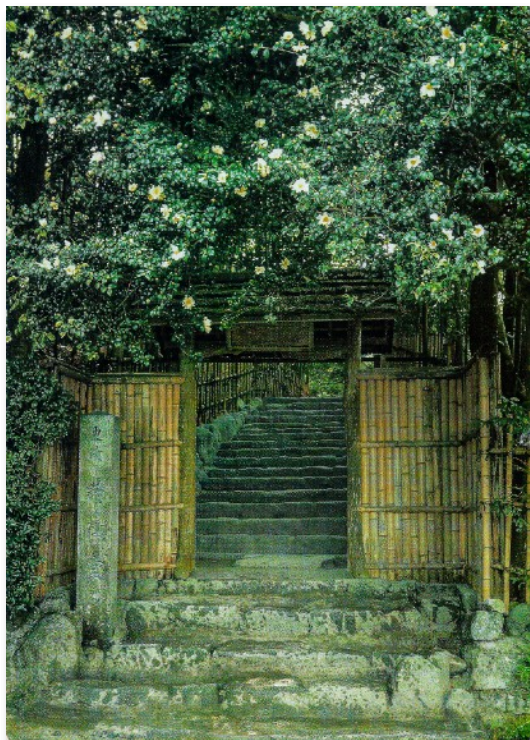
いつか二人で京を訪れ、この詩仙堂で語り合う日が来るでしょう。

たしかあなたが嵯峨野を訪れたのも今頃でしたね。お寺と若竹のコントラストが素晴らしかったと。

又ね

9/14

京都にて せつ



[第三十八信] 1972.9.16 封書 ダルエスサラムにて受取

あなたの結婚式についての希望、全て同感です

9/3、9/5付のお手紙を9/14に久しぶりに受け取りました（実際には9/12に届いていたようです）。旅行に行く前に受けとれると思い待っていたのですが、受け取れず、心残りのまま京都へ2泊3日（9/12～9/14）の旅行をしてきました。もし帰ってきても届いていなかったら、身体の調子が良くないのでは、何か事故でもあったのではと、心配で心配で大変だったと思います。

でも私の愛するひろゆきさんからの長い便りは、私が帰ってくるのを、首を長くして待っていてくれたようです。

9/12に届いたので、旅を一日遅らせて発てばお便りを読んでから出発することができたのですね。でももう安心してニコニコ顔ですよ。やはり少し身体の調子が良くなかったようです。トラックの上で寝たり、警察署の芝生の上で寝たため、蚊に好かれてしまって風邪気味のようなのですが、どうせ寝るならば屋根付きの場所を探した方が、身体のために良いのではないですか。あなた一人の身体ではありません。これからは自分の身体であって、自分一人の身体ではないことを深く肝に命じなければ、皆さんに心配をかけることになりますよ。

あれ、これはお母様の言葉のようです。

私も京のお寺巡りをしながら、沢山の蚊と親しくなり、ちょっとゆうつな旅になってしまいました。

今数えてみたら手に2箇所、脚に12箇所も刺されてしまい、どこも赤く腫れて熱を持っているので、自分の手足でありながら他人のもののように感じるぐらいズッキン、ズッキンと痛みます。いつも太いスラックスにズックかキャラバンスタイルなのですが、今回はスカートで格好つけたのが、

いけなかったようですね。虫に刺された跡が残っているほど見苦しいものはありませんね。あなたが帰ってくるまでに、跡がなくなってしまいますように。

あなたの結婚式についての希望、じっくり読ませていただきました。先日（6日）神田へ行った時に、お父様から聞きましたので、少しは知っておりましたが、あなたの希望はそのまま私の希望として、あなたにお返ししたい気持ちですべて同感です。あなたは私のことを、自分の考え、夢のない女だと思うかもしれませんが、私もあなたの希望のように以前から考えていたのです。

やはり私も女の子、赤い着物を着てお色直しをすることを、夢見たことがありましたが、三回の結婚式に出席して感じたことは、花嫁さんの中座の長いこと、そしてその間に祝辞を述べる人は何のために、誰のために挨拶するのか分からないことです。お嫁さんがいないことほど間の抜けたことはないし、やはり花婿、花嫁が揃ってはじめて披露宴となるのだと思います。それにあなたの先生・先輩・同僚の楽しい挨拶（あなたの知らないところを知る良い機会になるかもしれない）も、私の先輩・同僚の挨拶（あなたの知らない私のこと）も聞くことができないなんて、心残りですものね。もしあなたが希望を言ってくれなかったら、私はお色直しをしていた、いやするでしょう。

自分でもやらない方が良くも思っている、普通一般のことを考えると、お色直しは当然するものと頭にはあったのです。でもあなたの希望通りお色直しはしません。

式服は着物でしたいと思っています。白無垢に綿帽子は、私の幼い頃からの憧れの衣装で、岩下志麻さんの姿もよく覚えています。でも志麻さんと私と一緒にしてはいけませんよ。白無垢に憧れてはいましたが、私は背が低いし着物を着ると貫禄ついて太ってしまうのです。

この間のお手紙にも書きましたが、骨太で肩や腰骨が張っているの、それに出るべきところは出ているしで、自信ありません。でもそのような事言っていたら何も着れないので、なかみを皆さんに見て貰うつもりでいます。あなたの紋付羽織袴姿に、私の白無垢綿帽子姿はお似合いでしょうね。

私たちの晴れ姿が目に見え、なんとなく恥ずかしい気もするし、厳粛な気持ちになるもので、目頭が熱くなります。

帰ってくる時は、ヒゲはどうなっているのでしょうか。真っ黒に日焼けした顔にヒゲを生やし、紋付羽織袴姿も威厳があっていいですね。でも本当のあなたの顔はやはりヒゲはない方がいいなあ。

きっと優しく私を見て微笑んでくれるだろうから。どちらでもいいけど早く会いたいなあ。

最近つくづく感じているのですが、人間は外見ではその人の本当の姿、心は分からないものです。

あなたについても、昔私が感じていたあなたとは、全然違うのです。だっていつも変わった格好をしたり、面白いメガネをかけたり、私には変人（いやな、変な意味ではない）に見えたのです。

でもあなたを愛し、愛されるようになって、わかったのです。あなたのお手紙によって以前からもわかっていましたが、とって普通の日本男性であるということ、外国生活が永いから日本にいる男性よりも余計、日本に対する思いが強いのかもかもしれませんが、いいえあなたは、日本にいたとしても日本を愛し日本古来の伝統を愛し、日本の模範男性でしょう。そして全て日本的に結婚式をしたいと言うあなたが好き。見栄を張らず無駄を省くあなたが好き。私はあなたの考えがもっともだと思うのです。そしてあなたの考えることが全て好きになってしまう私。あなたを愛しているからだとは思いません。愛を抜きにしても、あなたが好きなような気がするのです。

でも愛があるなら、もっともっと好き。言葉では言い廻わされないほどの愛で、満たされているのです。

式の日取りも3月25日がちょうど日曜日なので、この日が取れるといいですね。お父様が先日、築地本願寺へ行ったら来年の予定はまだ分からないので、決められません、と言われたそうなので、来年にならないと決めることができないでしょう。

婚約指輪などはいりませんから心配しないでね。あなたの言うようにパズルリングを大切に、婚約指輪がわりにはめていますので。それだけで私は満足なのです。パズルリングの謂れ通りで、これを外すと二度と組み立てることができないので、私は浮気をする事ができません。浮気といえば、あなたの送別会の時に、あなたはもし夫婦がお互いに嫌になったならば、離婚するべきだと、嫌々ながら一緒に暮らすことはない、あれは浮気ではなく、離婚のこのようでした。私の勘違いです。今から離婚の話なんて嫌ですね。ごめんなさい。でも中途半端になるので、これだけは言うておきます。あの時私はあなたの考えに反対しましたが、今はあなたの考えていた事がわかります。あの時も確か、早川さんは“住む世界が違うんだなあ”と思ったものでした。

お互いをより一層理解するには、努力が必要です。私はひろゆきさん、あなたを信じてどこまでもついて行きます。

指輪の交換は披露宴でやらなくても、二人で交換すればそれで幸せ。何をするのに二人だけでやる方が、感激も大きいのではと思いますが、結婚式だけはやはり皆から祝福された方が幸せでしょうね。

あなたが帰ってきてから結婚式までの短い期間は、とても忙しいでしょう。きっと、帰ってきて少しの間はポケットとしているあなたには、何が何だかわからないまま日が過ぎていくでしょうし、私にとっても落ち着きのない日々となるのではないのでしょうか。

一年以上も一人旅をしてきたあなたには、周りの人の行動やら言葉がうるさく聞こえ、ノイローゼになるのではと心配です。早く日本に慣れて、元通りののひろゆきさんになってね。

今写真を見ながらこのお手紙書いていますが、私達の仲って不思議な糸で結ばれているのですね。昔の人のように顔も知らない同士が、結婚式の当日初めて顔合わせして、結婚するなんてこともあります。私達は顔は知っているし、お互いに少しは知っている。そして一番大切な恋愛時、婚約期間は、離れていて文通だけしている。会ったと思ったら結婚してしまう。昔風なのか、現代風なのかな、両方をミックスしたような感じのようですね。こう言うケースの人は他にもいるかしら。私達の子供が大人になって、恋愛するようになったら、二人のことを話してあげましょうね。ちらっとあなたを見たら、なんだか笑っているように見えました。写真も私が笑えば笑うし、悲しそうな顔をすれば一緒に悲しんでいるような顔に見え、7面相をしているようで楽しいですよ。

私が送った写真も笑っているけど、時には一緒になって悲しんだり、励ましていることでしょうね。

先日送った着物姿の写真は立ちポーズですが、専門家から見てどのように感じましたか。

今回のお手紙に、和服では内股にしなくてはいけないとか、立ち居振る舞いのことが書いてありましたので、きっと私の写真を見て採点しているのでしょうか。ちょっと送る時期が悪かったようで、あなたのお手紙を、受け取ってからにすればよかったと思っていますが、もう遅いですね。でも正直な採点を待っています。この写真は年よりも若く見えますか？それとも老けて見えるのかな。あなたはこう言う着物よりも、もっとあっさりとした着物の方が好きなのではないでしょうか。今日はこの辺で。

日増しに愛が深まっていくひろゆきさんとせつこ

せつこはひろゆきさんを永遠に慕い愛し続けます。

12/10 AM 9:16

今日は日本では敬老の日でした

今日だけではなく老人を大切にしましょう。

[第三十九信] 1972.9.20 封書 ダルエスサラムにて受取

両親にとても可愛がっていただき、とても幸せです

9/16付のお手紙を21日に受け取りました。

先日（19日）お父様から廣行から10日も便りがないが、節子の方には最近いつ便りが来たかと聞かれましたので、私のところには久しぶりに9/12で2通届き、お手紙には無事旅行していると書いてありましたと言うと、お二人とも安心され、お母様は病気にでもなったのではと、心配していたようで、元気なら何よりですと言っていました。

しかし、先月の便りでは少し風邪気味だと言うことだったので、私の方もその後の状態がどのようになっているか、心配になっていたのですが、今日元気そうな便りを受け取り、やっと安心したところですよ。

日本人と一緒に旅をしているので、手紙がかけないようですが、気にしないでね。私はあなたが一人で歩いているよりも、何人かの人と一緒に旅をしている方が安心です。お手紙も毎日のように欲しいですが、一人眠れぬので月を見ながら君への手紙書いています、なんて言われちゃうと、私の方もふと寂しくなってしまうし、あなたから便りがないと心配ですと言う手紙を、あまり書きすぎるとあなたを拘束しているようで、あなたも心苦しいでしょうね。拘束しませんからもっと自由に旅を続けて、楽しんで下さい。でも手紙も一週間に一度は必ず欲しいですが、長くなくても、元気だよ！せつ だけでもいいです。

お手紙によると日本人との旅を楽しんでいるようですね。同じ部屋で日本の話や、旅の交換話をしているあなたを想像すると、私の方まで楽しくなり、あなたの名話術が聞こえてきそうです。きっとあなたの名話術で皆、眠れないのではないのでしょうか。それともあなた以上の人がいて、眠れないのはひろゆきさんかな？

どちらにしても5人もいては、話は尽きないでしょうね。また一人旅になるようですが、気をつけてくださいね。

浩子姉さんからの便りで、私を昔からの妹のように感じてくれたとのこと、嬉しく思います。私も浩子姉さんを本当のお姉さんのように感じ、何でも相談すれば一緒になって考え、教えてくれる人だと思いました。あなたも俊一・浩子姉さん夫婦のようになりたいと言っていました。私も姉さん夫婦を見習って、良い家庭を作り仲の良い夫婦になりたいと思っています。

両親も兄姉も安心させることができたようで、嬉しいと言うあなたの気持ちとても嬉しいです。そして皆が私に親切にしてくれるのは、あなたの普段の行いが良かったからで、私だけの人柄ではありません。きっと二人の人柄が良いからでしょう。私のことを心配して、皆に“節子をよろしく頼む”との手紙を書いてくれてありがとう。あなたの優しい心使いが私にはとても嬉しいのです。本当にあなたは心の温かい優しい人なのですね。心が温かく優しいひろゆきさんを、夫にすることができる私は最高に幸せ。きっとあなた以上の心の温かさ、優しさで私はあなたを包むことができますでしょう。

ひろゆきさん！両親に婚約指輪を買っていただきました。私の誕生日のお祝いということで、とても素敵なオパール（10月の誕生石）です。9/20昼食時間を利用して神田の徳力で、三人で選んだものです。先月のあなたの便りで婚約指輪を送れないけど悪しからずとあり、私が婚約指輪などいりませんと書いたばかりでしたが、両親のご好意により素敵な指輪を買っていただき、喜んでおります。

両親にとっても可愛がっていただき、とても幸せです。ひろゆきさん、あなたからも両親にお礼を言ってください。いつまでも両親に甘え可愛がっていただいて良いのでしょうか。お母様にはお料理や色々なことを教えてい

ただき、お父様とはあなたのことを話し、神田へ遊びに行くのが私の楽しみなの。

ですが、私からは両親に何もしてあげられないのが、とても辛くて、気になっているのです。ひろゆきさん、教えてください。これからの長い年月、両親に何をしてあげたら良いのですか。私なりに努力するつもりですが、もし私に気がつかないところがあったら教えてね。

あなたと私が正式に結婚することが決まってから、二ヶ月以上も過ぎましたが、あなたは長く感じたかな。それとも短かく感じたかな。私はとても短く感じられ、まだ一ヶ月もたっていないくらい。それというのも会社に勤めているからでしょう。自分の時間は一日24時間の半分だから、12時間で睡眠時間が8時間として4時間しかないのです。

それに両親と親しくさせていただいたり、鎌ヶ谷へ行って兄姉さんと仲良くなり、私の寂しい気持ちも紛れているからでしょう。

本当は早く会社を辞めて、花嫁修行をしたいのですが、今から5ヶ月もあなたのいない日々を家にいたら、毎日がとても長く感じられ、頭がおかしくなってしまうのではないのでしょうか。でも修行をしていれば気がまぎれるかもしれませんが。しかし長く勤めた会社でもあり、今は人手不足のため、私も必要とされているようなので、今年いっぱい勤めることにしました。今は何ヶ月が過ぎたなんて言ってますが、来年になると帰ってくる日まであと何日、なんて計算を始めるんでしょうね。

最近の私の手紙は自分の身体を卑下したことが多いようですが、それだけ自分に自信がないのでしょう。誰でも自分に自信を持っているということは、よほどでないと言わないでしょうね。ちょっと書き過ぎたようで気をつけます。

でもあなたの知らない私の体のことを伝え、わかってもらえたので気分がすっきりしたみたい。そして今の二人は悪い面を知るよりも、良い面を知

り、発見し、見付け出し、それを愛するよう努力したいというひろゆきさん。あなたの考えはいつも前進、前進で気持ちがいい。人間も過去のことをくよくよ悩まず、常に未来に向かって進む姿ほど美しいものはないですね。私たちも欠点を見つけ出し考え、悩むよりも良い面を発見するよう努力しましょう。

いつもあなたには、教えられることがたくさん、たくさんあり勉強になります。

お父様も色々なことを知っていて、学ぶことがたくさんありますので、私はきっと何でも知り尽くしてしまうでしょう。女性として学ぶことは、お母様が何でも知っていて、私にとってお母様は鏡なのです。

身体に気をつけて旅を続けてね。こちらのことは心配しないで自由に自由に歩いて、日本に帰ってきてください。

秋が近づくにつれ私たちの愛も深まっていくの

せつこ 9/20

[第四十信] 1972.9.23 封書 ダルエスサラムにて受取
四つ折りのバースデーカード。折り紙の男女ダルマ（ひろとせつ）

毛筆書 表紙に

真心を込めて愛する人へ



“お誕生日おめでとう”

九月の空にあなたに似た雲を見つけました

青く広い空を流れ行く雲は、昨日のあなたと違い丸みのあるたくましい姿になりました。

時には川の流れるように大きな岩にぶつかり砕け散ることもあるだろう、そんな時は二人で手に手を取り合って“だるまさん”になろう。そしていつも空を見つめて歩こう。

私のひろゆきさんへ あなたのせつこより

47年9月23日

【第四十一信】 1972.9.29 封書 ダルエスサラムにて受取

9/24 柴又の川千家で早川家全員集合の慰労会

7/6付の便り（アリタリア航空の航空券の引換券の件）を受け取りましたが、その後なんの連絡もしないのでどのように手続きを済ませたか、心配していたかもしれませんね。受け取った便りもしていなかったので、余計気にしていたことでしょう。ごめんなさい。

8/4に霞が関のアリタリア航空へ行き、手続きは済ませてあるのですが、現金はまだ受け取っていません。

窓口嬢の話だと、二週間くらいで阪神電鉄の旅行社の方から連絡が行き、銀行の預金口座に振り込むようになりますということなのですが、1ヶ月経っても何の連絡もないので航空会社へ電話しますと、調べてくれたのですが、まだ全然手続きをしていなかったらしく“大変申し訳ございません。至急処理いたしまして一週間後には必ず連絡しますので、それまでお待ちください”と言うのです。二週間でするものが、1ヶ月以上もかかるなんて、お客様に対して気分の良いものではありませんね。ところがその後も連絡がないのです。気分を悪くした私は、再度電話をし、その後どのようにになっているのか聞きました。すると“お急ぎですか？もしお急ぎでなければもう少しお待ちください”と言うのです。“最初二週間ですると言われたのですが”と言うと“ちょっと混んでいるものですから大変申し訳ございません”。航空会社、阪神電鉄の旅行会社、どちらが怠慢なのかわかりませんが、あんまりですね。少し腹が立っている私です。

銀行に勤めている私には考えられないことです。銀行だけではなく、どの商売をしていても、約束したものが、約束の日にできないなんて、会社の信用というものが、なくなるのではないのでしょうか。もし本当に時間がかかるものであれば、一言、時間がかかりますのでお待ちくださいと、連絡

しても良いものですね。それとも旅行会社、阪神電鉄の旅行会社は毎日忙しくて、航空券の引き換えどころではないのでしょうか。それとも航空券の引き換えは手間がかかるのでしょうか。

銀行の窓口では、百万円の預金者も、千円の預金者もお客様には変わりありません。そして人によって区別することも。好きな人だから、預金がたくさんある人だから、特に待たせないで早く処理しよう、あの人は嫌いな人だから、少しぐらい待たせても良いなんて考えません。ちょっと余談になりましたが、そんな訳で、まだ受け取っていません。あなたはどのように思いますか。

腹が立ったので手紙に書かなかったのではなく、受けとったら連絡しようと思っていたのですが、このままでいたら、いつになっても連絡できなかったですね。あまり腹を立てずに気軽に待つことにしました。きっと忘れた頃に連絡が来るのではないのでしょうか。

今月の最終日曜日（24日）の集まりは例月と違い鎌ヶ谷から川千家（柴又にある大きな料亭）に席を移し、とても盛大に楽しく行われ、変わった料理をたくさんご馳走になりました。

毎月、最勝寺さんを招いてお話を聞き、家族全員が出席して和やかに過ごす集まりが、今年で25周年になるそうです。それを記念して24日は両親の考えで、川千家に全員集合して慰労会なのです。

80畳もある大宴会場は早川一族がいくら大所帯であっても広く感じられ寂しいぐらい。24日の出席者は、両親、俊一、浩子夫妻、家正、浩司、晃央、裕子、嬉子、恵子ちゃん、和好、洋子夫妻、広和、雄二、紀恵子ちゃん、俊和さん（寛子姉さんは二人の子供が風邪のため欠席）、秀雄、英子夫妻、千春、淳、見香子、貴美江ちゃんとお母さん、あなたの夢に出てきた江川さん（名前がよく聞けなかったので違う人かもしれないが、名前を聞いた時、あっ手紙に書いてあった人だと思ったので、たぶんそうだと思う

う。色が黒く、背はあまり高くなく、ガッチリした人である)、昔、鎌ヶ谷で働いていたという女性、それに私と26人である。多いですね。

でもこれは全員ではありませんね。子供がたくさんいるので、とても賑やかで、私も若返るようで、一緒になって遊びました。

子供は素直で正直でいいですね。

珍しい料理を食べました。珍しいと思ったのは私だけのようでしたが、恋の味噌汁に鯉の洗い(鯉のお刺身)、お刺身を酢味噌につけて食べるのです。鯉の味噌汁は鯉こくと言い変わった味で、甘く油っこく鯉の頭や、大きな身が入っているのです。熱いので身体中が暖かくなり、汗をかくぐらいで、お父様はお酒の入った赤い顔で二杯も食べて入られたようでした。うなぎも食べるのが初めてで、美味しかった。うなぎなど珍しくないと思っておられるかもしれないが、私は昔から食べず嫌いで、生きているうなぎを想像すると、見るのも嫌で、まして食べるなんて考えてもいませんでした。ところが、どういうわけか食べてみると、とても美味しく、好きになってしまったようで、生きているうなぎの姿が、目に浮かばなくなりました。生きている姿を想像したら、肉や、魚や、鶏肉も食べられないですね。

うなぎが好きになった私は、食べ物で嫌いなものが、サラミだけになり、どうにかしてサラミも好きになりたいですが、サラミは食べず嫌いではないので、ちょっと無理のようですね。あなたは確か嫌いなものはなく、何でも食べましたね。鯉こくは食べたことありますか。とても美味しいですよ。でも私にとってはちょっと癖のある味のような感じがね。

お手紙によると、ラム島で釣りを楽しんだようですが、大魚は釣れましたか。まだお刺身には有りつけないと言っていましたが、ポレポレしすぎて、かかった魚が皆逃げてしまったのではないのでしょうか。

ポレポレって楽しい言葉ですね。私の性格みたいです。ポレポレ屋な私がポレポレ島へ行ったら面白いですね。きっとポレポレ屋が治るかもしれません。もうポレポレ島にはお別れし、ダレサラムに向かっているでしょう。

旅の無事を祈っています。私のひろゆきさん

おやすみ。

この世でたった一人愛し尽くすことのできる人がいます。

それは ひろゆきさん、ひろゆきさん、ひろゆきさん、ひろゆきさん。

【第四十二信】 1972.10.1 封書 ザンビア ルサカにて受取

10月1日、一年前の今日を覚えていますか

10月1日

一年前の今日を覚えていますか。

雨のしとしと降る日でしたが、私の心には一生忘れぬことのできぬ、あなたの目を見たのです。

その目は、鋭く何かを見つめる目でもあり、嬉しそうにキラキラ輝く目にも見え、ふと寂しそうな目にも変わったのです。

目は口ほどに物を言うといわれるけれど、本当にあの時のあなたの目ほど、変化のある人の心に訴えている目はなかったでしょう。私はその中で、寂しそうだ目だけが強く心に残っているのです。

“もう二度と会えないかもしれないから、もう少し話そうよ。帰らないでほしい”と言われたあなた。

本当に、本当に寂しように。あの時、私だって私だって帰りたくはなかった。できれば、一晩中、あなたの隣に座って話を聞いてあげたかったのです。そして寂しように瞑る目が、嬉しそうな目になるのを見たかった私。寂しそうな姿を残して、帰ってしまった私は、帰ってからもとても心残り眠れなかった。

あれから1年も経ってしまったのですね。

私たちが結ばれたのも、10月1日という日があったからで、もしこの日がなかったなら、二人は別の道を歩くようになっていたかもしれない。いや、10月1日という日がなかったとしても、私たちは結ばれるように、細い糸が引き合っていたのかもしれない。きっと毎年10月1日になると、あなたの目を思い出し、じっと見つめるようになるのではないのでしょうか。

でもあの時のような寂しい目ではなく、優しく、暖かい幸福そうな目に変わっているでしょうけど。

怖い目は嫌ですよ。いつも優しい目で私を見つめて欲しいの。でもあなたの目は、いくら鋭い目にしようと思っても、できないでしょから安心です。だって心が優しから。いくら目で笑っていても、心が醜い人はすぐわかります。すましていても心の美しく素直な人は、目まで笑って見えるのですよね。

あなたの目は、あなたのお父様の目に似ていましたね。

私の目はお母様の目に少し似ていると思いませんか？私の目の方が小さくて下がり気味ですが…

丸く小さな目をしているので、“鳩が豆鉄砲をくらったような目をしている”とよく言われました。だからあだ名をつけるのが上手な人に、“ポッポちゃん”と言われ、喜んでいいのか悲しむべきか。だってポッポちゃんだけ聞くとかわいい感じですが、鳩が豆鉄砲…目だなんて嫌な表現ですよね。それともあなたも同じように感じたのではないですか。

またまたポッポちゃんの写真を送ります。イメージ用の写真を送って欲しいというあなたに、今度はすました私の顔を見ていただきます。

今までに送った二枚もちょっと気取って撮れているようですが、私の顔はいつもこんな感じが多いようです。もっと大きな口を開いて笑っているところや、眉を八の字にして怒っている顔も見たいでしょうね。

でもそれは会ってから、十分見られますのでこのくらいで我慢してくださいね。同封した写真は両方とも、京都へ行った時に友達にとってもらったものですが、ちょっと疲れているような顔をしていますね。

年のせいかなとも思われますが、自分では若いつもりですので、年のせいではないと思う（絶対に）両方とも座っていて、足は隠れていますので変ですね。専門家としては、座っている写真は良くないと思っているのでは

ないでしょうか。板張りの冷たく長い廊下を見ると、自然に座りたくなったので、足を隠そうとしたのではありません。足の膝の絆創膏は例の蚊に刺されたところで、特にひどく化膿したのです。でも今は治りました。この写真、喜んでもらえたら嬉しいです。私のひろゆきさん

私は鳥になりたい！

海を渡り、山を越え、遠く離れたあなたのそばに飛んでいけるから。

私は水になりたい！

あなたの乾いたのどに、うるおいを与えることのできる水に。

わたしは頭巾になりたい！

あなたの頭に当たる日差しをよけ、首や鼻の頭の汗を拭うことができるから

(もう頭巾は被っていないでしょうね)

私は磁石になりたい！

いつもあなたの胸にぶらさがって、時には大切な方角を指してあげられるから。

私は腕時計になりたい！

日焼けしたあなたの腕で正確な時を刻み汽車に乗り遅れないよう、ベルで知らせてあげられるから。

私はリュックになりたい！

あなたの広い背中に背負われ、ぐっすり眠ることができるから。私のリュックは47kgもあります。

私はベッドになりたい！

あなたの1日の疲れを取り、明日の旅行のための英気を

養うことのできる柔らかいベッドに

(あまり柔らかすぎると身体に良くないので
鎌ヶ谷にあるベッドのように)

私は枕になりたい！

あなたが毎日、私の夢を見られるように。枕からあなたの
頭の中を8mmで写してあげられるから。

私はアフリカの夜空に輝く星になりたい！雲に、太陽に
なりたい！

あなたの行動をいつも見守っていることができるから。

私はいつまでも可愛く素直な妻になりたい！

あなたの愛が永遠に変わらぬように

愛し、愛されている私達には、何もありません。ただ、お互いの気持ちを
素直に喜び、両親、兄姉妹に感謝し、二人の愛が負担にならないように、
いつまでも変わらず愛し続けるだけです。

人を愛するという事は、秋の空のように晴れ晴れとして気持ちの良い
ものです。私が人を愛することができようになったのは、あなたのおかげです。

“素直になることが幸せを掴む第一歩”

この言葉を教えられた時から、私の心にある本当の私の姿を、見たような
気がします。

人の心の中には仏があるという、ものとして存在するのではなく、素直な
心が仏の姿なのではないでしょうか。素直に愛し愛されている喜びに感謝
しましょう。感謝、感謝、感謝。

せつこ

[第四十三信] 1972.10.9 封書 ルサカにて受取

乙女にとってはちょっと恥ずかしい

ひろゆきさん こんにちは！

9/5 付の便りを顔を赤くしながら読み返しているところです（私は顔が赤くならないけど恥ずかしいので、多分赤くなっているだろうという想像である）。人間にとって大切な肛門の話であれば、恥ずかしいだなんて言うてはいられませんが、あなたの便りは、とても細かく、詳しく、面白く書いてあるので、乙女にとってはちょっと恥ずかしいのです。

肛門の拭き方、トイレットペーパーの使い方などは、日常行なっていることですので、分かっている様で、いざ自分はどの様にしているかなんて考えると、すぐには思い出しません。実際に試した結果、私の肛門の拭き方は右手でうしろから拭くようでした、あなたのいう正しい拭き方とは、使う手が違う様です肛門など前から拭いても、後ろから拭いても別に変わり（害）はないと思っていましたが、医学的には害がある様ですね。女性の構造からすると、やはり後ろからの方が良いですね。私も恥ずかしいと言いながら、やはり興味がある様で、実際に試してみるところなど、面白いと思いませんか。そして一人で吹き出しております。

ひろゆき博士の医学の勉強はとても有益でした、医学の本にもこの様に詳しくは書いてないでしょう。あなたは百科事典みたいですね。般若心経入門の本を5回も読んだとのこと。早いですね。ザンビアに着くまでに20回くらいは読めるとのことですが、あなたの読み方はどのぐらいの速さで進むのでしょうか。昔から浄土真宗の信者であるあなたには本当に素直に宗教の言わんとしていることが理解でき、スラスラ読めるのでしょうか。私はやっと一回読めました。今二回目を読み始めましたが、一回目よりもよくわかる様になりました。この本を本当に理解するには、何回も、多けれ

ば多いほど読まなければならない様です。読まなければならないのではなく、生活に自然に必要となっていくべきものですね。

先日、知り合いの人が仏前結婚式に出たところ、お坊さんが般若心経を読んだそうで、その人は般若心経など知らないの、ただ変なお経だなと思ったそうです。

結婚式に般若心経を読むのはどこでもおなじでしょうか。よくわかりませんが、私達の式の時も般若心経のお経だといいいですね。式の時はあがってしまっ、お経などは聞くことができないのではと思われませんが、それともお経を読む人の声が聞き取れないかもしれませんね。

27歳になった、ひろゆきさん！

ご感想は？と聞きたいのですが、先日のお手紙に、別に感慨はないなあ、今までどうり、一日一日大切に生きていくだけです、と書いてありましたね。

あなたを見ていると（お手紙から察すと）、本当に一日一日を大切に生きているという気持ちがよくわかります。そして、生かされている日々を精一杯エンジョイしているようで最高ですね。それに、自分の誕生日を忘れるほど、アフリカの旅は、あなたにとって有益な旅となっているようで、私まで嬉しいです

あなたの外面は変わっていないかもしれないけど、この年での内面の成長は著しいものでしょうね。

27歳の一年は26歳での一年よりも、一段と大きく成長するよう、私もあなたの助けをしたいと思います。27歳は男性にとってはまだ若い方で、これからがあなたの人生の始まりのようですね。

私も24歳になりました。24年も生きてきたなんて、思えないぐらい時の経つのは早いんですね。物心ついてからのことを考えれば、まだ成人式

ぐらいなのに、女性も20歳位の時が一番美しいようで、24歳にもなるとあなたではありませんが、大年増の部類ですね

でも私は20歳の気分です。気持ちは20歳でも外面はやはり24歳ですね。

感想は、何だか寂しかった（24歳になるのが）私もあなたを見習って、一日一日を大切に生きるよう努力したいと思います。

十月三日の日は川島さんが働いているお店で、伊藤さんと、妹と三人でご馳走になりました。日本料理ですが、とても美味しかったもし、川島さんにお手紙を出すときは、お礼を言ってください。川島さんも、伊藤さんも私に気を使ってくれているようで、あなたのいない寂しさを、少しでもなくすようにしてくれています。とても良い友達ですね。

お互い離れていて一つづつ年をとりましたが来年からは一緒にお祝いをする事ができるのですね。幸せです。幸せに感謝。

みっちゃんの出産の件ですが、十月七日が予定日なのですが、まだ生まれていません。

みな首を長くして待っているのですが、二世はまだみっちゃんのお腹の中の方が良いようです。生まれたら連絡します。ご夫婦は男の子が欲しいそうですが、どちらが生まれるのでしょうかね。

どちらでも自分の子供だったら可愛くなってしまいますね。

連絡が遅れましたが、矢口家でも初孫が生まれました。9/3男の子で智一くんと名付けられ、スクスクと育てています。

両親は大喜びで、初孫というのは、また特別嬉しいそうですね。今まで大人ばかりで、家の中も静かだったのですが、子供が増えると大人までが賑やかになり、家も明るくなるものですね。智一くんが生まれたので、私がいなくなっても寂しくないでしょう。

一軒の家は、ひとりいなくなると、自然に増えるようにできているのかな。

あなたの家は増える一方ですね。今でも多いけど、これから孫が何人生まれるかわかりませんが、大所帯ですね。ひろゆきさんと私の子供は、神様が何人与えてくれるのでしょうかね。楽しみです。

同封のあなたの顔のお人形さんは、お守りです。平安神宮（先日京都へ行った時）へお参りに行った時に買ったお守りが、中に入っています。無事に日本に帰れるよう守っていますから、安心して旅を続けてください。裏のH.Sのイニシャルは恋のイニシャル。

昔テレビのドラマで“S.Hは恋のイニシャル”というのをやっていましたね。あなたのお人形さんはいかがですか。もう少し上手にできたらよかったですね。ですが、ごめんね。（本を送りました）

10/8

私のひろゆきさん おやすみ

[第四十四信] 1972.10.28 封書 ロンドンにて受取

キリマンジャロ登頂おめでとう！

10/26、10/27、10/28付の3通分同時受

私のひろゆきさんへ

9/24付のお便りを10/2に受け取りました。すぐ返事を出さなくてごめんなさい。

お便りの最後に“君に関して読みし歌を集めてみました。母上にもご覧いただき、ご批判をいただきまし”と書いてある

ので、早速神田へ行った時に両親に見せて、ご批判をして頂きました。

両親はあなたの心の中がすべて分かっているように、歌を理解なさっていました。お母様は、やはり勉強しているので、言葉の一つ一つに関心を持たれ

“ここはこの言葉では意味がわからない。全ての人に分かるようにするには、もっと違った言葉でなくては”という具合に批判されていました。

でも、お母様はあなたの歌に感心され、とても素晴らしいと言っていました。そして“ひろゆきも、仏の心に近づくことができたから、素直に歌

が浮かんでくるのでしょうか。和歌というものは無我の境地になって、はじめて素晴らしいものができるのですよ”ということも言っていました。きっと

あなたのところへ、お母様から批判の便りが届いていることでしょう。

私には、お母様のように、よくわかりません。でもあなたの気持ちはとてもよくわかり私の胸に強く響きますよ。本当に素晴らしい歌ばかりで、

びっくりさせられています。

私がいくら作ろうとしてもできないのは、まだ仏の心に近づいていないからで、歌は作ろうとするのではなく、自然に浮かんでくるようであれば、

良い歌はできないようですね。

あなたのように、何を見ても、すぐ歌になるなんていいですね。私も早く、あなたのようにになりたいものです。今気がついたので“母上にもご覧いただき、ご批判いただきまし”というのは和歌のことであって、前ページ二枚の詩は関係ないようですね。私としたことが…

でもお父様は“せつよ、せつよ、私のせつよ、有難とふ、有難とふ、ほんとうに有難う。せつよ、そなたが我を愛するということ、そがまことに有難く嬉しきなり”で始まる詩を、とても気に入ってしまって、大きな声で感情を込めて朗読するのです。私は目をつぶって聞いていると、あなたが、私に言っているように聞こえて、とても嬉しかった。この詩は、結婚式の披露宴で朗読の上手な人に頼んで、皆の前で朗読してもらおうと聞いて言っていましたよ。

ひろゆきさん、私の方こそ、本当に有難ふ有難ふと言いたい気持ちでいっぱいです。

“全ての人を愛することができた時

彼の心は軽くなった

彼の身体は重くなった

彼の迷いがとけた”

あなたの気持ちよくわかります。

あなたの負担にならないよう、いつまでも変わらぬ愛を注ぐでしょう。

私たちはお互いに愛し愛されて幸福ですね。

おやすみなさい

せつこ 10/26

キリマンジャロ登頂おめでとう！

5,890mもあるキリマンジャロの最頂部に立つことができ、良かったですね。頂上からの下界の眺めはいかがでしたか。5,890mもの高さだと、

下界は全然見えないで、下には綿のような白い雲だけが浮かんでいるのではないのでしょうか。

頂上に立った時に、磁石の針がさす日本の方向に向かって、手を合わせ、拝んだのではと思われます。それとも、磁石がなくとも、キリマンジャロから日本を見ることができたかもしれませんね。

富士山が3,700mで白馬が2,900mですから全然比べ物にならないですね。それに私は富士山の頂上まで登ったこともないし、白馬も大雪渓迄しか行った事がないので、5,890mもの山の高さは想像できません。

でも、色々と負傷したあなたの姿を考えるといかにキリマンジャロが高いかが分かるような気がします。強い紫外線を受けた顔、唇の荒れはもう治りましたか。唇が荒れてガサガサなので、今、私とキッスしても何とも感じないでしょうというひろゆきさん。私が口づけしてあげれば、きっと痛みも取れ治るでしょう。

でも私が口づけしてあげると言っても、今は痛くて遠慮するというひろゆきさん、本当に痛そうですね。

肋骨、腰、足の痛みの方はどうですか。人間の身体は、一つ何処かが痛くても、全身がおかしくなってしまうのに、あなたは全身に負傷してしまって可哀想です。何もしてあげられませんが、身体を大切に守って無理しないでね。

でもこのお便りが届く頃には、全治して元気になっている事でしょう。早く治るように祈ってます。

山で作った歌はどれも素晴らしく、私の心までキリマンジャロの山道を歩いているようで楽しい。見たことのない、登ったことのないキリマンジャロの山なのに、とても身近に感じるのは、あなたが経験したことが、見て感じたことが、歌になり、私にその歌の心が良くわかるからです。たとえ苦しい登山であっても、あなたの苦は苦ではなく、良い経験に変わる

のですね。キリマンジャロに登り、本当に良い得難い経験をしてよかったですね

私は山に登り経験し、感じる気持ちと、人生で経験し感じる気持ちは、同じような気がするのです“山がそこにあるから登るんだ”という人もいます。“登るたび 二度と来まいと思う山今またたどる 山頂への道”（あなたの歌）。

厳しい山であっても、頂上にたどり着いた時の感激は最高で、経験した人にしかわかりませんね。一度は下山しようと思い、後ろを振り返ったことも。でもいかに苦しい時でも、どこまで自分に耐えることができるか、試してみるのもいいし、厳しい山こそ、山頂にたどり着いた時の感激は大きいのです。

汗でビッシヨリ濡れたシャツも山頂に立ち、

冷たい風に当たると、汗がスーッとひき、シャツが冷たく感じるなんとも言えぬ爽やかな気持ちになれるのです。

人生だって、今は苦しい毎日であっても、いつかは楽しい生活ができると思いながら、努力すれば、きっと素晴らしい道が開けると思うのです。常に前進、前進でいけばいいのですね。

アフリカの松の大木のかわの木脈ありがとう。とっても変わっていて良いですね。きっと大きな松なのでしょう。本の葉に使っています。

私たちの再出国問題の件ですが、私の手紙の中から、私は外国へ行きたくないと思っていると読み取ったひろゆきさん。私はどのように手紙を書いたのか覚えていませんが、あなたのいう通り、私は外国での生活は望んでいないかもしれませんが。でも70%というのはちょっと多すぎるかもしれませんが、五分五分というところではないでしょうか。外国へ行くのが嫌なのではありませんから心配しないでね。

色々な国を二人で歩いて回るなんて、夢のようでこんな幸せなことはないと、思っています。それに日本で暮らすとなると、あなたと一緒に居られる時間はとても短いだろうし、外国での二人の生活は常に一緒に居られるのですもの、こんなに嬉しいことはありません。

神田の両親は外国に行かないで、日本に住んで欲しいようですね。

ひろゆきさん、私はどちらになっても喜んで、あなたについていきますから、心配しないでね。あなたの進みたい道を歩んで欲しい

私たちは天秤座同士、お互いに二人一緒でなくては、一人前ではないのですから、助け合い、励ましあって、どんな困難な苦しい道でも歩いていくのです。

だから知らない国、街でも二人一緒なら心配することはないのですね。私は悩んではいません。あなたが考えていたことを、私も同じように考えていただけです。

最近カメラを腰に下げて歩いている人を、よく見かけますが、カメラ、いや写真を撮る趣味を持っている人が、多くなったからでしょうか。それとも生活に余裕ができてきて、子供でも、自分のカメラを一台持っている人が、多くなったのでしょうか。それとも私の夫になるひろゆきさんがカメラマンだから、そのような人ばかり目につくのでしょうか。どちらにしても、本当に多いです！

私はカメラマンと結婚したいと思っていたのではありません。たまたま私の好きになった人が、カメラマンだったのです。

だからカメラマンの生活や、仕事の内容などはよくわかりません。

わからないまま主婦業にだけ専念すれば良いのかもしれないかもしれませんが、私はカメラマンの仕事に興味があるのです。興味があるというよりもあなたを知るためにも、あなたの仕事を知りたいのです。あなたも言ってましたが、仕事の悩みなど愚痴をこぼせる妻であって欲しいと。もし、あなたの仕事を

理解していなかったら、私もつまらないし、あなたにだって仕事の悩みを話す気がしないでしょう。

奥の奥まで知りたい、と思っているのではありません。カメラマンの妻として最低知っていなければならないことだけでいいのです。

“あなたの旦那さんの職業は？”カメラマンです。

“どんな写真を撮るのですか？”さあ？

“どこで仕事をしているのですか？”さあ？

“写した写真はどうするのですか？”さあ？

これでは聞いた人はなんて奥さんだろうと思うでしょね。これは極端なことですけどね。

あなたの全てを知りたい私。

私の全てを知りたいあなた。

全てを知るにはやはりお手紙だけでは理解できませんね。

夫婦でも一生かかって理解できないこともあるそうですから、私たちが全てを知ろうとするのは無理かもしれませんね。

私達はお手紙によって、心と心の結びつきはできましたから、あとは会って確かめたいですね。本当にひろゆきさんは私のものに、ものなんてごめんね。私の夫になる人だということを、この手で、目で、身体全体で確かめたいのです。

私の最高の伴侶

ひろゆきさんへ 10/27

せつこ

10月28日（土）

10月20日付のお便り拝受致しました。

ザイル国内では一日40ドルも使わないと滞在してはいけないという法律があるそうで、びっくり。観光客にお金を使わせて儲けようというのでしょうか。よほどお金のある人でないと、ザイルには長く滞在することができませんね。そのような法律があるなんて初めて知りました。

先日、日本大使館宛手紙を出しましたが、受け取れませんね。でもあなたのことですから、大使館に連絡して手紙の返送依頼をしているかもしれませんが、もしできないようでしたら、私に連絡してください。というのは両親がザイルのキンシャサ宛に送った手紙には、大切なことが書いてあるようなので、もし、その手紙をあなたが受け取ることができなかつたら困るだろうから。

念の為、日本大使館の住所を記します。

% AMBASSADE DU JAPON

No.17 AV,DU PORT

KINSHASA ZAIRE

私の便りの内容で大切なのは、みっちゃんの赤ちゃんが生まれたことです。

10/19女の子無事出産し親子ともとても元気です。名前は柳沢 亜希子ちゃんと名付けられました。もし大使館宛出した手紙が受け取れたら、二重になりますが、みっちゃんの住所も記します。

東京都板橋区高島平01-333-11-1105

柳沢 道子

唇は治りかけてきたようですね。だいぶ腫れて痛かったでしょう。早く完全に治るよう、今日も祈っています。

10月16日付の便りの中で、草団子はどうでした？と書いてありましたが、私は草団子のこと書いた覚えがないので、両親からの手紙に書いてあったのでしょうか。

とても美味しかった。甘いものは私の好物ですからね。でも最近は昔に比べて、食べる量は減りましたが、若い頃は大福の3つや4つペロリと食べていました。今は1つがやっとなら2つは食べられないです。

帝釈天（柴又）をお参りして、その前で写した写真を両親が送ったようですが、いかがですか。全員が写っていないので残念ですがあなたが行く前と変わった人はいますか。恵子ちゃんと美香子ちゃんが増えていますね。お父様が写っていないのも残念です。

明日はまた鎌ヶ谷へ行きます。

久しぶりにあなたの部屋と会えますね。

私の恋人ひろゆきさんへ

10：45PM

あなたの恋人 せつこより

【第四十五信】 1972.11.14 封書 ロンドンにて受取

私たちの課題は“我々の愛を慈愛にまで高めること”

廣行さん！ 暑いアフリカから寒い北欧の国コペンハーゲンに行き、体の調子はいかがですか。季節の変わり目は風邪をひきやすいものですが、あなたの場合は、夏から冬へひとつ飛びですから、季節の変わり目どころではありませんね。まだ寒い国から暑い国へ行くのでは、気分的にも楽しいですが、反対だと余計寒さが厳しく感じられるのではないのでしょうか。絵葉書によると、身体は全て健全で、マラリアの兆しもないとのこと、安心しました。

一人旅をしていて身体を悪くすること程、寂しく苦しいことはないでしょうから、最後まで元気で旅を続けてください。なんだか終わりの文章のようになってきたようですね、元に戻して。

やっとアフリカから脱出したようで安心です。だって獣に脅かされて肝をつぶしたなんてことが、手紙に書いてあると、他人事とは思えず、私の小さな胸までがドキドキしてしまい寿命が縮まってしまいます。もし誰もいない場所で、あなたが獣に襲われて怪我でもしたら…？なんてことを考えると、ぞっとして、寿命どころか、心臓が止まってしまいそうでした。アフリカでは動物よりも、人間のほうが危ないとのこと、余計怖いですね。槍でお腹を刺されたり、大きな木に体を縛り付けて、下から火で炙られたりしたら可哀想でもそんなこともなく、無事脱出でき良かったですね。

コペンハーゲンからの便りが、4日で届きましたよ。日本国内でも、北海道や九州に便りを出すと、3日くらいかかりますから、4日で外国から便りが届くとは、早くていいですね。あまり早く届くと、あなたがとても近いところにいるような気がして、嬉しくなります。でも日本とアフリカ（ルサカ）の距離と、日本とコペンハーゲンの距離は、地図の上では同じ

長さですから、近くなったわけではなく、郵便の航空ルートが北欧の方が、便利なのでしょうね。

11/6付のお便りの最後に“君だけのひろゆきより”と書いてあり、とても嬉しく思いました。でもこの言葉は、私があなただけを拘束しているような気がするのです。本当はもっと自由に行動できるひろゆきさんなのに、私が縛っているようで苦しそう。あなたは私だけのひろゆきさんではありません。みんなのひろゆきさんなのです。

私と二人でいる時は、私だけのひろゆきさんになってほしい。そして一旦外に出たら、皆から好かれ、愛される人になってほしい。

10/20付のお便りにも“私一人ではなく全ての人を愛すべく努力する事を忘れぬように。それが自分をも一番愛することになるのです”と書いてありましたね。“自分を愛することのできない人は、人を愛することもできないのですね。また人からも愛されることもできないでしょう”。

“我々の愛を慈愛にまで高めること”

私たちの課題ですね。

お父様からの便りで知っていることと思いますが、私たちのために、鎌ヶ谷に家を建ててくださるのです。急にその話が決まったようで、もう家の設計図もできていて、来年2月までには完成するように、大工さんの方とも連絡がついているのです。あなたもびっくりしたと思いますが、私もびっくりしているのです。

私たちの結婚を喜んでいただき、私を可愛がっていただいているだけでも幸福なのに、家まで建ててもらえるなんて、両親には、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。家の設計図も届いていると思いますが、私たちには広すぎてもったいない感じですね。こんな広い家に住めるなんて夢のようで、信じられない気持ち。前にも次から次へと、私たちの結婚のことが進

められていき、夢のようだと言ったことがありますが、今また同じような気持ちにさせられています。私たちは良い両親に恵まれて幸福ですね。あなたも自分のことが知らないうちに進められて行き変な気持ちなのではないでしょうか？

あなたのことですから、日本にいたら全て自分でやりたいことでしょうね。異国でひとり、やきもきしているのではと思われませんが、如何ですか。あなたの仕事のことを考えると、鎌ヶ谷に住むのは無理なのではと思いますが、如何ですか。お父様も仕事上、鎌ヶ谷が遠ければ住まないで、都内に住んでも良いと言っておりますので、もし仕事の都合が悪ければ、都内に住むようになりますね。あなたがどう考えているのか、知りたいものです。

今はもう、あなたが帰ってくる日が楽しみで、楽しみで、待ちくたびれてしまいそう。

キンシャサ宛に出した手紙に書きましたが、私が京都まで迎えに行く案には賛成で、とても嬉しいのです。でも両親は香港あたりから飛行機で、帰ってくると思っているので、まだ知らせてないようですね。

お父様はあなたが夕方、または夜帰ってくることに反対しているようで、なぜ昼頃にしないのだと言ってました。きっと沖縄から陸路を使って帰ってくるのには、反対されるのではないかと思われます。

陸路を使って帰るというのは、まだあなたの案のようですので、決まったわけではないですけどね。沖縄に寄っても寄らなくても、帰国は3月5日前後になるのであれば、私は陸路で帰ってきてほしいと思います。

まだ来年のことですので、決めることもできないでしょうが、帰国の方法はゆっくり考えて下さい。

霧に包まれたロンドンでひとり

手紙を読んでいるひろゆきさんへ

せつこ 11/14 午前2時

[第四十六信] 1972.11.16 封書 ロンドンにて受取

早崎先生ご夫妻が私たちの仲人に

廣行様

今晚は、今は十一時三十分です。

立冬も過ぎ、朝晩の寒さが一段と厳しく身にしむ頃になりました。まだ十一月だというのに、街ではコート（厚手）を着て歩いている人が多くなり、今年の冬は例年になく寒い冬なるそうで、寒さに弱い私にとっては、頭の痛い季節になりそうです。

寒さに弱い私も、スキー場では人一倍寒さに強くなり、ハッスルするようで、弱いのは気分次第で強くなれるようですね。

寒さに弱いというのは、動くのが嫌になるのだから、ものぐさということになるのでしょうか。まだ若いのですから、動くのがやだなんて、言ってもらえません。健康のためにも寒い時こそ運動しなくてははいけませんね。

10月の終わりにお父様が、早崎先生にお会いになり、先生に私たちの仲人をしていただくように、頼んだそうです。

最初は俊一兄さん夫婦ということでしたが、浩子姉さんが出産予定のため、仲人をするのができず、結局あなたが以前より望んでいた、早崎先生にさせていただくようになったわけですね。“頂戴しなければならぬものは、どうしても頂戴しなければならんようにできているんだなあ”（菅原時保師の甘酒の話は面白いですね）。あなたの便りにも書いてありましたが、本当ですね。あなたの仲人は、やはり早崎先生にやっていただかなくては、ならないようになっていたようですね。

早崎先生はどんな人ですか？確かアイスホッケーの試合を応援に行った時、伊藤さんにはるか向こうにいる、髪の毛がもじゃもじゃしていて、大きな頭（パーマのせいで）をしている人が、早崎先生だと教えてもらった

記憶はあるのですが、あまりにも遠くからだったので、よく見えず覚えていません。

きっと先生も、あなたが結婚するということを知り、びっくりしているでしょうね。

今回の旅行を伸ばしたことを、先生に連絡してないということですが、本当ですか。私には信じられません。

だって手紙でも師匠に感謝しているとか、師匠の力のおかげで、旅に出てこれたということが書いてあるし、パイプのお土産のことまで考えているのですもの、そんなはずはないと思っています。

でも両親は、あなたがどうしてそのようなことをしたのかわからない。廣行らしくないとだいぶ怒っているようです。また先生の方も、だいぶ気を悪くしていたようですね。

でもお父様とお話をし、先生の方もお父様を気に入り、今まで怒っていた気持ちもだいぶ和らいだようですよ。きっとお父様から厳しいお手紙が届いていることでしょうね。あまりきつい内容なので、しょぼんとしているのではないのでしょうか。

ひろゆきさん、あまり気にしないで元気を出してくださいね。私の方まで悲しくなってしまいます。今からでも先生に手紙を書くと良いと思います。

またね、

十一月一六日

日本より愛を込めて

節子

[第四十七信] 1972.11.19 封書 ニューデリーにて受取

私の第二の故郷はパリです！

廣行さん こんにちは！

11/10付の便りを11/17に拝受致しました。やはり私が思っていた通り、あなたは先生に旅行を伸ばしますという便りを、出していたのですね。もし連絡をせずに旅を続けているとしたら、私はあなたの考えていることが、理解できなかつたと思います。

でもこれで安心しました。

きっと両親も私と同じ気持ちだつたのではないのでしょうか。

あなたにとっては出したはずの大切な便りが届いていなかったのですから、本当に残念で仕方ないでしょうね。誰を憎むわけでもないですが、憎いですね。

私にもあなたの気持ちがよくわかります。

届かなかつたことによって、問題が何倍も何十倍にも大きくなってしまいましたが、月日が経てばたつほど、先生の立腹度も今以上に増していたことでしょう。

でも、お父様が早々に先生に会い、仲人をお願いしたため、その立腹度も少なくて済んだのではないのでしょうか。

お父様に感謝しなくてはなりませんね。

一本の手紙によって、その人の（出した人、受け取つた人）運命が決まってしまうこともあるのですから、大切に扱つてほしいものです。手紙に限らず、言葉だって、態度だって同じですね。

今回の場合は、あなたの言うように、真心を持って接すれば、きっと先生もあなたの事を理解してくださると思います。

お父様と先生は気が合つてしまつたようで、また会うそうです。

でもどうして大切な便りが届かなかったのでしょうか。…？

先日の便りに、御茶ノ水の通りにある、イチヨウ並木の葉が全て散ってしまったと書きましたが、まだ黄色い葉が少し残っているようでした。パリでも枯葉が散る季節でしょうか。パリには手紙を出さなくてごめんなさい。パリには何度も立ち寄っているので、あなたの第二の故郷になってしまったようですね。

第三、第四、…と続くところもありましたか？

“私の第二の故郷はパリです。”なんて言うのもカッコいいですね。あなたの第二の故郷はアフリカと思いましたが？（冗談です）

私は現在住んでいるところで生まれましたので、故郷は東京ですが、“うさぎ追いし彼の山、小鮒釣りし彼の川”なんて故郷があったらいいですね。

[第四十八信] 1972.11.21 封書 ニューデリーにて受取

あなたの便りはびっくり89通もありました

今日は日曜日、朝11時の郵便を待っていたのですが、あなたの便りはありませんでした。残念！今日は日曜日だとばかり思っていたのですが、火曜日で会社は指定休日でお休みでした。指定休日とは、月に2回の休みが与えられ、土曜日とあと普通の日にれることになっているのです。

今日はその一日だったのです。

あなたからの便りは、また明日来るかなと思っていましたが、午後9時30分に11/7付の手紙を受け取りました。どうしてだと思いませんか。それは、あなたからの大切な手紙は、間違って他の家に配達されていて、その家の奥さんが持ってきてくれたのです。それも近所ではなく二丁ほど離れた矢口さんの家なのです。苗字は同じでも住所が全然違うのに、どうして間違ったのでしょうか。

母に言うとはよく向こうの矢口さん宛の郵便物も、私の家に届くと言うことです。矢口さんが親切な人だったから良かったのですが、もし届けてくれなかったら、あなたからの大切な手紙を、手にすることができなかったのですね。矢口さんに感謝しております。

先日、あなたが早崎先生に手紙を出したのに、届いていなかったと言う問題がありましたが、郵便を配達する人は、大切に扱ってほしいものですね。何年前に、地方で郵便の人が、郵便物をすべて処分してしまって、配達しなかったと言う事件がありましたが、嫌ですね。

お父様からの保険証も写真も受け取れなかったとのことで、残念でしたね。

今あなたからのたくさんの便りを見ながら考えたのですが、私の知らない国から、街から、あなたの香りを乗せた便りが、いろいろな人の手を

渡って無事私の手に届く、不思議、不思議、有難いことです。また、当然なことであるとも思っています。

無事届けてくれた人に感謝し、1つぐらい届かないものがあつたとしても怒れませんね。

人間ですもの、間違ふことはありますよね。

それは意識的に悪意を持って間違えたのであれば、許すことはできませんが。

でもでも、よく届いてくれましたね。たくさんの便りさんたちよ。何通あるのかな？…？

びっくり89通もありました。あなたの手紙は便数で数えるのは、正しくありませんね。

だって便箋30枚なんて便りもありますものね。廣行さん、ありがとう、あなたの気持ちが、心が、とっても嬉しく感じられます。

一通の手紙によって不幸にも幸福にもなります。私には何通もの便りが、全て幸福な手紙になっているのです。こんな幸せなことはありません。

キリマンジャロでの負傷が治ったということで安心しました。あなたの負傷から、想像した以上の山のように、私には想像しきれないほどの山のようにですね。でもよく登りましたね。

再度 おめでとう！

廣行さん、ごめんなさい。

もし私との結婚がなかったら、あなたは来年の三月にはロンドンに落ち着いて、勉強することができたのですね。前にもこのような事は書きましたが、今でも私の心の中では、あなたに悪いことをしたと思っています。

許してくださいね。

こんなことを書くと、かえってあなたを責めているようです。貴方を責めれば私だって良い気はしません。廣行さんのことですから、結婚してからも、本当に自分にとって外国での勉強が必要だったら、再度、外国へ出られると思います。だから今回のことは、あまり気にしないようにします。

外国生活はしなくとも、外国旅行をするチャンスがあるとのこと、嬉しいです。

あなたにとっては、外国旅行も夢ではなくなりましたが、私にとっては、まだ夢ですもの。やはり一生に一度は行ってみたいと思っています。でも、今までのあなたの便り読んでいて、私も一緒に外国旅行を楽しんだ気分でしたかね。

“百聞は一見にしかず”やはりこの目で見たいです。

ヨーロッパアルプスでのスキーも最高！

私の腕前も、もう少し上達しないと、アルプスが泣いてしまいそう。日本のスキー場と違って広いから、転んで大きな穴を開けても埋め戻さないで済むかもしれませんね。でも転ぶと目立ちますかね、八方でさえも転びながら真っ白になって滑って降りるのですから、アルプスで滑ったら、何度転ぶやら大変ですね。でもあなたに教えてもらえるのですから心配いりませんね。

あなたが帰って来る前に、少しは上達したいと思っていましたが、式が三月なので怪我をすることもできないし、花嫁さんがスキーで雪焼け真っ黒で、花婿さんはヨーロッパの空気を浴びて色白では、笑うに笑えないですものね。それに一月二月は忙しくてそれどころではないかもしれません。

私の友達が、結婚したらスキーなんてできなくなるから、今のうちに行きましょうよと誘惑します。よく結婚した人が、結婚したら絶対に遊べないし、旅行などできないから、結婚する前に遊んでおきなさいよと言われますが、私にはそのようなことは気になりませんというのも、すでに今まで

旅行や、遊んだりしたからかな。それとも廣行さんが連れていってくれるという、安易な気持ちがあるのでしょうか。私たちの場合は、二人でデートしたことがない仲ですから、結婚してからからもデートする機会を多く作りたいと思っています。それとも結婚したら奥さんは、家事だけしていれば良いなんて言われちゃうのかな、心配。

ハイキングに行くによく老人夫婦が、お揃いの帽子をかぶり、歩いている姿を見かけますが、私達も歳をとって、おじいさん、おばあさんになっても、二人で手をつないでハイキングに行けるようになりたいですね。まだまだ先のことですが。

ストーブをつけているので、部屋が暖かく頭までボーとなってしまい眠いです。暖かくなると書こうと思っても、何も考えられなくなってきて、ペンを持つ手もおかしくなってきました。ストーブの火を消せば、頭もスッキリするかなと思ったけど、もう12時近くなったのでこの辺で寝たほうが良いようです。

寝るとすぐ明日になってしまうので、寝たくないのですがやはり寝ます。

私の大切な廣行さん

おやすみなさい。

11/21

せつこ

まだ余白があるので何か書きたいなあ。

廣行さん愛しています。

大きな字を書きたかったけど恥ずかしいからやめました。

[第四十九信] 1972.11.29 封書 イラン テヘランにて受取
母は今日一日あなたの写真を見ていたそうです

11/29

昨日夜遅く帰ってきたら二通の便りが届いていたので、嬉しくなりました。帰りが遅かったのは、私の信頼していた上司（井奥さん）が津島支店に栄転することになり、神田の聚楽で送別会をしていたのです。

私も長い間、何人もの上司と接した仕事をしてきましたが、井奥さんほど部下の面倒見の良い人は、いなかったのではないかと思います。

仕事の面ではとても厳しく、時々 “死ね！”

“殺すぞ！”という言葉が飛び出し、皆をおびやかしていましたが、そんな強い言葉も口だけであって、心の中では部下の将来のためを思っただけの、教育の言葉だったのです。

井奥さんをよく知らない人からは、あまり良く思われていなかったかもしれませんが、長い間接していると心の中が、わかってしまううのですね。会に出席した20人全員が “井奥さんに、そんな仕事しかできないなら死ね！”と言われた時は、とても悔しくて本当に死にたい気持ちだった。でも良く考えてみると、ここで仕事を投げ出したら井奥さんに負けてしまう。負けることはできない。そう考えたら、前以上に仕事に対する意欲が湧いてきたものです。井奥さんありがとうございます。私も上司になったら、井奥さんのように、部下のために良い上司になりたいと思います”と挨拶していました。短い時間でしたが、飲めや歌えで、大騒ぎでとても楽しく過ごしました。

5年8ヶ月の銀行生活で、送別会というものを、何回行ったか覚えていませんが、送られる人も送る人も、こんなに感激した会はなかったと思います。やはり井奥さんの人徳でしょうね。

私も調子に乗りすぎて、お酒を飲みすぎたようで、少し頭が痛かったのですが、封筒からあなたの幼い頃の可愛い写真が出てきたので頭の痛さも吹き飛んでしまい、思わずにっこりしてしまいました。

写真を見て感じたのは、あなたのお父様にそっくりであるということ、いえ、この写真は、お父様の子供の頃のものではないかと思ったほどです。どこがと言われても困りますが、顔の全体の感じがそっくり、とっても可愛い写真を送ってくれてありがとう。嬉しいです。

あなたの言う通り、純朴さがいっぱい、最近の子供のように、ませている感じが全然ありませんね。何だかんだ私たちの子供を見ているような気もして楽しい。きっと似ている子供が生まれるのでしょうかね。

両親に見せますと、やはりお父様に似ていると言ってました。と言うのも、あなたには会ったことがないので、無理ありませんがね。母は今日一日あなたの写真を見ていたそうです。あなたのことは知らないのですが、余計興味があるのでしょうか。それにあまりにも純朴な姿なので、見ても可愛くて可愛くて仕方がないそうです。可愛いなんて失礼かもしれませんが、子供の頃の写真ですから、可愛いでも良いですね。

私が思慮深い娘で良いです、と言うあなたのお言葉ありがとうございます。このことについては、お父様に言った方が良いか、私も考えたのです。前にも言いましたが、私はあまりおしゃべりな方ではないと。私にとっては欠点でもあり、長所の様でもありますが、欠点の方が強いのです。

もし私がおしゃべりだったら、沖縄経由で、あなたが帰って来るかもしれませんよ、と言ったかもしれませんが、その前にあなたのこと、お父様のことを考えたら、言えなかったのです。

でも私は、本当は言いたかったのかもしれませんが。あなたも、もしかしたら言って欲しいのではないかと考えたこともありましたが最終的には言わない方が良いと思ったのです。

欠点の方が強いと言いましたが、おしゃべりでないと言うことは、素直さも欠けているような気がするのです。

先日、お父様が和泉屋の会社を増資するので子供達に株を買ってもらうようにしたので、節子にも100株割り当てたよと言われました。節子が払い込んだ形にするのだそうです。それには、私がいくらお金があるか、知る必要があるのです。預金通帳からお金を払い込むわけですね。お父様が、節子は今いくら貯金があるのかね？と聞いたのですが、私は言わなかったのです。お母様も“お父様失礼ですよ。人の貯金を聞いては”“節子はもう早川家の娘なのだから、失礼ではない”こんな会話をしましたが、最後まで私は言わなかったのです。いいそびれたような気がしないでもないのですが。

きっとお父様は良い気がしないと思います。なんだか私も後々まで、そのことが気になってしまいましたが。

家に帰って母に言いますと、叱られました。

“節子はどうして素直に言えないの。恥ずかしくも何も、ないではないですか。いくら少なくとも言ってしまうえば、それで済むものを節子の良くないところだね。もっとなんでも考えすぎないで素直にならないと、可愛らしさが無いよ”と母に言われ、私も本当にそう思いました。

私が思慮深い娘であると褒めてくれたけど、良い方に思慮深くなるようにしたいと、思っています。

お母様から私に関しての感想は、とても嬉しく感じました。本当に本当に有難く感謝しています。

私が両親をよく思っているということが、通じてしまっているように、両親も私をよく思っていてくださるようで、本当に嬉しいのです。両親はよく浩子姉さんの話をしてくれます。その時も必ずお姉さんを褒めているのです。長男の嫁は大変なのに、よくやっていると。

先日鎌ヶ谷へ行った時に、お料理の準備をしながら、お姉さんが、両親はとても良い人ですよ、と言っていたのです。お互いにお互いを褒めるということは、微笑ましい事で嬉しい事ですね。とかくこの世は、愚痴や人の悪い噂をしますが、よくない事ですね。

私達も何事も良く思い考えるような、大きな人間になりましょうね。

先日の手紙に、イチヨウの葉が全て散ったと書きましたが、全て散ってしまったのは何本かで、まだまだ黄色い葉が、日に眩しいくらいキラキラ輝いていました。

ニューデリーの日本航空宛に、三通の手紙を送ったのですが、三通ともJAPAN AIR LINESと書かなかったので、多分届かないと思います。一通ぐらいは書いたかな？

私らしいミスですね。それでなくても手紙がなかなか出せなくて、気にしているのに困ってしまう。ごめんなさいね。

午前1時35分 11/29

私の恋人さんへ

あなたの恋人 せつこより

[第五十信] 1972.12.5 封書 ニューデリーにて受取

お母様からまず味噌汁の勉強をしています

私達のスイートホームに関するお手紙を、楽しく拝読いたしました。

ひとり遠い外国にいるあなたは、新婚家庭に必要なものなんて、考えていないと思っていましたが、私以上に色々考えてくれているようで、嬉しくなりました。

私も考えている事はいるのですが、あなたの好みもあるでしょうから、どのようなものをどれだけ準備したら良いか、迷っていたのです。私たち2人のスイートホームですから、私ひとりでは決められないし、選べないのだからあなたが帰って来てから、一緒に見に行き、必要なものを購入したいと思っていました。

お母様も廣行が帰って来てからでも、遅くは無いのですから、まだ準備しなくても良いのでは無いでしょうかと言っていましたので、落ち着いています。

今回のあなたのお手紙は、とても参考になります。旅を続け、その国の良さや感じたことを、頭に詰め、夜になると私達の結婚のことや、家の設計のことを考え、手紙を書く。

それも一人旅だからできるのでしょうかね。もし日本いたら、細かいことまで、考え付かないかもしれませんね。

あなたが日本に帰って来て、のんびりする時間がないように思われます。式のこと、新婚旅行の打ち合わせ、家の中の準備、それに友達が、あなたの冒険旅行の話を聞きたがっているでしょうから、その時間も必要ですね。きっとあまり忙しいので、なんで俺は帰って来たのだろう？ 日本はこせこせしていて、住みよくないところである。なんて思われてしまいそうです。式がもう1ヶ月遅ければ、心の準備もできるし、あなたも余裕が

あるのでしょうかね。そして、日本はやはりいいと感じるようになってからの方が、式の感激も湧くのではないのでしょうか。でも、もし1ヶ月伸びたら、帰国の方も4月3日になるかもしれませんから、やはり3月29日でいいですね。

式を済ますまでは忙しそうですが、新婚旅行から帰って来たら、落ち着いて仕事ができるように努力しますので、日本の良さを、しみじみと味わってほしいものです。

あなたの帰国の件ですが、3月3日の予定ということですが、どういう計算なのでしょうね。両親は3月3日に浩子姉さんの妹さん（私と同じ歳だそうです）の結婚式に、出席されるために静岡まで出かけられるそうなのです。そんなわけで、あなたの帰国を迎えに行かれないので、“日を変えてはどうか”と知らせてほしいと、お母様に言われました。

お父様は “もう帰ってくるのだから、節子だけ迎えに行けばいい、別に日は変えなくてもいい。知らせなくてもいい” と言っておられました。私はどうしたら良いのでしょうかね。やはり女性の味方ですもの、お母様が言っていたことを知らせます。

3月3日と決めていても、旅の都合で変わるかもしれないと思います。まだ先のことですから、どうなるかわかりませんね。

先日、神田に行った時に、あなたからの設計に関する希望の便りを、読ませていただきましたので、大体のことは知っていました

あなたが気にしていたように、お父様は虫が良すぎると言っていましたよ。でもあなたの希望も、大変良い考えであると喜んでいました。というのは我が子のために家を作るのはこれが最後である。設計はしたものの、これで良いだろうか？と設計図を消したり、付け加えたり、お父様にとっては、今まで以上に頭が痛かったようです。だから、あなたの希望によ

て、お父様の設計も前とは違ってきたが、少し贅沢なところもあるが、かえって安心することが、できたのではないのでしょうか。

私が、あなたの仕事をするには遠いのではと書きましたが、両親に申し訳なく思っています。これこそ我儘で、贅沢な考えですね。

今の世の中では、新婚から新しい家に住める人は、数少ないのに、私達のために家を建てて下さるのですもの、感謝しなくてははいけません。子供のためにも、私達のためにも鎌ヶ谷に住むことは良いことだと思います。

両親様、私の考え（贅沢な）をお許してください。

両親のためにも立派な家庭を作り、立派な夫婦になりましょうね。

緑の芝生に白ペンキを塗った木の柵。まるで夢に出てくるような風景で素敵ですね。

夢ではなく実現されるのですから、嬉しいです。私の幼ない頃からの夢は、緑の芝生のある家に住むこと、そして入口から玄関まで続くバラのトンネル。いいですね！日本には少ないけれども、外国には多いような庭ですね。こんな素敵な家に住み、庭があったら朝寝坊など、してられません。きっと早くから起きてバタバタ動くかもしれませんから、覚悟してくださいね。それに私は、朝早く起きることが、どんなに素晴らしいことであるか、体のために良いか、ということを知っています。だから、朝寝坊などしません。

先日（11/27）鎌ヶ谷に行った時も、朝5時に起き倫理の集いに、出席したのです。

外はまだ真っ暗で、空には星が輝いていて、空気が美味しかった。“早起きは再建の第一歩である”という札が立てられていて、私の心を強く打ちました。私の朝寝坊を気にしている廣行さん、心配しないでね。あなたのために朝食を作りますので、二人で規則正しい生活を、するようにしましょう。私

はパンが好きですが、最近つくづく、私はやはり日本人なんだなと、感じています。というのは、パンを毎日食べていると、お米を食べないではいられなくなり、毎日、米飯でもパンを食べたいとは思わない。パンは飽きるけど、米飯は飽きません。

心配しないでね。いくら私がパンが好きでも、あなたが米飯が食べたいと思っているのに、毎度パンにはしませんから。

朝食のことでちょっと愉快的な話。

神田へ行くと私が味噌汁を作るのですが、その日によって、具によって、味が違ってきます。お母様が、“今日の味噌汁は美味しいですね。お父様！”と言うと、お父様は返事をしないのです。お母様が二度言うと、お父様は“ん〜”と重い返事をします。私は側で聞いていて可笑しくて、可笑しくて。

お父様は、お世辞は言えないのです。もし本当に美味しいと思ったら、言われなくても美味しいという人ですね。

お母様はお世辞で言ったのではないかもしれませんね。だって、言わない時もあるのですから、きっと本当に美味しいと思ってくれたのでしょう。朝のお味噌汁を作る役目をしていますが、お母様に感謝しています。口では言わないけどまず、味噌汁を上手に作れるようになって欲しいという、お母様の心使いだと思うのです。あなたは何の味噌汁が、一番好きなのでしょう。だんだん字が汚くなってごめんね。

では又 まず味噌汁の勉強をしている

節子より 12/5

[第五十一信] 1972.12.13 封書 ニューデリーにて受取

友達が気軽に集まってくるような家庭にしたい

廣行様へ

先日こんな夢を見ました。

小春日和の結婚式当日の出来事なのです。

待ちに待った結婚式、夢にまで見た花嫁衣装なのに私の心は曇りがち、周りの人たちは楽しそうなのに、どうして私は浮かぬ顔なの？それもそのはず、白く塗った私の顔は、白粉が上手にのらず、まだらで、口元は口唇からはみ出ているような口紅の塗り方。まるで他人の顔を見ているようで、悲しくなってしまう、ひとりで洗面所に隠れて、鏡を見つめている私。

カツラもつけるはずなのにカツラが無く、乱れた髪のまま。式はもう始まるのに、おろおろするばかり。せめてカツラだけでもと探し回ったが、私の頭に合うのがなく、結局髪の毛と顔を洗ってしまい、衣装までびしょびしょ。こんな私を見たお客様はびっくりしてしまい、今日の結婚式は中止だ、中止だと言って帰ってしまうのです。

なんと悲しい物語だと思いませんか。夢とはいえこんな切ないことは嫌ですね。

どうしてこんな夢を見たのかわかりませんがなんだか心配になってしまいました。今から心配することはありませんが、このような夢は式の前日に見るような気がしますね。

よく小学校の頃、遠足に行く前の日に、お弁当を忘れた夢や、時間に遅れてしまい、一人だけバスに乗れなかったなんて、夢をよく見たものです。

居候さんは何人でも結構、多ければ多いほど、家の中が明るく賑やかで楽しいし、お料理を作るのにも、食べてくれる人がたくさんいると、張り合いがあるのではないのでしょうか。それはあなたのために作るのが、一番

張り合いがありますが、少し作るよりも、たっぷり量があったほうが、美味しく食べられるような気がします。

いつも鎌ヶ谷へ行くと、普通では考えられない位のたくさんのご馳走を作りますが、作る時は大変でも、皆が美味しい、美味しいと言って、食べてくれると、作った人は嬉しいものですよね。

あまり量が多くなると、スローモーの私は、一日中三食のお料理を、作っていないかならないような気がします。

家で私が夕食の支度をする時は、“早めに始めてね”と言われてしまうぐらいなのです。

でもこれは慣れだと思います。いくらスローモーの私でも、何年経っても最初と同じしかできないなんてこともないでしょう。

きっとあなたもスローモーだなと感じるかもしれませんが、ま、見ていてください。

居候さんが多ければ多いほど良いと書きましたが、私たちの寝室まで占領されてしまっては困りますね。でも部屋数があるので、そんなことにはならないでしょうけどね。

居候にならないまでも、友達が気軽に集まってくるような家庭にしたいですね。

私も快く迎えられるような主婦になりたいと思っています。

両親に着物と帯を買っていただきました。いつも心温かい両親に感謝しております。

私の両親も“節子は幸福だね”と喜んでくれていて、私の幸福を喜ぶ両親を見るのがとても嬉しく、何よりの、親孝行をさせていただいております。これもあなたの両親と、あなたのおかげです。あなたの両親ほど、立派で素晴らしい夫婦は、この世にいないと思います。ものを買っていただいたから感じるわけではありません。何度か会いお話をされていて、とても心の暖

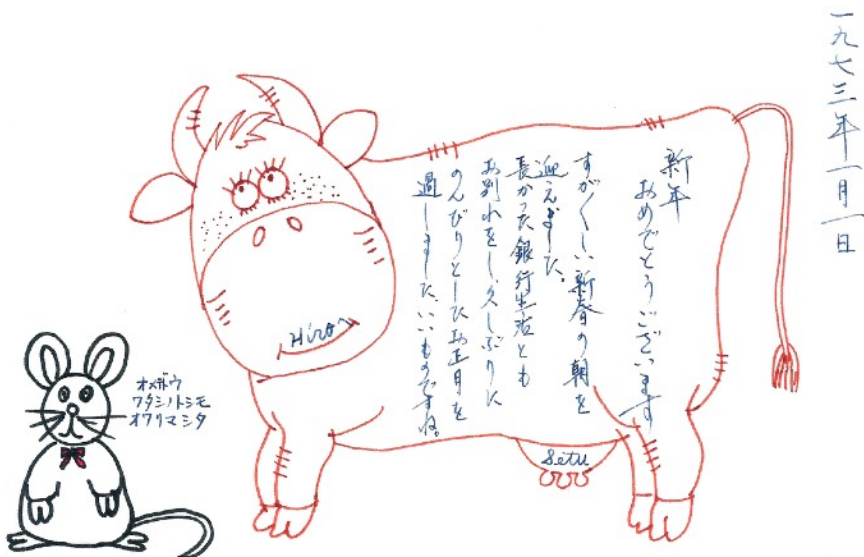
かさが、身にしみてわかるのです。何でも心を開いて話してくれる両親が、とても好きです。お母様はよく“年寄りのところに良く来てくれますね。ありがとう”と言われますが、私の方だって、両親に会うのが楽しいのです。一度だって、行くのが嫌だと思ったことはありません。

初めて会った時に、理想的な夫婦で羨ましいと思いましたが、本当に素晴らしい夫婦です。あなたはいつか、“どんなに理想的であっても、波風は会ったようだよ”と言っていました、あって当然で、ない方がおかしいのではないのでしょうか。たとえ苦勞しても、喧嘩しても、年をとって理想的な夫婦になれば幸福ですね。

私達のこれからの人生にも、色々あるでしょうけど、年をとった時には“幸福だね”と言えるようになりたいですね。

幸福に感謝している節子

[第五十二信] 1973.1.1&6 封書 ニューデリーにて受取
鎌ヶ谷で元日に家族全員と新年の挨拶を交わしました



便箋に牛の絵とネズミの絵の年賀状

1973年1月1日

新年おめでとうございます。

すがすがしい新春の朝を迎えました。

長かった銀行生活ともお別れをし久しぶりに

のんびりしたお正月を過ごしました。

いいものですね。（牛）

オメデトウ ワタシノトシモ オワリマシタ（ネズミ）

今年になって初めてのお手紙を書きます。

12/15、12/13、12/25付の葉書と長いお便りを受け取りました。

12/15付のネズミちゃんの絵葉書可愛いですね。私の年も年頭の願いが叶い最高に良い1年でした。私が幸せをつかむことができたのは、あなたのお陰です。前にも書きましたが

“素直になることが幸せをつかむ第一歩です。そして一日一日生かされている幸せを喜び、心から感謝すること。特に両親、兄弟には感謝の心で接してください。それがあなたの幸福につながります”この言葉を頂いた時とても嬉しかったのです。

そしてその後に“本当ですよ！！”と書いてあり、私の心は今まで素直でなかったということが、わかったのです。

私はこの言葉が大好きです。あなたにとっては当然のこととして書いたのかもしれませんが、私には、この言葉が一生を決めたようです。友達の年賀状に、この言葉を書かせていただきました。きっと私と同じように幸せを掴んでくれることと思います。

その中の一人に同期の彼女がいます。彼女は女性らしく気の優しい、明るい性格なのですが、気が多すぎてなかなかまとまらないのです。自分では気が多くないと言っていますが、私たちから見ると、惚れやすく冷めやすいので、彼女の心がなかなか掴めないのです。最近では“私も早く結婚したくなってきたから、初婚の人でなくても後妻でもいいわ”なんて夢のないようなことを、言うようになってしまいました。そんな彼女も私の年賀状を読み、どんな風に感じたか、そしてどんな幸せをつかむか楽しみです。失礼かな？

手平蘭からの変わった葉書をありがとう。

飲酒的助平的男があなたに似ていて、豊満的美女が私に似ているとのことですが、二人は何をしているのでしょうかね。盃を持っているあなたはだい

ぶ酔っていて、私に絡んでいる様子で、いやらしいですが、なぜか隣にいる私は嬉しそうにあなたの相手をしているようですね。周りの人も笛を吹いたり、手を叩いて和やかな新年宴会の模様ですね。

鎌ヶ谷の早川宅でも元日の日に、家族全員が集まり新年の挨拶を交わし、ご馳走をいただき、和やかな時間を過ごしました。

お父様は朝9時から夕方7時ごろまで、お酒を飲み続け上機嫌で、私にまでお年玉をいただきました。勤めるようになってからは、お年玉をもらったことがなく、あげる一方だったので、久しぶりにいただくお年玉は、嬉しいものですね。

もしあなたがいたら、同じようにお年玉をいただくのでしょうか。きっとあなたはあげる方でいただけないのでしょうか。かわいそうに。

私の家ではお客様が来ないので、毎年寝正月なのですが、早川宅では、次から次へとお客様が新年の挨拶にいらっしゃり、お父様とお母様は忙しそうでした。

私にとっては初めての経験でしたが、とても楽しく過ごさせていただきました。本当のお正月気分を味わえたような気がします。

話は変わりますが、あなたがロンドンに長く滞在していたので、両親は心配していましたよ。ロンドンで何をしているのだろうか？

何をしているのか書いてないので、余計心配なのではないですか。

私にとっては、長いお手紙をいただき、あなたを今までより、一層理解することができたので嬉しいです。

でもイランからお便りが来たので、私も安心しました。今頃はパキスタンにいますでしょう。ロンドンを出たので、両親もやっと安心しているでしょう。

いつもやさしいひろゆき様！ 元気でね！

せつこ

【第五十三信】 1973.1.13~19 封書 カトマンズにて受取

早川廣行氏の1/3生に万歳！

1/13

早川廣行氏の1/3生に万歳！

“近々大長編手紙を送る”という便りをもらってから、受け取るまでとても待ち遠しくて、何を書いているのだろうと、いろいろ考えていましたが、廣行氏の生い立ちとは思っていませんでした。

お父様が昔、岩本町の町会ニュースに、連続して“早川英俊回想録”（どのようなものか読んだこともなく、また詳しく聞いたわけでもないの、よく分かりませんが）を掲載されて、とても好評だったと聞きましたが、きっとあなたの生い立ちと、同じような形式の物語ではないかというような気がいたします

先日受け取ったあなたが幼かった頃の、純朴そうな写真と、あなたが書いた廣行の1/3生の絵と、折に触れて書いてくるあなたの性格やら、好物、それにお父様とお母様から、教えていただいた、あなたの性格などで、まだ、ありました、長い間のたくさんのお手紙によって、あなたの姿を知ることができましたが、今度のお手紙によって、一段と理解を深めることができました。

先日の手紙にも“君は僕がどのような癖を持っていて、日常の生活の中で、新聞を読みながら食事をするのか、お風呂が好きか嫌いか知りたいだろうね。でもそのようなことは、一緒に生活するようになれば、すぐ分かることだから心配してないよね”と書いてありましたが、他の面も含めて、全然心配してないとは言えません。

あなたの日常生活は心配ないけれども、矢口節子はこんな女だったのかと、がっかりされたらどうしようという心配があります。

でもお互いに信じあっているのですから、そのようなことはないと思います。

いや、がっかりされないように努力しなくては。

あなたに対しての理解を深めるとともに、早川家の歩んできた道も、少し知ることができました。両親は今でも岩本町に住んでいて、土曜日になると鎌ヶ谷へ帰り、月曜日になるとまた、神田のビルに戻ってくるという生活を、繰り返していますが、私にはとても大変なような気がします。両親にとっては、生活の一部となってしまうと、別にどうということもなく、かえってたまに鎌ヶ谷へ帰れるという方が、ハリがあって良いようですね。そのような生活も、今始まったことではなく昔から行われていたのですね。

私の家族は常に一緒に、子供達も両親と離れたことがなく、今まで生活してきましたし家も私が生まれたのは、現在住んでいるところで、一步も外に出たことがないのです。学生の頃、友達が引っ越したのよなんていう話を聞くと、私も引っ越したいなあと思うものですが、最近では間近になった結婚を控えて、長い間住んでいた家にお別れするのかなと思うと、少し寂しいような気もしますね。

幼い頃の思い出を、断片的にもよく覚えていますね。3歳というと裕子ちゃんや紀恵子ちゃんぐらいですから、普通の子供だったら忘れてしまうのではないのでしょうか。

きっと初めて見た物や、食べたものが、幼い心には印象が強かったのでしょうね。

それにあなたは記憶力が良いのです。私にはうらやましいことです。

常に頭を働かせてないと、記憶力も鈍くなるようですから、私も鈍くならないよう常に頭をリラックスさせて、回転しやすいようにしておきます。

記憶力といえば先日、日本女性（22歳）がひとりでヨーロッパに旅行へ行き、3ヶ月で150万円のお金を使い、疲労と寂しさが重なり、記憶喪失になってしまい旅行中倒れてしまったそうです。運よく助けられ日本に連れ

戻されてきましたが、このようなショックからも、記憶喪失になることがあるのですね。怖いことです。女性一人で外国旅行へ行く人が、多くなっているようですが、女性の場合は勇気があるというよりも、何のために一人で行くのだろうという気がします。

私など1日でも寂しくなってしまうでしょう

あなたが無事帰国されるよう祈っています。

皆があなたを見守っています。

合掌！

1/15 (月)

今日は成人式の日で会社はお休みです。

会社は辞めて家にいる私にとっては、もう祝日も関係なくなりましたが、妹が今年成人式なので、何となく祝日の気分を味わい、4年前の私の成人式の日を思い出し、月日の経つのは早いものだなあと、つくづく感じさせられました。

20歳になったからといって、気分的に特別変わったことはありませんでしたが、法律上では20歳になると選挙権が与えられるようになり、私の1票によって国の政治を良くし我々の社会を住み良い幸福なものにすることも、悪い方に導くこともできるのかと思うと、とても責任を感じ、20歳になるということは、重要な変化であると思いました。成年になる事によって、1人前の人格者として認められ、自分のした事については、自分で責任を負わなければならないのです。ということは刑事法規に触れるような悪いことした場合でも、今まで少年として扱われていたものが、成年としての責任を負うようになり、新聞に掲載される時も、少年A、Bというふうではなく、名前が載るのですね。このようなことを考えると、法律上では大きく変化しているのですね。法律上では大人でも私はまだまだ子供です。でももう結婚するのですから、自分のことは自分で責任を持って、

生活しなければならぬのですね。自分一人ではなく、夫、子供、世間に対しても恥ずかしくないような人間になるよう、心構えを十分にしなければ、笑われてしまいます。もう子供だなどとは言ってられません。今までは両親、兄弟、上司に頼って生活してきましたが、これからは、あなたを頼って二人で人生を歩んでいくのですね。頑張りましょう。

話は変わりますが、みっちゃんの赤ちゃん、出産祝いにカートリッジ式のカメラを差し上げましたよ。あなたからお手紙を頂き、みっちゃんに話しますと、ちょうど今までのカメラが壊れてしまって、修理に出していて赤ちゃんの写真が、写せないということだったので、カメラのキムラへ行き買いました。

お二人ともとても喜んでいて、早川さんによろしく伝えてくださいということでしたよ。あなたと私の名前で贈りたかったのですが、都合であなたの名前で贈らせていただきました。

あなたは受け取れなかった、キンシャサ宛に出した手紙にも書いた愉快なお話をしますね。

みっちゃんの赤ちゃんが生まれて3日目位に川島さん、佐藤さん、石野さんと一緒に、病院へお見舞いに行ったのですが、ガラス越しに見るたくさんの赤ちゃん（それも未熟児が足に名前を書いた札をつけられて、保育器に入っている）にびっくり。でもみっちゃんのベビーは3,400gもあって、健康優良児でしたよ。

看護婦さんがベビーを抱いて、ガラス越しに見せてくれるのですが、川島さんを見てベビーに“あなたはパパ似ですね”と言ったのです。私たちは最初どういう意味だかわからなかったのですが、よく考えてみると、川島さんとベビーが似ているということなのです。もうおかしくておかしくて、お腹を抱えて笑いたいぐらい。いくら男の人が面会に来たとしても、言い過ぎというもので、川島さんも顔を赤くしていました。きっと看護婦さん

は“あなたはパパ似ですね”という言葉が口癖になっているのでしょうか。それとも本当に似ていたのでしょうか。

いいえ、心配いりません。私たちから見るとベビーは柳沢さんにそっくりでしたよ。

良かったですね。

1月18日（木）雨 1：10PM

今日は何の日でしょうか？

“今宵今夜のこの月を俺の涙で曇らせて見せる”とは金色夜叉の名台詞ですが、熱海の海岸散歩する貫一お宮の二人連れ、その日が丁度1月18日だったのですね。今日は生憎の雨鎌ヶ谷の畑を散歩する廣と節の二人連れは、いつになるやらと思っていましたが、近々できそうですね。鎌ヶ谷の畑ではムードがないけど、我慢してくださいね。

私たちの新婚旅行はスキーに行きたいという廣行さん、私も大賛成です。初めて会った白馬でスキーができれば、こんなに嬉しいことはありません。

一日滑って（囲炉裏、暖炉、ストーブ）何でもいいけど囲んで、二人で語りあかすのもいいですね。

でも4月の白馬は雪が少なくなって、滑れないという声があるのですが、4月の白馬に行ったことがありますか。昨年も暖冬でしたが今年の冬も暖かく、スキー場ではお客さんが少なくて困っているそうですが、気候のことはどうなるかわからないですね。

北海道なら4月でも滑れると思います。どちらでも良いですが、あなたも日本に帰って来ると、今までの疲れが一度に出るでしょうから、のんびりと静養出来るようなところがいいですね。

昔の人は新婚旅行に行く人が少なかったようですが、新婚旅行は何のために行くのでしょうか。式の疲れを癒すため、のんびりと二人の時間を過ごすため、それとも結婚してしまうとなかなか二人では旅行に行くチャンスがなくなるので、最初に行ってしまうおうのかしら。それとも二人の未来の相談に行くのかしら。よくわからないけど、新婚旅行は二度と出来るものではないのですもの、楽しいものにしたいですね。

伊藤さんも、山田さんも、長谷川さんも今年結婚するそうです。私たちも入れると4組ものカップルが、ゴールインするわけですが賑やかにになりますね。

詳しいことは知りませんが、伊藤さんは5月頃式を挙げたいと行っていましたから、私たちとは日がそれほど変わりませんね。

相手の人は、あなたも知っている同級生ということですが、どんな人でしょうね。伊藤さんの彼女も早川さんと結婚する人は、どんな人かしら？と言っていたそうですが、お互いに会うのが楽しみです。

インドの住所を知らせましたので、きっと伊藤さんから便りが行っていることでしょう。皆が結婚すると、今までとは違ったお付き合いが始まり楽しみです。

まだ雨が降り続けています。

短くなったひとり旅も無事に終わりますようにいつも祈っています。

紙が様々で読みづらいでしょうがごめんね。

親愛なるひろゆきさんへ せつこより

[第五十四信] 1973.1.25-30 封書 カルカッタにて受取

ベッドの件色々考えた末私はダブルベッドが良いと思う

1月25日（木）

兄さんこんにちわ！ 父上こんにちわ！

なんて呼んだ日もありました。

今でも私にとってあなたは、お父さんであり、お兄さんである事に、変わりありませんが、やはり変人への便りですから（ごめん！変人ではなく恋人）愛しい廣行様こんにちわ！が一番良いですね。

廣行様こんにちわ！ 今あなたが書いてきた私たちのスイートホームの絵を見ているのですが、やっと私たちが住む、生活する家なのだという実感が湧いてきたようです。

今まではお父様からいただいた設計図だけでなんとなく人の家のような気がしていたのでしょね。

あなたの絵や説明、アイディアは、いつも夢があって楽しくて、私は思わず一人、部屋でニヤニヤしてしまうのですよ。

玄関のドアベルの代わりという、ゴムのラップにしても、実際につけてお客様が鳴らして思わず吹き出してしまうのではという気がします。でも楽しいことは大いに実行して明るい家にしましょう。

絵を見ていて気がついたのですが、家が建つ場所が変わったということをお父様の方から連絡がいないようです。

最初の計画では、英子姉さん宅の隣でしたが地下の土台を作るのに、時間がかかるというので、その場所をやめて、俊和家と和好家の前に立てることになったのです。ですから前の設計図とは少し変わってきているのです。

広さは変わりありませんが、地下のガレージがなくなるのと客間と寝室、食堂が入れ替わり、台所と玄関の位置が入れ替わるのです。

前の設計図では、応接間にベッドを置くようになっていて、不思議に思っていたようですが、当然それもなくなるわけですね。ですから応接間も前よりは広くなりそうです。窓のカーテン等は私が作りますので、帰ってきたら一緒に布地を見に行きましょう。

それぞれの部屋は大体何色で統一したいと思っているのでしょうか？

寝室にしても、応接間にしても、あなたが帰ってきてからでないとも家具（例、ベッドカバーなど）は決められないようですね。

そうなるあなたが帰ってきてからは、大変忙しい毎日が続きそうですので、覚悟していただきね。

披露宴に招待する人員ですが、私の方は、親戚、友人、家族で、大体25人くらいになりそうです。同期の友が今から披露宴で何をやるのかしら？と考えてくれています。きっと落語でもしてくれるのではと思われませんが何が出るやら心配です。

3月は結婚式が多いようで、私の先輩二人も3/11と3/17に結婚しますので、私も出席させていただきますが、二人とも私の結婚式には、奥様として出席して下さるわけですね。

昨年10月にお父様とお母様と一緒に、結婚式場となる築地本願寺を見に来ましたが、とても立派な建物で、式は荘厳な感じになりますね。29日は友引なので、絶対に仏事は行われないので安心ですが、他の日ですと、もし仏事と重なった場合は、仏事が優先されるので、結婚式の方は別の場所で行われるそうなのです。もし別の場所で式をするようになったら、本願寺で式をする意味がありませんものね。

お父様宛に出したあなたのお手紙を、読まさせていただきましたが、新婚旅行から帰ってきたら、先ず“旅行記”を書くということですが、あなたの今までの経験から、とても素晴らしい旅行記が書けるのではと思います。

私が受け取った便りを、そのまま本にすることができるものが、たくさんありますものね。Love Letterはちょっと無理ですけどね。アフリカでのトイレの話なんて、誰が読んでもおかしくて、お腹を抱えて笑ってしまうでしょね。

そして仕事の方も、スムーズに軌道に乗るようになったら良いですね。私も応援しますので頑張ってください。

1/29

昨日（28日）鎌ヶ谷へ行き、今日（29日）午後3時半に帰ってきました。

お母様と家正くんは、朝4時起きして神田へ帰りましたが、大変ですね。家正くんのごことは知っていると思いますが、3学期から神田の今川小学校に転校して神田の家から通っているのです。

私たちの家も土台ができて、これから少しずつ出来上がっていくようで、3月中には完成するように、お父様が監督するそうです。そして3月の最終日曜日25日には、我が家に全員を招いてお寺さんの集いをする計画らしいですよ。大変ですね。ますます私たちは忙しくなりそうです。

今日は浩子姉さんに子供達の写真や、お姉さんの結婚式の写真を見せていただきながら、色々なお話をしてきましたが、本当に良い人ですね。6人もの子供を産んだ人とは思えないぐらい、若くて、そして、とても思いやりがあり、素晴らしい人です。洋子姉さんや、寛子姉さんとはあまりゆっくり話す機会がないので、残念ですが、寛子姉さん宅には、お正月にお邪魔して少し話をしてきました。私とは歳が一番近いので、きっと友達のような感じになるかもしれませんね。でも、女性らしく、やさしい良いお姉さんです。

洋子姉さんは6月に出産予定だったのですが12月に流産したので、少し元気がないようでした。

和好兄さんにぴったりの奥さんで、物静かな感じがとてもよく、私にも色々話しかけてくれて、色々教えてくれます。和好兄さんにぴったりと言いましたが、どの家庭も夫婦仲が良く、お似合いで気持ちが良いので、きっと私たちもその仲間入りができるでしょうね。

1/17付の便りを1/27に、1/19付の便りを1/26に受け取りました。ちょっと前後して届いたようですが、無事に旅を続けているようなので安心しました。

新婚旅行の件ですが、ネパールの日本大使館宛に出した手紙に書いたのですが、受け取ったのでしょうか。あなたからの手紙によると、ニューデリーの後の受け取り先は、カルカッタのJAL宛となっているので、もしかしたらネパールの大使館には、手紙を取りに行かなかったかもしれませんね。残念！

新婚旅行にスキーに行けるなんて嬉しいです。白馬でスキーができたかと考えましたが4月では無理なので、北海道のスキーツアーは大賛成で、今から白銀の世界に舞い踊る二人の姿を想像しているのですよ。きっとあなたは疲れて帰ってくるでしょうから、旅行はのんびり過ごせるようなスケジュールにしたいですね。

3月下旬からですから、今から予約しておかないと、いけないでしょうから、観光会社でも行って調べてみますけど、何泊ぐらいするのでしょうか。そして29日の披露宴が終わったら、すぐ出発するのですか。

北海道には私の従兄弟が二人いるので（二人共結婚して子持ち、毎日新聞社に勤めている人と、外科のお医者さんをしている人が、札幌にいる）頼むこともできるので、あなたが帰ってきてからでも遅くはないかもしれません。お医者さんをしている人は、スキーは上手でスキー場などについて

は、よく知っているので手紙で聞いてみようと思っています。スキーの道具は持っていくのかしら。それとも現地の貸しスキーを借りるのかな。新婚旅行へ行く人で、道具を担いでいる姿を見たことがないので、わかりません。

ベッドの件ですが、④⑤⑥丸をつけよ！とは、何かの試験みたいで面白いですね。

色々考えた末、私は⑤が良いと思います。

④のツインベッドだと、シングルを二つ合わせるのは、広すぎて寂しいというあなたの考えによると、もっと間が空くので寂しくなってしまうと思います。

④のシングルx2の感じは、広すぎてもったいない気もしますね。

⑤のダブルベッドは、私の寝相のことを考えると、狭い気もしますが？でも、いつも鎌ヶ谷のあなたのベッドで寝ていますが、下に落ちたことはないで、それほど心配することもないようです。でも布団が落ちそうになったことは、しばしばありますけど…

今は寒いからあまり動かないのでしょうね。夏になったらどうなることやらですが。

ダブルだと喧嘩をしても、すぐ仲直りできる良い点もあるけど、背中と背中を合わせて寝る日もあり、なんとなく気まずいでしょうね

今妹がトイレに起きてきて、もう2時だから寝なよ、なんて言ってすぐ寝てしまいました。

30日の午前2時というわけですが、今日は眠くないので、このまま書き続けることにします。

カルカッタのJALと香港のJALに手紙を出すだけで、もうあなたは帰って来るのですね

嬉しいような、怖いような、複雑な気持ちで落ち着かない私のお尻ちゃんは、帰国2、3日前になると、座ることを忘れてしまうのではないのでしょうか。常に身体全体が、宙に浮いているような感じで、お尻ちゃんに鉛でも入れておかないと駄目でしょう。

3月3日に帰国したい由、私の想像するものが2つありますが、いくつかあるということです、一つぐらいは当たっているかもしれませんね。それは帰って来てから聞くことにしましょう。

先日、お母様が3日の日は夕方6時頃に帰れるようなので、迎えには行かれないが、鎌ヶ谷では会えるかもしれませんと行っていました。3日は土曜日で両親も翌日が日曜日なので、ゆっくりあなたと一緒に過ごすことができるわけですね。

5日は月曜日で家正君と一緒に神田へ帰るので、鎌ヶ谷にはいないのですね。ま、それはどうにでもなるでしょうがね。

あなたから読むように言われた“出家とその弟子”を遅くなりましたが、昨年暮れに読みました。その中で、親鸞の弟子唯円が師匠を騙し、先輩や朋輩衆に勤めを欠き、遊女と恋に落ちていってしまう場面で、親鸞が唯円に、恋について説教した場面がとても良かった。

“愛の働きには無限性がある。愛は百人を愛すれば百分されるような、量的なものではない。甲を愛しているから、乙を愛されないというのは、真の愛ではない。法蔵比丘の水の中、火の中での幾万劫のご苦勞は、あまねく衆生の一人一人への愛のためだったのだ。聖なる恋は他人を愛することによって、深くなるようなものでなくてはならない。

会ってくださいと恋人が言って来る。自分も飛んでいきたいほどに会いたい。けれど今日は朋輩が病気で寝ていて、自分が看護をしてやらねばならない時にはどうするか？

朋輩をほっておいて、夢中になって会いに行くのが普通の恋だ。その時、その朋輩を看護するために会いたさを忍び、また、会おうと言って来た恋人も、では今日は来ないで看護をしてあげて下さいと言って、その忍耐と犠牲とによって、自分らの恋はより尊いものになったと思い、あとでは寂しさに耐えかねて、泣いて恋人のために祈るようならば、聖なる恋と言ってもいい。その時会わなかったことは、恋を薄いものにしないで、かえって強い確かなものにするだろう。それが祝福というものだ。”原文のままです。

昨日は眠くなったので、ここまで書いて寝てしまいました。

1/30 おはようございます。

昨日の続きですが、私達も親鸞様の言うような人になりましょうね。あなたもいつか言っていました、“私だけではなく他の人も愛せるような人になってほしい”と。その時、ああとでも良いことである、あなたが仏様に思えて、この言葉は仏様の言葉なのだなと感じたものでした。

この本を読んで、親鸞聖人の言葉が一つ一つ、私の心に強い共感を与えてくれました。

あなたの部屋からアイスホッケーのユニホームを着ている写真を持って来て、写真立てに入れてありますが、この写真が一番あなたらしくて好きです。と言うのも、眼鏡をかけていないので、直接あなたの目を見ることが出来るからかもしれませんね。右目に傷を負いましたが、もう痛みませんか。1年半も前のことですから、痛くはならないと思いますが、気をつけて下さいね。

ふとあなたが作った歌を思い出しました。

“このたびは 我と仏と許嫁

父母も集いし 団体旅行”

本当にあなたの旅での実感するものが、この歌の中から読み取れますね。良い歌です。

両親も手紙と地図を広げて、あなたの旅の道を追っているようですから、両親も一緒に旅をしているような気がすると言っていました。そして皆の温かい思いやりがあって、あなたも安心して旅を続けることができるのですね。

帰国する日を楽しみに待っています。

最後まで無事旅が続けられるよう祈っています。

1/30

せつこ

[第五十五信] 1973.2.11 エアログラム カルカットにて受取

2/9に廣行家の建前のお手伝いに行ってきました

2月11日（日）

2/9に廣行家の建前（上棟式）が行われたので九日の朝九時ごろ鎌ヶ谷へ行き、お手伝いをさせて頂きました。そして二泊して、今日帰って来たのです。

今までは土台だけで、なんとなく、ここに私たちの家が建つのだと言う実感がなかったのですが、柱が組み立てられ屋根に板が張られると、やっと家らしくなってきた、ここが台所で、応接室で、寝室だと考えると、楽しくなっていました。

下水道工事は、お父様と俊一兄さん二人で工事したそうで、忙しかったようです。

それに重労働なので、二人共夜になるとすぐ寝てしまいます。廣行さん！お父様とお兄さんに感謝しなくてはね。

九日の日はこの冬一番の寒さで、建前の宴は外でガタガタ震えながらしなければ、ならないのかなあと思っていたのですが、そこは手抜きなく、お父様が一日がかりで作ったという、六畳ぐらいの小屋の中で、楽しい宴会が行われたのです。

外は寒くとも小屋の中はストーブが二つもあり、電気もつき、おまけに鍵もかけられ、暖かい思いで本当によい宴会でしたよ。

大工さんが十二人と、お父様と俊一兄さんと私とで、宴会をしたのですが、お父様は家主がいない建前も面白いなあと嬉しそうでした。お父様が、家を建てるのが趣味だというのが本当によく分かりました。でも、普通の人に比べたらスケールの大きな趣味ですね。

誰でもが一生かかって土地を買い、家を建てるのですから、お父様のことを知ったら、羨ましいと思うでしょうね。

あなたが帰ってきて、先ずびっくりするのは、鎌ヶ谷部落が変わっていることだと思います。というのは、私が昨年七月に初めて鎌ヶ谷部落を見た時と、今とはだいぶ変わってしまっているのです、1年半も外に出ていた人では、もっと変わったなあと思われるのではないのでしょうか。

一つは、廣行家が建っていること、それに廣行家の隣にある小学校に、4階建ての校舎が建てられたこと。もう一つは最初建てる予定だったところから、遙か向こうを眺めると、家が立ち並び、その下には広い畑が広がっていましたが、その畑の真ん中に道を作り、向こうの道とこちらの道を結び、学童の通学路になるのです。

ですから、今まで土だった道が舗装されるわけですね。小学生が通るので、賑やかになりますね。

俊和家と廣行家の前が、小学校の裏門になるのです。私たちの子供も玄関を出るとすぐ学校というわけですね。何年先になることでしょうか。（※私の字が大きすぎるためアエログラムだと、あまりたくさんかけなくて残念です）。

またね。

節子より

※このアエログラムの用紙は、浩子姉さんに頂いたものをつかっています。たくさんあるので、残ってしまったのは勿体無いので、節子さんはこれからも、たくさん書くでしょうから使ってくださいと言うことで。

【第五十六信】 1973.2.12 エアログラム カルカットにて受取

お父様に塀のことで怒られました

2月12日（月）午後11時40分

十日の日に阿部家を訪問しました。

庭にはたくさんの植木があり、春になると百数十種の花が咲くそうですね。英子姉さんは専門的に植木のことを、教えてくださいましたが、とても詳しく知っていて、びっくりしてしまいました。

食べることよりも、寝ることよりも、木や花をいじっている方が好きだと言っていました。話をしているお姉さんを見ていると、私まで楽しくなり、木や花を植えたくなっていました。廣行さんのお手紙によると、庭には木や花を植えない事と、書いてありましたから、きっと私が植えたら叱られそうですね。お父様が、本家から木を少し持ってきて植えてやるよと、楽しそうに言っていましたので廣行さんは芝生だけの庭がいい言っていましたよとは言えませんでした。

英子姉さんが、結婚のお祝いは何が良いですかと言っていました。“寛子さんと考えたのだけど、カーテンはどう？私が作ってあげようと思っているのだけど、どうかしら？”と言ってくれたけど、カーテンは私が前から作ろうと思っているというと、“広い家なのでカーテン代もだいぶかかるわよ。たくさんあるので、今から作らないと大変よ。廣行の趣味もあるだろうから、自分達で買ったほうが良いかもしれないわね”と言っていました。

結局カーテンはやめたのですが、何が良いでしょうね。丁度植木のの話をしていたので、春に花が咲く植木などでも良いわね、ということになりましたが、如何ですか。

英子姉さんと話をしていると、楽しいですね。お姉さんは、洋裁の方も専門なので、そのうち、教えていただこうと思っています。

寛子姉さんには、結婚式の写真を見せていただきました。私たちと同じ築地本願寺で式をしたそうですが、“とても荘厳で良かったわよ”と書いていました。あなたが写したという写真も沢山ありましたが、とても良く写っていました。やはり専門家が写した写真は違いますね。

電話の件ですが、あなたからの手紙で、申し込んでから長くかかるので、お父様に頼んで、電話の申し込みをするようにと書いてありましたが、今までチャンスがなくて言えなかったのです。

ところが一月一日の日に俊和家を訪問した時に、お兄さんに電話は申し込んだか？と聞かれたのです。まだ申し込んでいないと言うと、早めに申し込んでおかないと、1年以上かかってしまうから、早速僕が申し込んであげよう言ってくれたのです。私は気になっていたので安心しました。ところが十日の日に寛子姉さんに電話はどうになりましたかと聞くと、まだ申し込んでいないと言うのです。

そばで聞いていた英子姉さんが、一日でも早く申し込まなければいけないから、私が月曜日に申し込みに行ってあげますと、言ってくれました。すみません。私がお父様に早めに頼んでおけば良かったようですね。お父様に直接頼んだ方が良かったかな、なんて考えています。

先日お父様が、塀はブロックにすると言うので、廣行さんは背の低い垣根にしたいと、手紙に書いてありましたと言うと、叱られました。今時垣根などにしたら危ないしおかしいと。

お母様は、廣行は外国の庭のようにしたいのではないのでしょうかと、書いていました。

あなたのお手紙にも書いてありましたが、お父様が作ってくださるのですから、ただ感謝の気持ちを持っていて、あまり口出ししないほうがよいようです。

またね。

せつこ

[第五十七信] 1973.2.13 エアログラム カルカッタにて受取
実物を見たらダブルベッドは狭いような気がした

二月十二日（月） 午後十二時二十分

前の手紙の続きなのですが、十二時をすぎたので、今日は二月十三日

（火）午前零時に十分と言うことですね。先日デパートでベッドを見ましたが、ダブルベッドは狭いような気がしました。ダブルでもキングサイズになると広がりますが、長い間愛用するベッドですから、シングルを二つ並べるベッドの方が、どちらかが疲れていたり、病気の時は、やはり離してゆっくり落ちついて寝る方が、身体のためには良いような気がしました。この間の手紙には、㊸が良いと書きましたが取り消して、㊶か㊷ということにしておきます。冷たい人だなあなんて思わないで下さいね。仕事をし疲れて帰ってくるあなたにはやはり、ゆっくりと寝て頂きたいものですね。

先日、川島さんより連絡がありまして、キーホッホよりあなたにお祝いをしたいのだけど、何が良いか聞いて欲しいと、予算は5万円とのこと。話によると、仲間内で一番最初に結婚した人に、会費の積立預金全部を上げるということになっていたそうですが、伊藤さんも五月四日に結婚することになったので伊藤さんが僕にもお祝いをということで、半分づつになったそうです。あなたが帰ってきてからでも良いですね。

川島さんは三月から九州の宮崎の方へ行き二、三年帰ってこないそうです。あなたが帰ってくる前に行ってしまうと言っていましたが、どうなることやら。宮崎に大きなホテルができるので、そこの大宴会場のお料理を担当するらしいのです。大きな宴会場よりも、小さな店で仕事をしたいと言っていましたので、二年も三年もしなくても、帰ってきてしまうのではないのでしょうか。

話は変わりますが、あと二十日であなたが帰ってくるというのに、私の心は落ち着かないの。皆は、待ち遠しいでしょう。今までが長かったでしょうと言われますが、私はどういうわけか、月日の経つのが早くて早くて、もう少しゆっくり日が過ぎて欲しいのです。あなたに会いたい気持ちはいっぱいだけど、不思議ですね。もう六ヶ月も過ぎたなんて思われませんか。過ぎてしまったから感じるのかもしれませんが、離れている方が、日が経つのが早いのかもかもしれません。

毎日会っている二人が、六ヶ月後に結婚するとしたら、もう待ち遠しくて仕方ないのではないのでしょうか。

あなたは羽田にどんな格好で（服装）帰ってくるのでしょうか。髭は伸ばしたままと前の手紙に書いてありましたから、顔の感じは想像できますが、洋服の想像が付きません。きっと私が知っているあなたとはだいぶ変わった姿で帰ってくるのでしょうか。楽しみです。

毎日団体ツアーのように飛び回って、いろいろな場所を見学しているとのことですが、一日でもあなたにとっては大切な時間なのですね。

お手紙を読んでいると、帰りたい気持ちもあるし、一日でも多く歩いてみたいという気持ちがあることが、良く良くわかり、私の心には痛く感じられるのです。もしできるものならば、一日でも二日でも伸ばしてあげたい気持ちでいっぱいなのです。でも今回ばかりは、二十九日が式ですから、その準備もあり、あまりゆっくりすることはできないのが残念ですね。

私ばかりではなく、あなたの帰りを待っている人が沢山いるようですので、あなたも、もうこの辺で帰ってきた方が、皆が喜ぶような気もいたします。帰ってくるのを多くの人に喜んでもらえるなんて幸福ですね。

私の大切な廣行さんへ

あなたの大切な節子より

[第五十八信] 1973.2.21 エアログラム 香港にて受取

間近に迫ったあなたの出迎えについて

二月二十一日（水）

今日、十六日付のお便りを受け取りました。それによると、三月五日の午後三時に羽田着とのことで、やっとあなたが帰ってくるのだという、実感が湧いてきました。

以前より心配していました、私たちの対面はどのようになるのでしょうか。前にも書いたかもしれませんが、もし一人でも私の他にあなたを迎えに行く人がいるならば、大勢で出迎えたい。本当は私ひとりで出迎えたいのですが、そうはいかないようです。三時というと仕事の関係で、迎えに行きたくても行けない人がいるかもしれませんが。

私にコートのお土産を買ってくださったとのこと嬉しいです。どんなコートか楽しみです。でもだいぶ重そうですね。きっと私を背負っているような感じなのではないですか。私と同じ重さのコートだったら、大変ですけど。

あなたの手紙ではないですが、本当に買い出しの叔母さんのようですね。お土産の収集に走り回っているあなたの姿が、眼に映るようになってしまいます。

先日、伊藤さんと川島さんが、突然私の家に遊びにきました。聞いてみると、突然ではなく一週間ほど前に、妹が電話を受けていたのです。私も本当に来るとは思っていませんでしたので、びっくり。

二人は三時ごろに来て、夜十一時ごろまで、あなたの話をしていききました。妹と私はお腹を抱えて笑ってばかり。どんな話をしたか心配でしょうね。でも心配することは全然ありません。あなたから送ってきた写真を見て、痩せたとか、お腹が出てきたとか、まるで現地人でいくら良く見て

も、日本人には見えないなど、川島さんは“矢口さんはこの写真がよく見えるんでしょう”、私“ええ”、“好きになると、なんでもよく見えてしまうのだなあ”と言っていました。川島さんらしいですね（気にしないでね）。二人の話を聞いていると、あなたの事をよく教えてくれるので、勉強になります。知らなくて良いことまで知ってしまったかな。特に川島さんは、本当に細かいことまで知っているのでびっくり。私はあなたの事についてはお手紙によって、よく理解できたつもりです。川島さんは私以上にあなたの心の中を理解しているようです。あなたの手紙にも以前二人の仲の事を書いてありましたね。

伊藤さんの彼女（松本弘子さん）にも会いました。伊藤さんにはぴったりの感じで、お姉さんで大人の人ですね。伊藤さんも大分のろけていました。本当に嬉しそうで良かったです。人前でも大分彼女に甘えていましたが、私のご主人になる人は、きっと人前では、甘えないで、のろける事もしないと思います。

でも奥さん（節子さんです）が居ない所では、少しはノロケ話などするかもしれませんね。

私たちの結婚式の後では、私だけ仲間外れにして、皆で飲んで騒ぐと言っていましたけどどうなるのでしょうかね。

酔いつぶれたお婿さんの姿も、あまり良い物ではありませんけど、でも皆はそれを楽しみにしているとの事ですから、きっと二次会をする事でしょう。仲間外れにされるのは嫌だけど、そのような思い出も良いかもしれませんね。

会える日を楽しみにしているひろゆきさんへ

同じ気持ちのせつこより

[第五十九信] 1973.2.23 エアログラム 香港にて受取

これが最後の手紙になるでしょう

この便りが私からあなたへの、最後の手紙になるでしょう。

長かった文通もこれで終わりかと思うと、ちょっと寂しい気もしますが、文通よりも、もっともっと有益な、あなたと向かい合って、楽しい対話ができるのですから、嬉しい筈です。

文通によって色々なことを学び、また教えられました。人を愛すること、愛されることの素晴らしさを、そして人を信じ慈しむ心を知りました。あなたの手紙にもありました。人間は一人では生きて行く事が出来ないということ、何か大きな偉大なものによって生かされているのだということも教えられました。いや実感する事が出来たのです。こんな嬉しいことはないでしょう。

もし手紙というものが、この世になかったなら、私たちの間は、お互いに好意は持っていても、愛するまでにはならなかったでしょう。文通のおかげで、固く結ばれた私たちなのですね。人は、文通で結ばれた恋なんて！と言います。でもお互いを信じ合うことのできた私達には、何も不安はないのです。

お互いを理解するまでに、普通の人以上に時間がかかり、好きなのに、その一言が言えなくて考え悩んだ日も有りました（悩んだのは別の理由の方が多いかもしれませんね）。

遠回しで書く私の手紙によって、あなたの心をイライラさせたことも。遠く離れているので、自分の気持ちを伝えてその返事をもらうまでに日数がかかり、時には行き違いになったり、コミュニケーションが悪くなり、お互いがイライラする時もありました。

でもそんなやりとりも、遠い過去の思い出になってしまい、今は私達のより良い未来に向かって前進する二人なのです。

ありがとう！ありがとう！両親様、兄上様、姉上様、妹上様、一人では出来ない何事も、全ての人のおかげによって、結ばれた私達でもあるのです。

文通で結ばれた二人に、周囲の温かい心がなかったら、今のような幸福はなかったでしょう。ひとりでも反対する人がいたなら、いくら固く結ばれた二人でも、本当の幸福とは言えないのです。でも皆に喜ばれ、祝福されているのですから、こんなに嬉しいことはありません。

全ての人に感謝の気持ちでいっぱいなのです。ありがとう！そして無事永かった旅を終えて帰ってくる廣行さんにも感謝しています。

ありがとう！ありがとう！

あなたから送られてきた沢山の手紙を読みかえしますと、返事を書かなかったことが、沢山出てきました。自分では書いたつもりが抜けてしまっているのです。そのことについては、もう書けませんので、帰ってきたらお互いの話題の一つにとしましょう。

あと十日で私の廣行さんに会えるのですね。

嬉しいです。あなたがこの手紙を受け取る頃には、あと三日ぐらいで会えることになるのですね。元気でね。

せつこ

「節子の返信」 終わり